

第7回大阪マラソン共同調査研究

—物語を紡ぐ大阪マラソン—



2018年3月19日

関西大学・読売新聞社

目 次

はじめに

<趣旨>	・・・2
<調査実施概要>	・・・3

第7回大阪マラソン調査結果の概要

- I. 一般ランナー
- II. 海外ランナー
- III. チャリティランナー
- IV. 観 客

I. 一般ランナー

1. あなた自身について	・・・16
2. 大阪マラソンの運営について	・・・22
3. チャリティについて	・・・27
4. 一般ランナーのストーリーについて	・・・28

II. 海外ランナー

1. あなた自身について	・・・38
2. 大阪マラソンの運営について	・・・43
3. チャリティについて	・・・47
4. 海外ランナーのストーリーについて	・・・48

III. チャリティランナー

1. あなた自身について	・・・56
2. 大阪マラソンの運営について	・・・60
3. チャリティについて	・・・64
4. チャリティランナーのストーリーについて	・・・68

IV. 観 客

1. あなた自身について	・・・72
2. 観客の活動について	・・・76
3. チャリティについて	・・・78

おわりにーロンドンマラソンを目指してー
資料

はじめに

<趣旨>

第7回大阪マラソンは130,417人の参加申し込みがあり、抽選で選ばれた32,008人が2017年11月26日、大阪の街を駆け抜けた。そして沿道には130万人の観客の応援があり、盛会のうちに幕を閉じた。

本研究は、第1回大会（2011年）から第6回大会（2016年）まで、大阪マラソンに参加したランナー、ボランティア、観客を対象に、大会参加の意識、大会運営に対する評価、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすると同時に、大阪マラソンの課題を解決し、今後の大会運営に活かすことを目的とするアンケート調査を実施してきた。その結果については、大阪マラソンのホームページで公開し、大会の運営改善に寄与してきた。

今回、第7回大会では、第6回大会で実施した調査を踏襲しつつも調査内容を精査し、一般ランナー、チャリティランナー、海外ランナー、観客を対象として調査を行った。今回は「大阪マラソン参加のストーリー」の質問項目を新設し、参加の目的やきっかけといった個人的なエピソードをヒヤリングすることで、本調査のコンセプトである「物語を紡ぐ大阪マラソン」を紐解くための一助とした。

なお、本研究は大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、関西大学と読売新聞大阪本社の共同調査研究によって実施したものである。

<調査実施概要>

第7回大阪マラソン 関西大学・読売新聞社共同調査研究 集計数

	ランナー調査			当日観客調査
	一般	海外ランナー	チャリティランナー	
調査期間	11/27～12/10	11/27～12/10	11/27～12/10	11/26
発送数	13,250	(英語)973 (中国語)1,082	577	-
調査方式	Webアンケート			街頭聞き取り調査
集計数	6,184			559
	5,050	900	234	
内訳	-	英語	369	中之島 104
		中国語(繁体字)	531	なんば 117 インテックス大阪 338
回収率	38.1%	43.8%	40.6%	-

第7回大阪マラソン調査結果の概要

今回のアンケート調査は、一般ランナー5050人、海外ランナー900人、チャリティランナー234人、観客559人と、サンプル数としては調査の信頼性を担保するものとなっている。さらに、今回の特徴は、ランナーに大阪マラソンに参加する物語（ランナーズ・ストーリー）についての質問をしたことである。

以下に、一般ランナー、海外ランナー、チャリティランナー、観客の順で、調査結果とその考察の概要について述べる。

I. 一般ランナー

今回も Web による調査を行い、多くの人に回答してもらった。ここでは、昨年のデータと比較することにより、その変化を考察することにする。

1. あなた自身について

大阪滞在日数と形態について、「日帰りで参加」が 62.5%（昨年 61.1%）、「前泊し 2 日間滞在した」が 25.0%（昨年 27.3%）、「3 日以上滞在した」が 11.4%（昨年 10.6%）、「後泊し 2 日間滞在した」が 1.1%（昨年 1.0%）と、昨年とは、あまり変化はなかった。

大会への同伴について、「ひとりで」が 59.4%（昨年 57.7%）と、半数以上が一人で参加している。「家族・親戚と」が 24.1%（昨年 24.5%）、「友人・知人と」が 12.9%（昨年 15.2%）と、昨年同様、応援してくれる知り合いと来る傾向にあるといえる。

大会への同伴の人数は、2 人が 19.7%（昨年 20.1%）、3 人が 8.5%（昨年 8.1%）と、3 割近くが 2、3 人の同伴で来る傾向にあるといえる。

マラソン以外の活動について、「大阪マラソン EXP02017 のイベントを楽しんだ」が 66.3%（昨年 69.2%）、「何もしなかった」が 18.3%（昨年 18.5%）となっており、また、使った経費について、「1 万円未満」が 55.4%と最も高い割合を占め、「1 万円以上 2 万円未満」は 18.6%となっており、ある程度の経済的効果が見込まれる。

大会の評価について、「満足した」が 70.0%（昨年 75.0%）、「まあまあ満足した」が 27.1%（昨年 20.8%）であり、97.1%（昨年 95.8%）の人が満足したと回答しており、昨年に比べて満足度が向上したといえる。

来年度の大会への参加について、「ぜひ参加してみたい」が 80.1%（昨年 81.8%）、「できれば参加したい」が 17.2%（昨年 15.8%）と、97.3%（昨年 97.6%）の人が参加したいと回答しており、例年通り、ある一定のリピーターが望める。



2. 大阪マラソンの運営について

大阪マラソンの運営について、「良いと思った」と答えた人の割合だけで評価すると、「ボランティア、スタッフの対応」が 91.3%（昨年 90.2%）と最も高く、次いで「沿道の観客の応援」が 88.7%（昨年 90.7%）である。これらは、市民マラソンで大切なホスピタリティが発揮されていて、リピーターの増加につながっていると考えられる。また、「連続落選枠があること」「フィニッシャータオル」「ポケットガイド」が約7割となっていることから、大阪マラソンの特徴的な運営も概ね好評である。

ただ、「なないろチーム対抗戦」が 43.5%（第5回 55.2%、第6回 47.6%）と年々減少してきており、50%を切っていることから、大阪マラソンにおける役割の再検討が必要だと考えられる。

大阪マラソンの魅力について、「沿道の観客の応援」が 56.4%（昨年 61.2%）、「ボランティア、スタッフの対応」が 16.0%（昨年 12.0%）で約7割を占めている。一方、「ランナー同士の交流」が 1.2%（昨年 1.3%）、「なないろチーム対抗戦」が 1.8%（昨年 2.6%）と、昨年同様、大会の魅力にあまりなっていないといえる。



スポンサーサービスについて、「ランナーズアイ」が 74.4%と（昨年 75.8%）と、昨年同様一番評価が高く、ランナーと応援する観客を繋ぐ上で大きな役割を果たしているためと考えられる。一方、「大会限定商品の販売」が 19.6%（昨年 21.3%）とサービスとしての評価は低いといえる。

公式スマートフォンアプリの利用について、「実際に利用した」が 35.6%と少なく、「アプリを知らなかった」が 31.3%と周知が不足していたことと、利用しなかった人が 26.4%と利用の必要性を感じていなかったことがうかがえる。

大阪マラソン SEASON TRIAL2017 への参加について、「知らなかった」が 52.2%と周知が不足していたことと、「知っていたが、いずれのイベントにも参加しなかった」が 42.6%と、参加しなかった人の割合が 95.1%という大半を占めていた。

大阪スポーツ応援ランナーについて、「知らなかった」が 50.4%と半数を占め、周知が不足していたといえる。また、「良いと思った」が 19.6%、「まあまあ良いと思った」が 20.3%と、知っていた人の中で8割が評価しているといえる。その仕組みの改善について、「寄付者はマラソン当落発表後でも応募できる」が 59.8%と、身内に出走権を進呈するよりも、落選者の救済措置として活用したいと考えている人が多いといえる。

大会のイベントについて、「ぜひ参加したい」と「参加したい」を合計した割合でみると、「ランナー同士の交流イベント」が 69.1%、「ボランティアとの交流イベント」が 66.1%、「チャリティ団体との交流」が 58.2%と、人と人との交流を求めているといえる。

コース変更が検討されていることについて、「知っている」が 17.8%、「この質問で初めて知った」が

82.2%であり、まだあまり認知されていないといえる。

3. チャリティについて

寄付先団体の決定について、「テーマに関心があったから」が64.7%（昨年68.7%）と大半を占めている。ただ、「なんとなく」が15.9%（第5回10.3%、第6回13.6%）となっており、なんとなく寄付先団体を決めている人が、毎年増加していることが課題といえる。

チャリティの運営に関しては、それぞれの項目の違いを明確にするために、「良いと思った」と答えた人の割合だけで評価してみると、「自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードを身につけて走ること」が58.1%（昨年62.0%）と多く、昨年同様チャリティ団体との繋がりを意識することへの評価が高い。「寄付先（チャリティ団体）の目的や活動を明確にしている」が56.3%（昨年59.7%）、「チャリティランナーの制度」が55.9%（昨年60.0%）とチャリティに関する運営側の取り組みについては評価されている。ただ、「寄付先団体の広報活動」が41.9%（第5回52.8%、第6回44.4%）と低くなっており、各寄付先団体の広報活動に工夫が必要である。



4. 一般ランナーのストーリーについて

一般ランナーに、参加の目的やストーリーについて自由に書いてもらった。下記はその抜粋である。

<ストーリー抜粋>

- 私は運動が嫌いで、今まで1キロ走るのもやっとでした。沿道応援をされていて、走りたくなり思い切って応募！8.8キロでフルよりはるかに短距離だけど、完走できたら自分が変わるような気がして応募しました。今度はフルに挑戦したいです。（30代女性）
- 4年前に子供達が受験で、父として努力すれば目標を達成できることを示したくて、マラソンにチャレンジしました。そのときの達成感と応援に感動し、新しい目標として50歳までに10回完走を目標にしました。今回、記念の10回目のマラソンだったので、是非、故郷の大阪で達成したいと思っていました。今回、その願いが叶い、家族にも応援してもらって、思い出深い大会になりました。（50代男性）
- 今回で3回目の参加になりましたが、当初はただ単純に都市型マラソンに参加するという軽い気持ちでしたが、今回は8月に第一子が生まれたこともあり、いろんな意味で大阪に感謝感激という気持ちで走らせていただきました。そのかいもあって自己ベストでサブ4を達成することができました。今回は子供が小さいということもあって自分一人での参加でしたが、来年以降も参加できるな

ら家族全員で大阪に伺いたいと思います。(30代男性)

- ボランティアで参加してから大阪マラソンの活気ある盛り上がりと街一丸となってランナーをもてなすホスピタリティと大阪ならではの笑いが絶えないという、大会の魅力に惹かれて以来、初フルマラソン&完走は大阪マラソンでというのが私のかねてからの夢でありました。落選の年はボランティアとして大会に参加していたので、今回夢の舞台に立たせていただきました、沢山の方々に支えられ無事目標を達成することができ大変嬉しく思っています。この経験と街の方々、ランナーの方々から頂いた言葉に出来ない数々の優しさを胸にこれからも大阪マラソンと一緒に盛り上げて行きたいと思いました。幸せな 42.195 キロをありがとう。(20代女性)
- がんを患っているおばが大阪市内に住んでいます。おばは私が走るのをいつも応援してくれていて、今回もおじが入院している天六の病院から自転車で天満橋まで来てくれて応援してくれました。私が走ることでおばが少しでも元気になってくれたらと思い、毎年参加しています。(40代女性)
- 家族ができ守るものが増えてきたので、苦手なマラソンを走ることで自分自身が強く優しくなりたかった。練習を通じて努力し続けることの大切さを伝えたかった。(30代男性)
- 48歳から健康のためにランニングを始めたのですが、会社の同僚からの誘いで昨年初めて大阪マラソンを走りました。50歳を超えて初のマラソンでしたが、とにかく大阪マラソンは沿道の方からの声援が多く、本当に勇気付けられ、無事に完走することができました。昨年は5月にヘソ下を12センチ切る開腹手術をした為、思うように練習ができませんでしたが、それでも沿道の皆さんからの声援のお陰で4時間19分というタイムを出せました。自身にとって2回目となる今年の大阪マラソンの目標を何が何でもサブ4達成と決めて今年走りましたが、今年もたくさんのご声援のお陰で目標を達成することができました。(50代男性)

ストーリー記述の中から出現頻度の高い150語を取り出し階層的クラスター分析をしたところ、主として7つのパターンのストーリーが存在することが分かった。

1. 自己ベストを更新するために走る。
2. 大阪で開催されるマラソン大会なので走りたい。
3. 目標タイムを達成するために走る。
4. 御堂筋を走れるし、沿道の応援が楽しく、ゴールできたのは見てくれている人の声援とボランティアのおかげだと感じる。
5. 記録の出る良いコースであるし、家族の住む地元の開催であるし、友人と申し込んで当選したので走る。
6. 自分への挑戦のために走る。

- ランニングから始め、練習してタイムが出るようになり、マラソンを楽しむことができるようになったので走る。

(※上記の7パターンのストーリーは、出現頻度の高い単語を分析したもので、必ずしも全てのストーリーを網羅するものではない)

II. 海外ランナー

Webによる英語と中国語の二か国語による調査を行い、日本人のデータあるいは昨年のデータと比較することで考察する。

1. あなた自身について

大阪滞在日数について、5日が26.8%で最も多く、次いで4日が22.7%、6日が18.0%となっており、ある一定の滞在型イベントとなっている。

大会への同伴について、「ひとりで」が22.0%（日本59.4%）と日本に比べて著しく少ない。一方、「家族・親戚と」が37.9%（日本24.1%）、「友人・知人」が32.2%（日本12.9%）で、海外ランナーは同伴者が多いのが特徴である。

大阪マラソン以外の活動について、「何もしなかった」が4.0%（日本18.3%）と、日本人よりも少なく、「買い物」「市内観光」「飲食」が8割を超しており、海外ランナーにとって、大阪マラソンはスポーツツーリズムとして認識されているといえる。

滞在中の経費について、「5万円以上10万円未満」が31.1%（昨年36.6%）、「10万円以上15万円未満」が24.4%（昨年20.4%）となっており、昨年より経済的効果は向上しているといえる。

大会の評価について、「満足した」が77.3%（日本70.0%）、「まあまあ満足した」が21.7%（日本27.1%）と、満足している人が99.0%（日本97.1%）であり、日本人に比べて大会への満足度は少し高いといえる。

来年度の大会への参加について、「ぜひ参加してみたい」が46.4%（昨年80.1%）、「できれば参加したい」が46.6%（日本17.2%）で、その割合は日本人とは逆転しているが、9割以上の人に参加したいと回答しており、一定のリピーターが望める。



2. 大阪マラソンの運営について

大阪マラソンの魅力について、「沿道の観客の応援」が55.4%（昨年59.9%）と最も多く、観客の応援が大阪マラソンへの誘因になっているといえる。

大阪マラソンの運営について、「良いと思った」と答えた人の割合だけで評価すると、「ボランティア、スタッフの対応」が91.6%（日本91.3%）と最も高く、次いで「沿道の観客の応援」が84.8%（日本

88.7%) という結果となった。日本人ランナーと同様に、ホスピタリティを高く評価している。また、特徴的には、「フィニッシャータオル」が81.0% (日本73.1%) と高い評価を受けている。

一方、「なないろチーム対抗戦」「参加記念Tシャツ」「宿泊施設の受け入れ」「公式WEB ページ・SNS」については、半数程度しか良いとされておらず、大会運営面で再検討する必要があるとされている。

スポンサーサービスについて、「ランナーズアイ」が27.3% (日本74.4%) と、日本人に比べて評価は低い、「大会限定の商品の販売」が53.2% (日本19.6%) と評価が高く、記念品として商品を購入していると考えられる。

公式スマートフォンアプリの利用について、「実際に利用した」が43.9% (日本35.6%) と、日本人より利用した人が多かった。ただ、利用しなかった人は28.9% (日本26.4%) で、3割の人は必要性を感じていないといえる。また、知らなかった人が26.3% (日本31.3%) と周知の方法を工夫する必要がある。

大阪マラソン SEASON TRIAL 2017 への参加について、「知らなかった」が50.1% (日本52.5%) と、日本同様、周知の方法に工夫が必要である。また、「知っていたが、いずれのイベントにも参加しなかった」が41.8% (日本42.6%) と、海外からの参加は難しいといえる。

大会のイベントについては、「ぜひ参加したい」と回答した人の割合でみると、「大会前日の歓迎(ウェルカム)パーティ」が52.7% (日本16.9%)、「大会終了後にサヨナラ(フェアウェル)パーティ」が53.6% (日本16.7%) と、交流のためのパーティを希望しているところが、海外ランナーの特徴である。

3. チャリティについて

寄付先団体決定の理由について、「テーマに関心があったから」が44.2% (日本64.7%) と日本人と比べて少ないが、「現代的な問題に取り組んでいるから」が13.8% (日本5.5%)、「寄付先団体の活動に関心があったから」が12.2% (日本6.9%) と、活動内容で選んでいるのが、海外ランナーの特徴だといえる。

チャリティの運営に関しては、「良いと思った」だけで見ると、「チャリティカラーのナンバーカードを身につけて走ること」が64.8% (日本58.1%) と、日本人同様、チャリティ団体との繋がりを意識することへの評価が高い。



4. 海外ランナーのストーリーについて

海外ランナーに、参加の目的やストーリーについて自由に書いてもらった。下記はその抜粋である。
<ストーリー抜粋>

- 日本のマラソン大会にずっと憧れていました。今回は幸運にも参加でき、自分の選択は間違ってい

なかったと確信しました。一番印象に残っているのは、あたたかく応援してくれた市民の姿でした。スタートの時、「行ってらっしゃい」と言ってくれて、ゴールの前に、「お帰り」と言ってくれました。それを聞くと、心が温かくなりました。応援してくれた一人ひとりが真心で応援してくれて、私は楽しく完走できました。レース全体の企画もよくて、ランナーへの尊重が感じられます。大阪マラソン「最高」。これからも参加したいです。（台湾 30 代女性）

- 彼女がずっと大阪マラソンに参加したいと言っていたのですが、彼女はマラソン経験がありませんでした。もし今回の大阪マラソンに抽選で二人とも当たったら一緒に行く約束していて、今回当たりました。彼女はギリギリ完走しましたが、大阪ではショッピングも楽しんでいたようです。（台湾 30 代男性）
- 自己への挑戦と、走ることで自分の両足を通して、この都市を知ることができました。（台湾 30 代女性）
- 今回は家族と一緒に走った。10 キロのところ転倒のため、両足を怪我したが、完走できた。夫も足を怪我したので、二人とも怪我のまま、助け合って、最後まで一緒に完走できた。非常に感動した。（香港 30 代女性）
- 大阪マラソン 2017 は私にとって 100 回目のマラソンでした。この節目になぜ大阪を選んだか？わかりません。でも絶対日本でないと、と思いました。大阪マラソンに参加できる幸運をつかんだとき、私は 100 回目のマラソンと家族旅行の計画をはじめました。98 回目は岡山マラソンで、99 回目は神戸マラソンで、日曜日に 3 週連続してマラソンがありました。そして私たちは大阪で素敵な思い出ができました。（台湾 60 代男性）
- 今大会に参加したのは、去年の大阪マラソンに参加した友人のオススメがあったからでした。今回は神様のために参加しました。僕のランニングの才能は神様から頂いたからです。走ることを通して、神様に恩返しをしたかったのです。今回一番印象に残っているのは、ボランティアと応援してくれた温かい大阪市民でした。特に辛い時、市民の温かい応援のお陰で、最後まで頑張りたくなりました。また、「成績は気にせず、楽しく完走することが大事だ」と励ましてくれました。その時僕はすごく感動し、涙が出ました。大阪マラソン、ありがとうございました。また来ます。（台湾 30 代男性）
- 最初、健康のためにランニングをはじめました。だんだん走ることを通して、健康維持だけではなく、様々な人を知る機会があり、異文化理解につながっていると感じます。今回の大阪マラソンのチャリティテーマは「家族を支える」を選んで、非常に意義があると思いました。（台湾 30 代男性）



ストーリー記述の中から出現頻度の高い 150 語を取り出し階層的クラスター分析をしたところ、主として7つのパターンのストーリーが存在することが分かった。

1. 市民の暖かい応援が印象に残った。
2. 海外のマラソン大会を体験するのなら、日本の雰囲気を感じる大阪マラソンに参加したいと思った。
3. 自己ベストを出すために走る。
4. 友達と一緒に走る。
5. 自分自身のチャレンジと家族旅行のために走る。
6. 完走できて感動し、嬉しい思い出になったのは、スタッフのおかげと感謝している。
7. みんなが楽しめる良いイベントで、挑戦の気持ちを知ることができ、沿道での見る人々の情熱を感じ、文化に触れ観光する良い機会となった。

(※上記の7パターンストーリーは、出現頻度の高い単語を分析したもので、必ずしも全てのストーリーを網羅するものではない)

Ⅲ. チャリティランナー

チャリティランナーとは、組織委員会の公募により選定された寄付先14団体から支援したい団体を選んで、インターネット上の専用サイト等で広く協力者（サポーター）を募り、目標額（7万円以上）の寄付を集めて（チャレンジ）、出場権を得るランナーのことである。ここでは、一般ランナーのデータあるいは昨年のデータと比較しながら考察する。

1. あなた自身について

大阪滞在日数と形態について、「日帰りで参加」が54.3%（一般62.5%）と、一般より少なく、「3日以上滞在した」が23.5%（一般11.4%）と一般より多いことから、滞在日数が多いのが特徴である。

大会への同伴について、「ひとりで」が48.3%（一般59.4%）と、一般より少なく、「知人・友人と」が17.1%（一般12.9%）、「仕事関係の人と」が13.2%（一般3.2%）と、知人・友人あるいは仕事関係の人と参加するのが特徴であるといえる。



マラソン以外の活動について、「大阪マラソン EXPO のイベントを楽しんだ」が66.7%（一般66.3%）、「大阪名物を飲食した」が33.3%（一般34.5%）と、一般ランナーとその活動は変わりがなかった。

使った経費について、「1万円未満」が50.9%（一般55.4%）、「1万円以上2万円未満」が14.5%（一般18.6%）

と、2万円未満が約65%となっており、一般ランナーと同様に、ある程度の経済的効果は見込まれる。

大会の評価について、「満足した」が77.8%(一般70.0%)、「まあまあ満足した」が21.8%(一般27.1%)と、例年通り、ほとんどの人が満足しているといえる。

来年度の大会への参加について「ぜひ参加してみたい」が72.6%(一般80.1%)、「できれば参加したい」が25.2%(一般17.2%)と、昨年比で、ぜひ参加したい人が減少しているものの、97.8%の人が参加したいと回答しており、一般ランナー同様、ある一定のリピーターが望める。

2. 大阪マラソンの運営について

大阪マラソンの魅力について、「沿道の観客の応援」が62.0%(一般56.4%)と一般ランナーより多く、「チャリティへの取り組み」が14.1%(一般3.5%)と特徴的である。

大阪マラソンの運営について、「良いと思った」と答えた人の割合だけで評価すると、「沿道の観客の応援」が良かったと答えた人91.0%(一般88.7%)と最も高く、次いで「ボランティア、スタッフの対応」が89.3%(一般91.3%)で、一般ランナーとはあまり差が見られず、運営のホスピタリティへの評価が高いといえる。一方、一般ランナーより「まいどエイド」が49.1%(一般56.4%)と少なく、「なないろチーム対抗戦」が55.1%(一般43.5%)と多いことから、ある面、競技的指向が強いランナーであるといえよう。

スポンサーサービスについて、「ランナーズアイ」が79.5%(一般74.4%)と最も多く、一般ランナー同様、応援する観客に自分の走っている位置を知らせるための重要なツールとなっている。一方、「大会限定商品の販売」は22.2%(一般19.6%)となっており、サービスの評価は低いといえる。

大阪スポーツ応援ランナーについて、「知らなかった」が57.7%(一般50.4%)と過半数を占めていることから人々に認知されていないという課題がみられた。また、「良いと思った」が17.5%(一般19.6%)、「まあまあ良いと思った」が17.7%(一般20.3%)と、知っている人の約8割が良いと評価している。その仕組みの改善について、「寄付者はマラソン当落発表後でも応募できる」が65.8%(59.8%)と、一般ランナーより、落選者の救済措置として位置付けることが良いとする人が多い。

大会イベントについては、「ぜひ参加したい」と「参加したい」を合計した値で見ると、「チャリティ団体との交流イベント」が83.3%(一般58.2%)と最も多く、チャリティランナーとしてチャリティ団体との関わりを持とうとしていることがうかがえる。

3. チャリティについて

寄付先団体の決定について、「寄付先団体の活動に関心があったから」が50.4%(一般6.9%)と、一般ランナーと決定的に違う。また、当然のことではあるが、「なんとなく」は、0.9%(一般15.9%)と、はっきりと寄付先団体の活動で決めているのが分かる。

チャリティの運営に関しては、「良いと思った」と答えた人の割合でみると、当然のことではあるが、「チャリティランナー制度」が88.0%（一般55.9%）と、高く評価している。また、「寄付先団体の活動を明確にしていること」が81.6%（一般56.3%）で、活動内容に関心がある。一方、「チャリティアンバサダーの任命」については53.8%と、それほど評価していないといえる。

サポーターの人数について、「0人」が26.1%（昨年38.1%）で、6人以上が35.5%（昨年22.4%）となっており、昨年に比べて、募金活動を積極的に行う傾向にある。

募金活動については、「何もしなかった」が34.6%（昨年44.8%）と、昨年比で減少しているが、「知人・友人にお願いした」が37.2%（昨年29.9%）、「家族親戚にお願いした」が26.9%（昨年17.9%）と増加しており、関係者からの募金が増加している。

チャリティランナーで参加する理由について、「寄付先団体の活動を応援したいから」が39.3%で最も多かったが、次いで「7万円払えば出場権を得られるから」が15.8%と多く、チャリティランナーの趣旨に沿わない理由が払拭できない状況にある。

参加して良かったことについて、「専用エリア等が設けられていること」が66.2%、「寄付先団体の目的や活動により共感できたこと」が65.0%と、チャリティランナーとしての自覚が得られることに、共感しているといえる。

チャリティランナーとしての満足度について、「大変満足した」が78.2%（昨年73.1%）、「まあまあ満足した」が20.5%（昨年26.9%）と、昨年より満足度は上がったといえる。

チャリティランナーとしての来年の参加について、「ぜひとも走りたい」が53.4%（昨年41.0%）と積極的な意思が増加し、「できれば走りたい」が42.3%（昨年54.5%）と消極的な意思が減少している。

4. チャリティランナーのストーリーについて

大阪マラソンのチャリティランナーの参加の目的について自由に書いてもらったが、回答者が少なかったので、量的な分析はできなかった。そこで、抜粋したストーリーだけを掲載する。

<抜粋ストーリー>

- チャリティランナーで何年も走っていた会社の社長の影響で走りました！障がいのある子ども達へ希望を届けたいと願いましたが、こちらが励まされるようなそんな素晴らしい特別な体験をさせて頂きました！（30代男性）
- チャリティマラソンの意味を深く知り、その趣旨に賛同したことがきっかけです。チャリティ文化が大阪から根つき、日本の文化になっていくことを願っています。（40代女性）
- 寄付先団体のファンドレイザーだったので、資金調達の為に走りました。初マラソンで、本当に走るかどうかを決めたのが8月。5月くらいまでは「少し練習して来年までに…」と思っていたのです

が、支援している子どもたちの来年があるか分からないのに大人が逃げてはいけない！と思い、8月31日にエントリーしました。練習も満足に出来ていなかったのですが、自信は全くなかったのですが、様々な方の支援、応援で何とか完走することができました。人の想いを力に変えて走ることができた、素晴らしい大阪マラソンでした。(40代女性)

IV. 観客

今回は「中之島公園」「なんば」「インテックス大阪」の3箇所で開催された。昨年のデータと比較することで考察する。

1. あなた自身について

応援の同伴について、「家族・親戚」が41.9%（昨年40.6%）と、昨年と変わりはないが、「友人・知人」が27.4%（昨年36.8%）と減少している一方で、「ひとりで」が23.2%（昨年13.1%）と増加傾向にある。



応援対象について、「家族・親戚」が39.3%（昨年30.5%）と、昨年に比べて増加し、「知人・友人」が26.4%（昨年26.7%）と変化がなかった。しかし、「ランナーみんな」と答えた人が21.3%（昨年38.1%）と減少しており、一般の観客が減っている傾向にあるといえる。

滞在日数について、「当日だけ」が75.8%（昨年76.2%）と、昨年同様、最も多くを占めている。「前日と当日」が13.8%（昨年11.9%）で、応援による滞在は、それほど多くないといえる。

応援の場所の選択理由について、「ランナーと会えるから」が25.5%（昨年19.1%）、「ランナーがよく見える場所だから」が18.4%（昨年21.5%）と、応援をする場所は、ランナーとのふれあいを中心に決めている傾向がみられる。また、「来やすかったから」が16.4%（昨年15.4%）とあり、昨年同様、利便性も決定要因となっている。

応援した場所について、「1ヶ所」が38.6%（昨年34.5%）、「2ヶ所」が25.0%（昨年22.4%）、「3ヶ所」が18.0%（昨年19.5%）、「5ヶ所以上」で応援した人は6.1%（昨年12.1%）となっており、昨年に比べて、移動の回数は減少傾向にあるといえる。

2. 観客の活動について

大阪マラソンの観戦以外の活動について、「何もしなかった」が50.7%（昨年43.4%）と昨年に比べて増加しており、「大阪名物の飲食」が15.9%（昨年23.5%）、「買い物」が14.1%（11.8%）と、飲食において経済的効果の低下がみられる。

観戦後の行動について、「応援した知人・友人と飲食をする」が 39.2%（昨年 44.2%）と、昨年比で減少している一方で、「そのまま帰る」は 34.8%（30.6%）と増加しており、経済的効果の低下につながる可能性がある。

印象に残ったものについて、「ランナーの走り」が 44.8%（昨年 53.1%）で最も多く、次に「仮装ランナー」が 39.3%（昨年 41.2%）となっており、昨年比で減少してはいるものの、ランナーについての印象が強いといえる。一方、「7色応援スタイル」が 5.0%（昨年 7.4%）、「ボード等の応援グッズでの応援」が 6.8%（昨年 7.2%）、「仮装しての応援」が 8.0%（昨年 7.0%）と、応援スタイルについての印象が薄いといえる。

3. チャリティについて

チャリティについて、「する予定はない」が 66.0%（昨年 52.1%）と昨年より増加しており、「まだしていないが、これからする予定である」は 19.6%（昨年 31.5%）と大きく減少していることから、チャリティへの取り組みが減少しつつあるといえる。

募金をしようと思ったきっかけについて、「ランナーの姿を見て感動したから」が 26.8%（昨年 38.8%）と、減少傾向にあり、「大阪マラソンはチャリティマラソンと知ったから」が 26.2%（昨年 28.3%）で、昨年とほぼ同じ割合を占めた。



<提案>

沿道の観客の応援が大阪マラソンの特徴の一つであるので、それを盛り上げるために、次のことを提案したい。

1. ゼッケンに呼んでもらいたい名前を無料で表示。ロンドンマラソンでは、観客はランナーのゼッケンにかかれた名前を呼んで応援する。そのことによって、ランナーと観客の距離が近くなる。
2. 沿道の応援をリードするボランティアの配置。観客にインタビューしたところ、甲子園の応援のように、誰かリードしてくれる人がいれば、応援しやすいという提案があった。ロンドンマラソンでは、沿道の警備をしているボランティアが応援をリードし、盛り上げていた。
3. 観客の応援に「応援賞」の設置。ユニークな応援に賞を与えると同時に、広報することで、それを楽しみに見に来る人が増える。

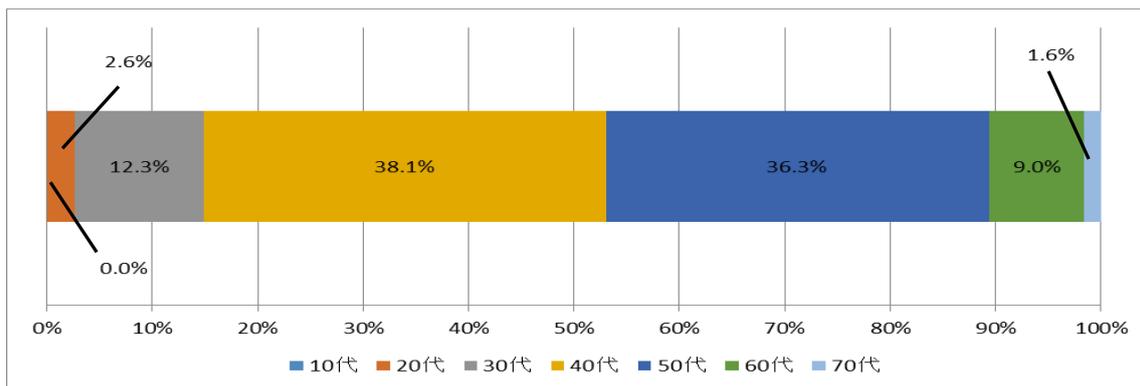
I . 一般ランナー

I. 一般ランナー意識調査

回答者数：5050

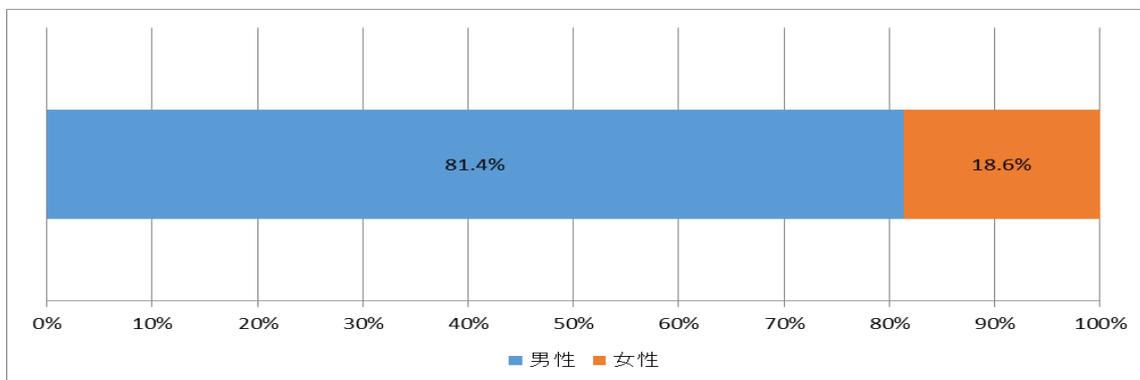
1. あなた自身について

■年齢（年代）



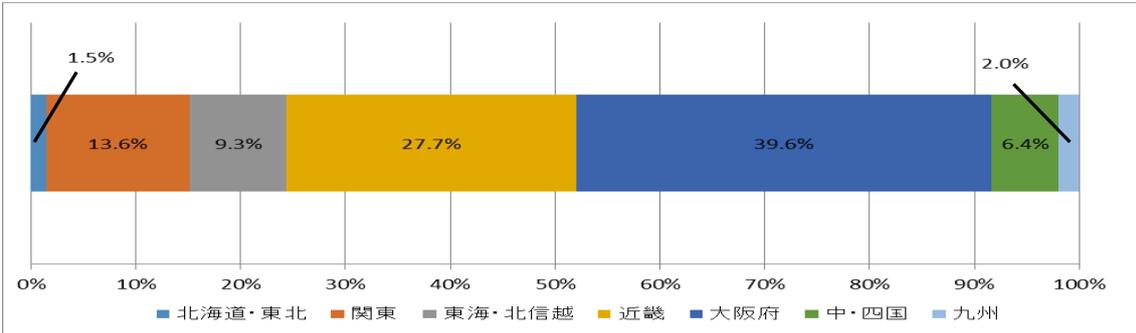
回答者の年代は、前年度に比べ、40代が41.1%から38.1%に減少し、50代が32.0%から36.3%に増加したが、母集団と対応しており、調査は信頼性があるといえる。

■性別



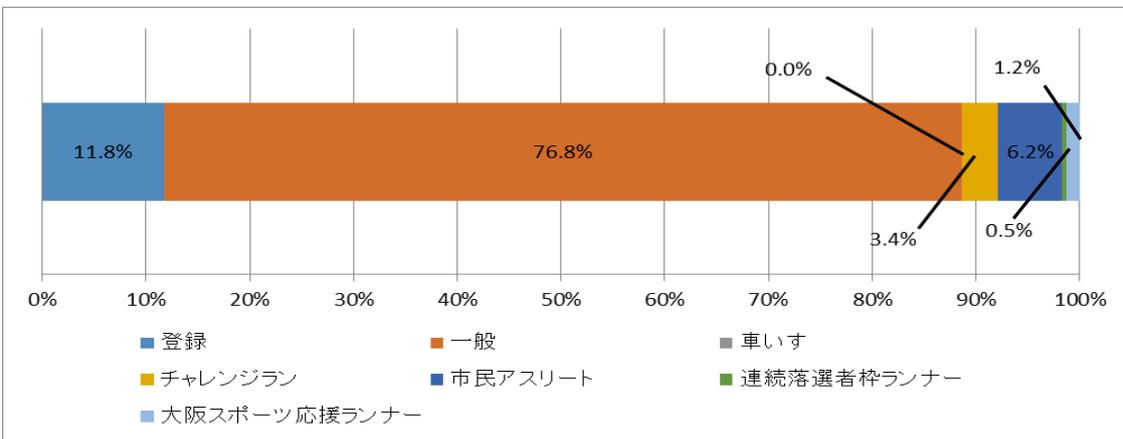
性別では、男性81.4%（昨年76.9%）、女性18.6%（昨年23.1%）を占めており、昨年と比べて回答者は、男性が増加し、女性が減少したが、母集団と対応しており、調査は信頼性があるといえる。

■お住まいの都道府県



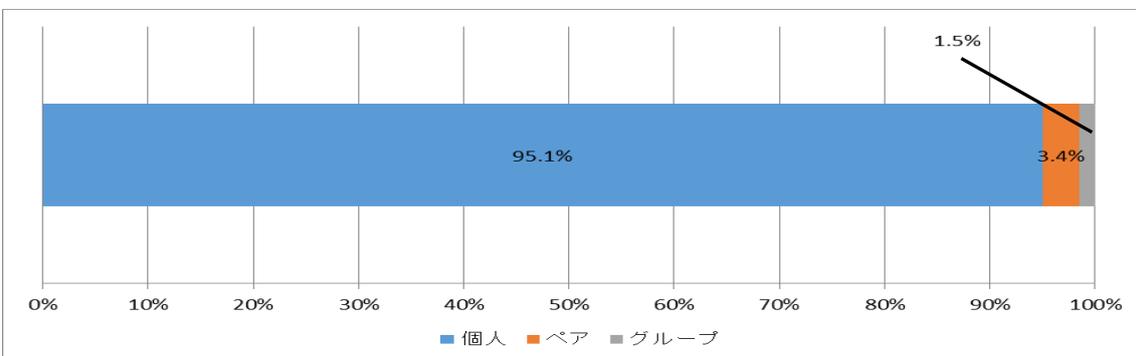
居住地については、大阪府を含めた近畿地方が第6回、5回に続き70%に近い割合を占め、昨年と大幅な数値の変動は見られなかった。

■参加区分



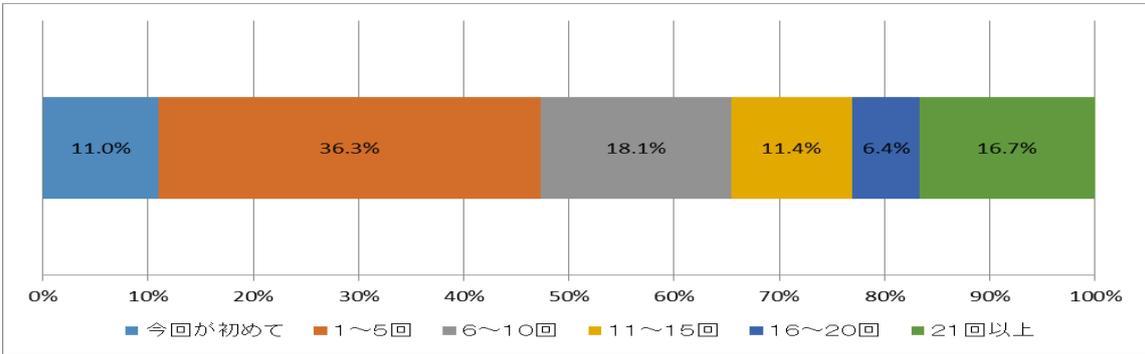
参加区分においては、例年通り一般ランナーが76.8%と最も多く、市民ランナーの割合は6.2%（昨年4.0%）と増加した。

■参加申し込み



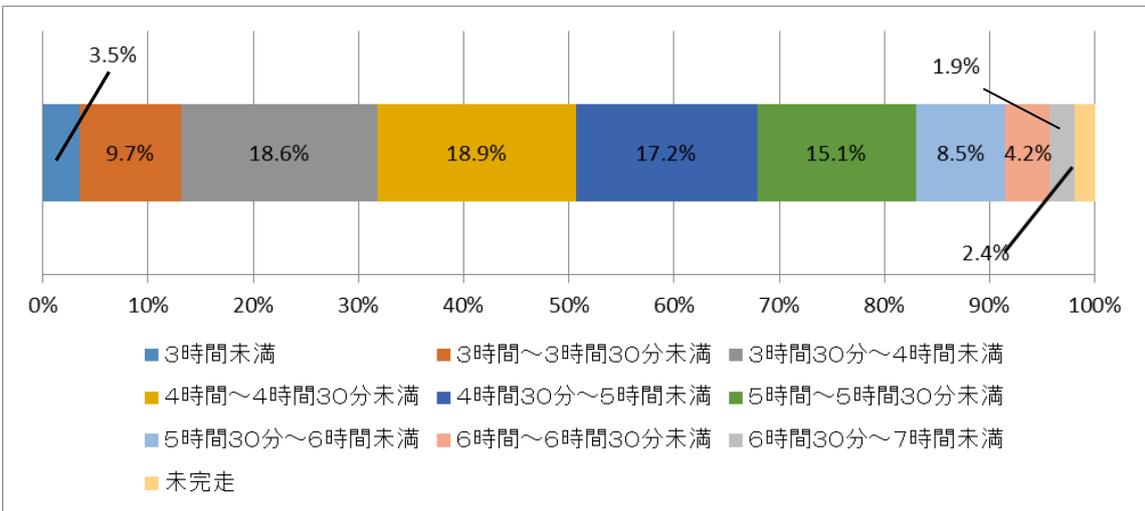
参加申し込みについては、個人での登録が90%を超えており、第5回、6回大会からその傾向は変化していない。

■市民マラソン参加経験



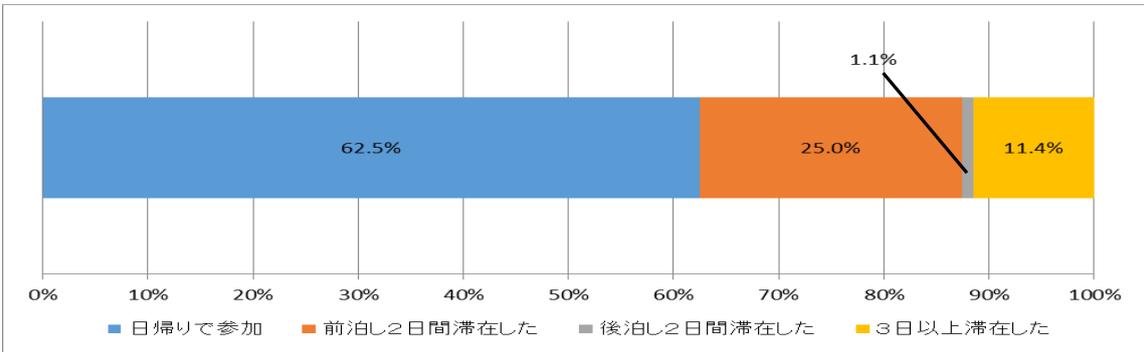
市民マラソン参加経験について、今回が初めてが11.0%（昨年14.3%）と減少傾向にある。

■今回のフルマラソンのタイム



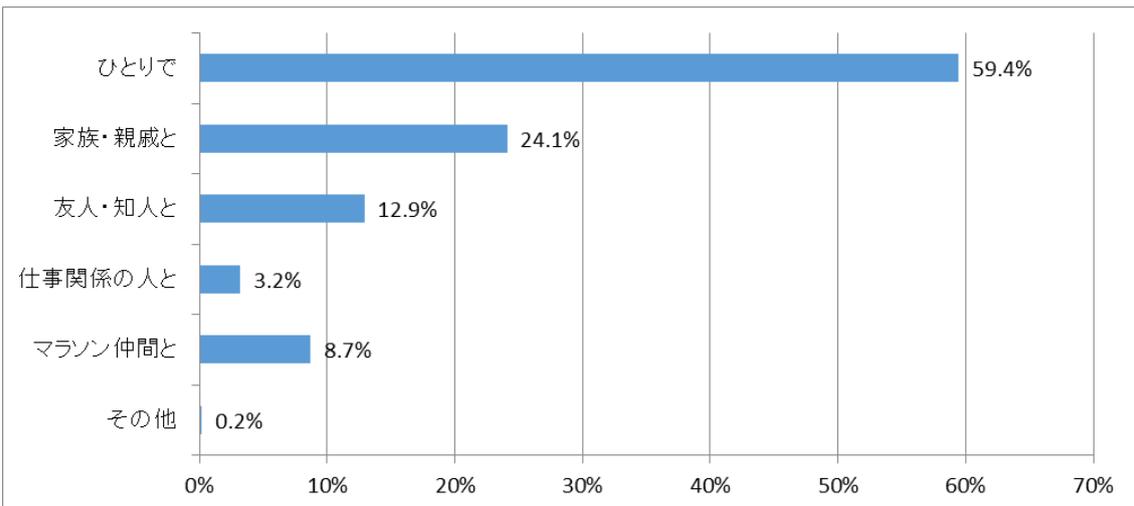
今回のフルマラソンのタイムについては、3時間未満が3.5%（昨年2.6%）、3時間～3時間30分9.7%（昨年9.2%）とわずかに増加している。反対に未完走が2.4%（昨年3.0%）と減少しており、僅かではあるがタイムの向上、未完走者の減少がみられた。

■大会前後の大阪滞在日数・形態について



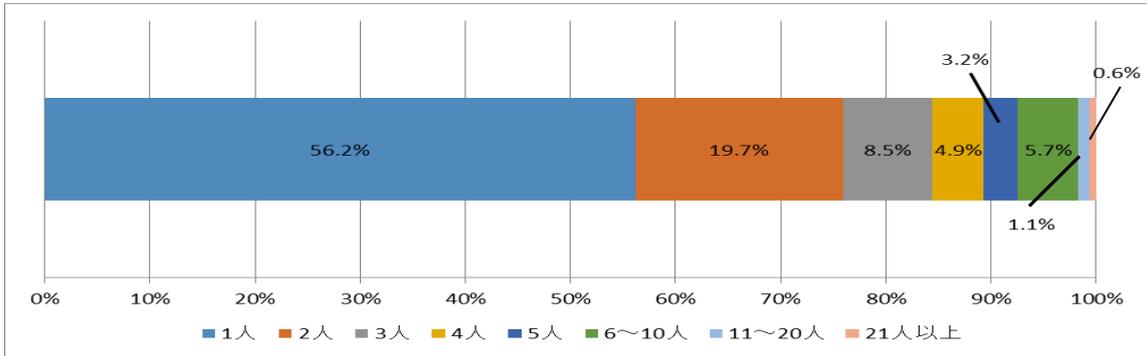
大阪滞在日数と形態について、「日帰りで参加」が 62.5%（昨年 61.1%）、「前泊し 2 日間滞在した」が 25.0%（昨年 27.3%）、「3 日以上滞在した」が 11.4%（昨年 10.6%）、「後泊し 2 日間滞在した」が 1.1%（昨年 1.0%）と、昨年とは、あまり変化はなかった。

■大会には誰と来られましたか？



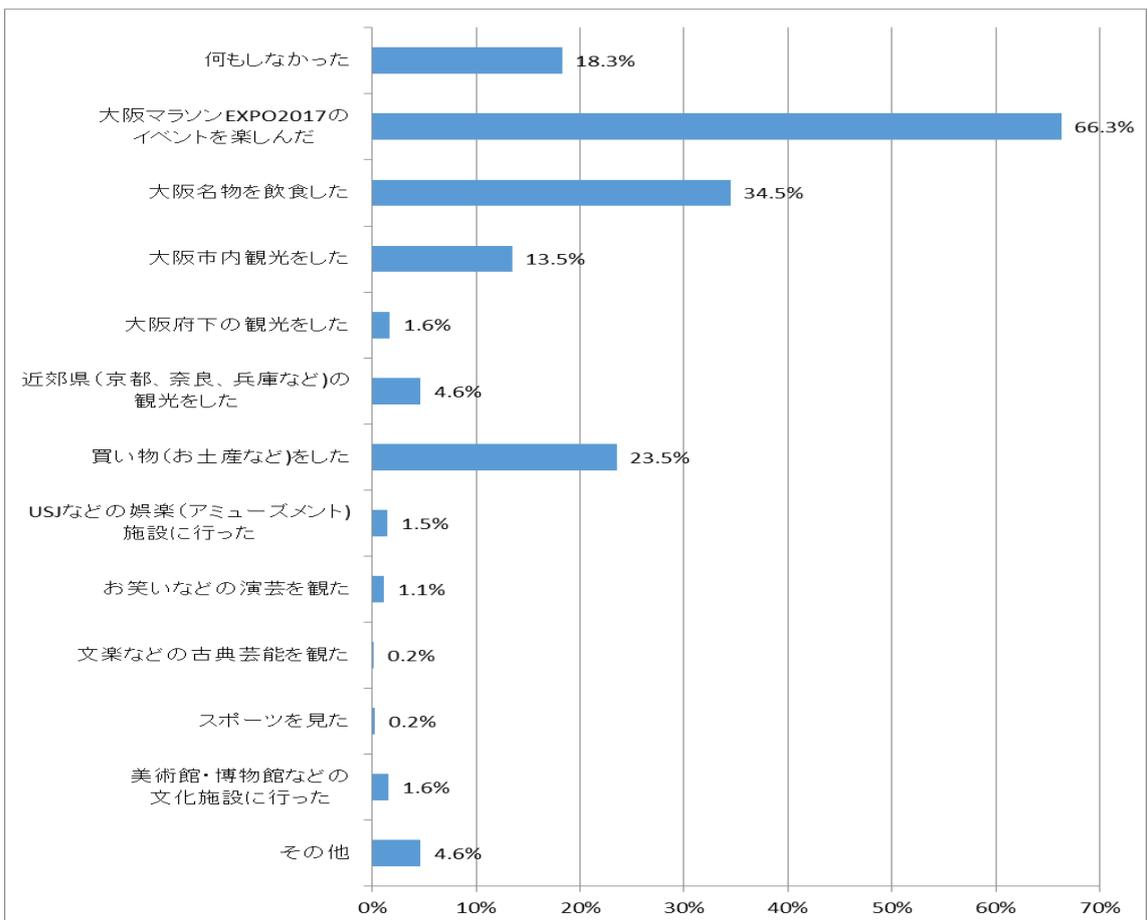
大会への同伴について、「ひとりで」が 59.4%（昨年 57.7%）と、半数近くが一人で参加している。「家族・親戚と」が 24.1%（昨年 24.5%）、「友人・知人と」が 12.9%（昨年 15.2%）と、昨年同様、応援してくれる知り合いと来る傾向にあるといえる。

■大会には何人で来られましたか？



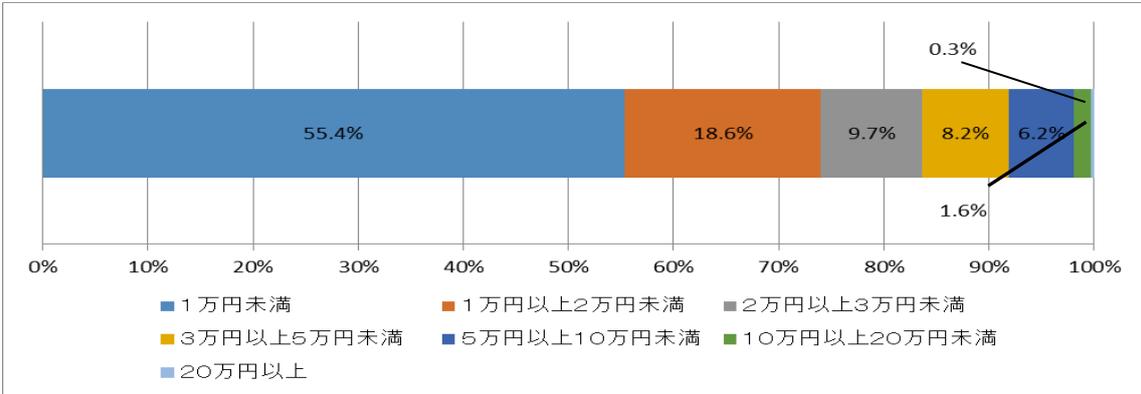
大会への同伴の人数は、2人が19.7%（昨年20.1%）、3人が8.5%（昨年8.1%）と、3割近くが2、3人の同伴で来る傾向にあるといえる。

■大阪滞中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？



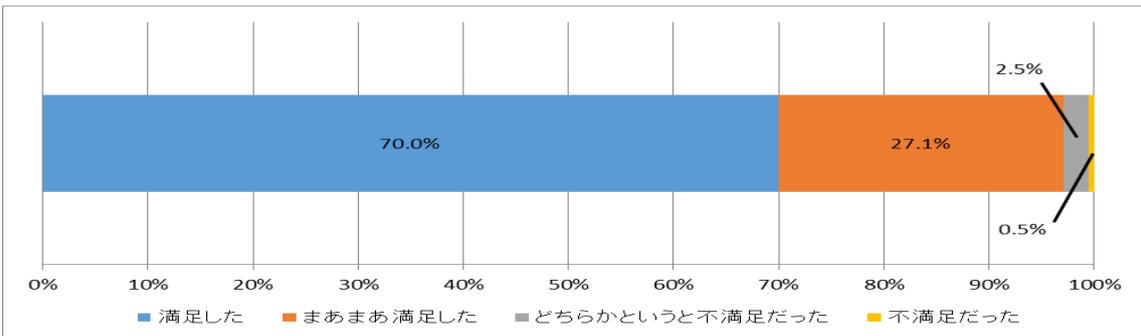
マラソン以外の活動について、「大阪マラソン EXPO2017 のイベントを楽しんだ」が66.3%（昨年69.2%）、「何もなかった」が18.3%（昨年18.5%）となっており、昨年同様、ある程度の経済的効果が見込める。

■あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか？



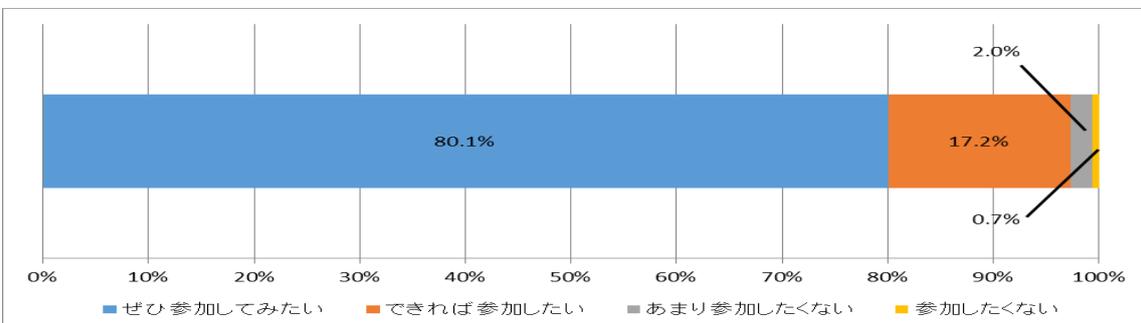
使った経費について、「1万円未満」が55.4%と最も高い割合を占め、「1万円以上2万円未満」は18.6%となっており、ある程度の経済的効果が見込まれる。

■第7回大阪マラソンに満足しましたか？



大会の評価について、「満足した」が70.0%（昨年75.0%）、「まあまあ満足した」が27.1%（昨年20.8%）であり、97.1%（昨年95.8%）の人が満足したと回答しており、昨年に比べて満足度が向上したといえる。

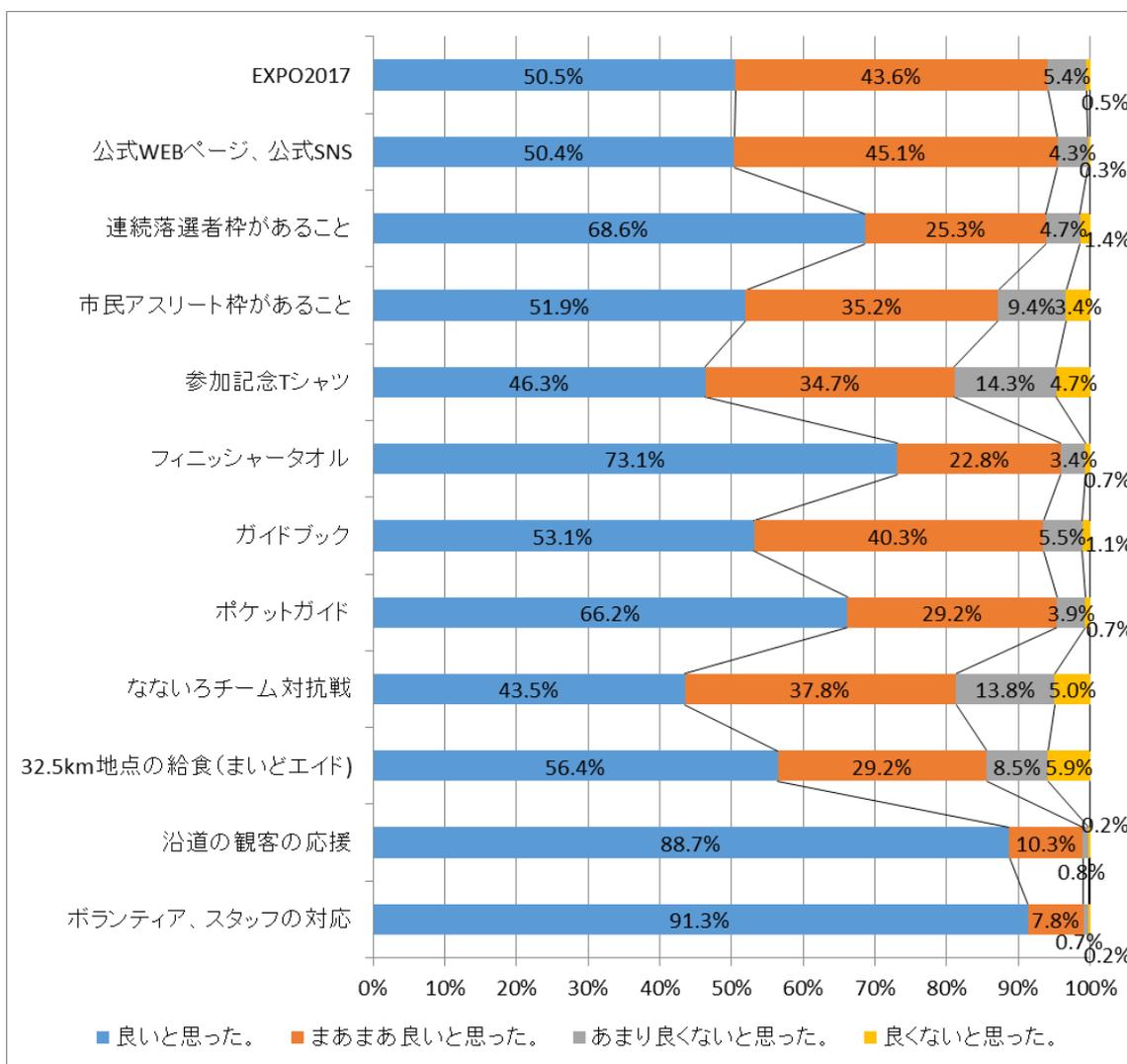
■第8回大阪マラソンに参加してみたいですか？



来年度の大会への参加について、「ぜひ参加してみたい」が80.1%（昨年81.8%）、「できれば参加したい」が17.2%（昨年15.8%）と、97.3%（昨年97.6%）の人が参加したいと回答しており、例年通り、リピート率が高いといえる。

2. 大阪マラソンの運営について

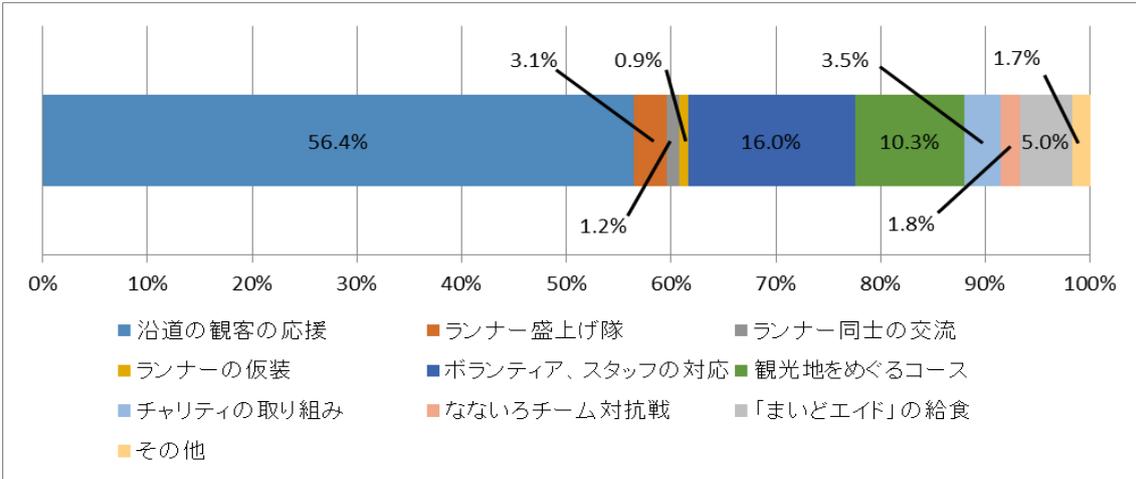
■第7回大阪マラソンの運営について、どのように思われますか？



大阪マラソンの運営について、「良いと思った」と答えた人の割合だけで評価すると、「ボランティア、スタッフの対応」が91.3%（昨年90.2%）と最も高く、次いで「沿道の観客の応援」が88.7%（昨年90.7%）である。これらは、市民マラソンで大切なホスピタリティが発揮されていて、リピーターの増加につながっていると考えられる。また、「連続落選者枠があること」「フィニッシャータオル」「ポケットガイド」が約7割となっていることから、大阪マラソンの特徴的な運営も概ね好評である。

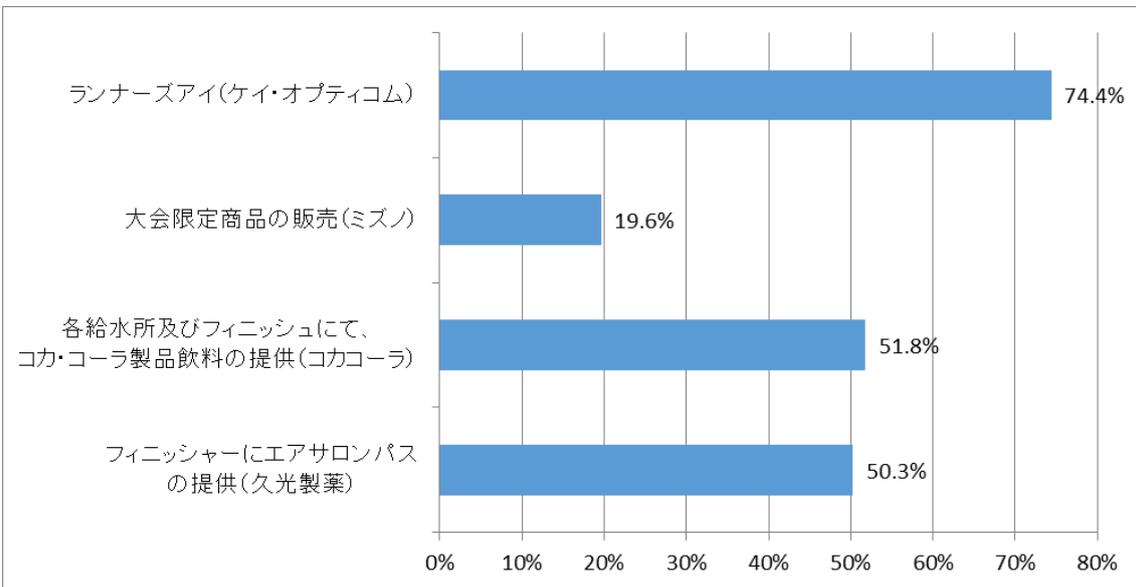
ただ、「なないろチーム対抗戦」が43.5%（第5回55.2%、第6回47.6%）と年々減少してきており、50%を切っている。「参加記念Tシャツ」も46.3%（第6回64.5%）と前回と比較して大きくポイントが下がっている。いずれも大阪マラソンにおける役割の再検討が必要だと考えられる。

■大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか？



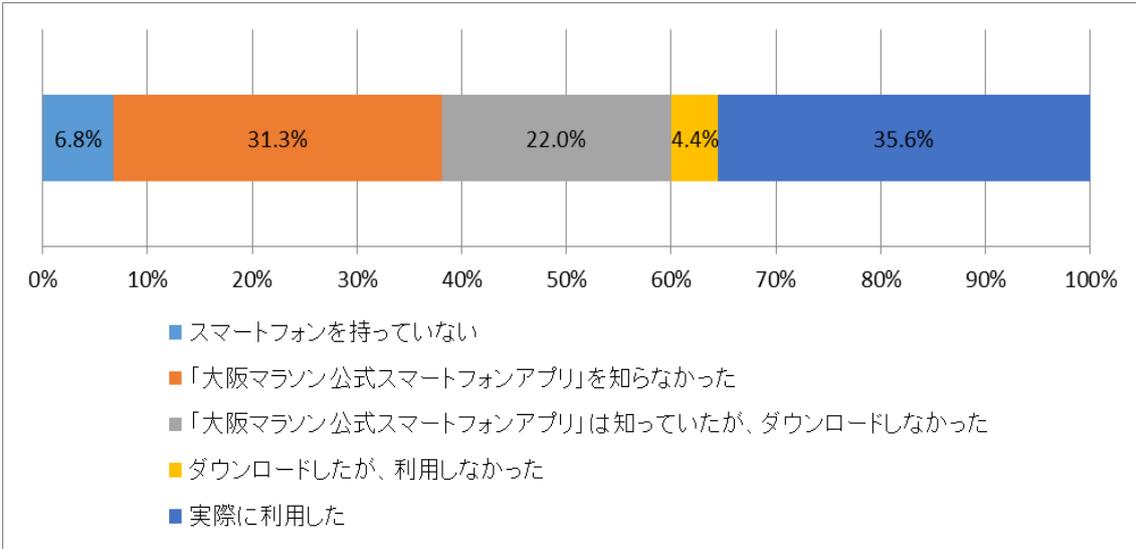
大阪マラソンの魅力について、「沿道の観客の応援」が56.4%（昨年61.2%）、「ボランティア、スタッフの対応」が16.0%（昨年12.0%）で約7割を占めている。一方、「ランナー同士の交流」が1.2%（昨年1.3%）、「なないろチーム対抗戦」が1.8%（昨年2.6%）と、昨年同様、大会の魅力になっていないといえる。

■大会スポンサーサービスで良かったものを教えてください。



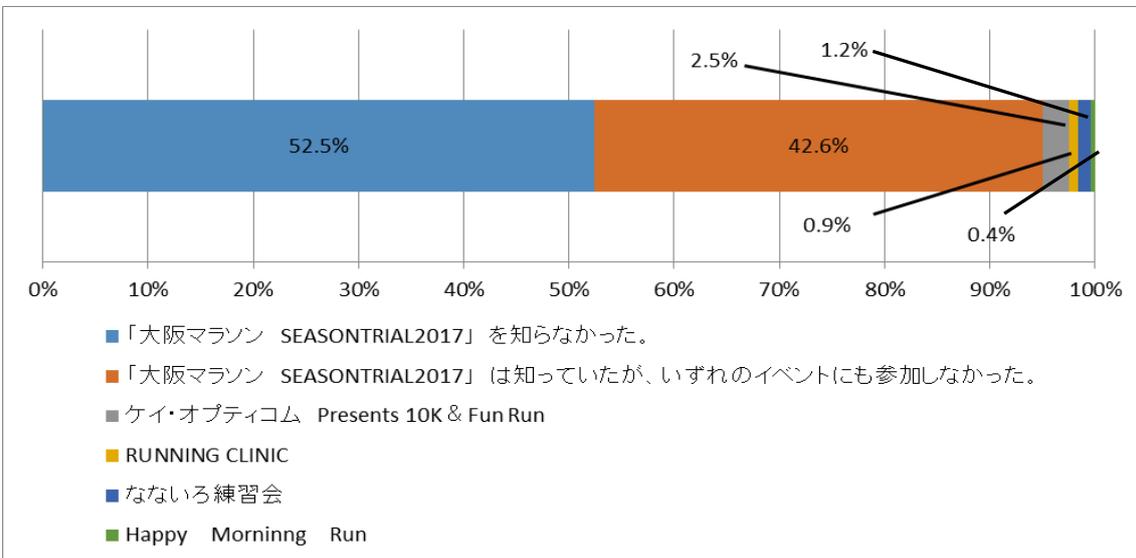
スポンサーサービスについて、「ランナーズアイ」が74.4%（昨年75.8%）と、昨年同様一番評価が高く、ランナーと応援する観客を繋ぐ上で大きな役割を果たしているためと考えられる。一方、「大会限定商品の販売」が19.6%（昨年21.3%）とサービスとしての評価は低いといえる。

■大阪マラソン公式スマートフォンアプリを利用しましたか？



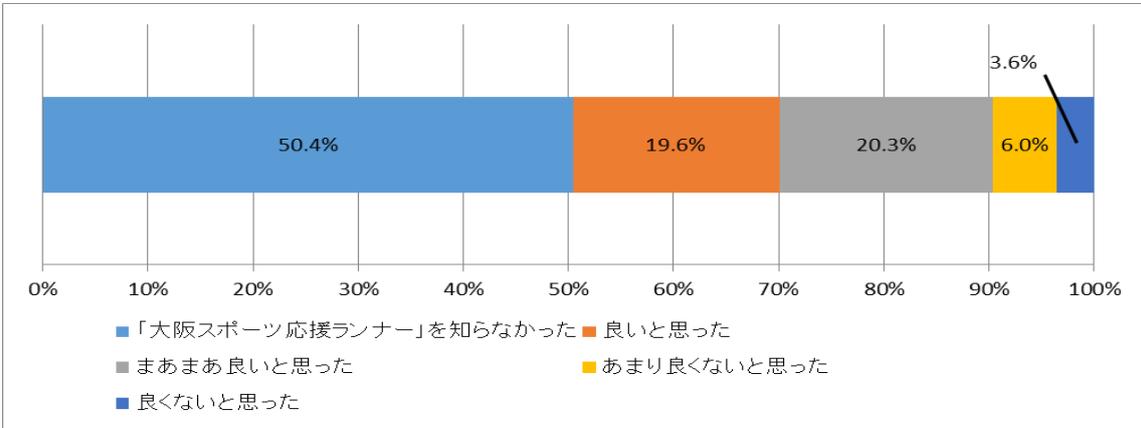
公式スマートフォンアプリを利用について、「実際に利用した」が 35.6%と少なく、「アプリを知らなかった」が 31.3%と周知が不足していたことと、利用しなかった人が 26.4%と利用の必要性を感じていなかったことが伺える。

■大阪マラソン SEASON TRIAL 2017 に参加されましたか？



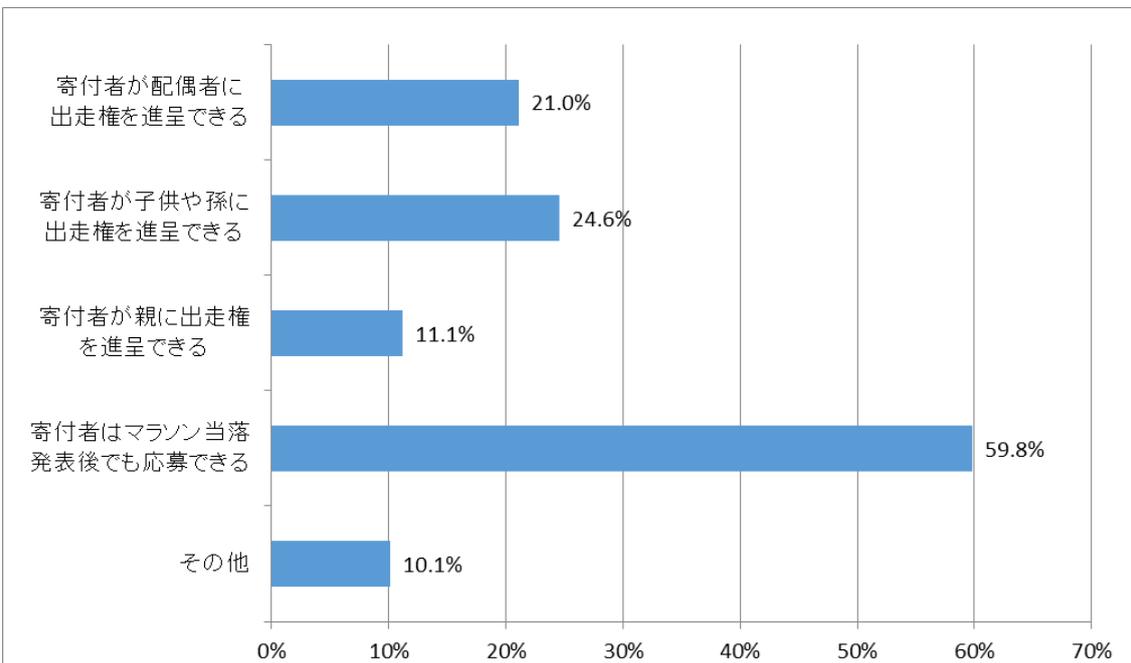
大阪マラソン SEASON TRIAL 2017 への参加について、「知らなかった」が 52.2%と周知が不足していたことと、「知っていたが、いずれのイベントにも参加しなかった」が 42.6%と、参加しなかった人の割合が 95.1%という大半を占めていた。

■ふるさと納税制度を利用した「大阪スポーツ応援ランナー」が新設されたことはどうでしたか？



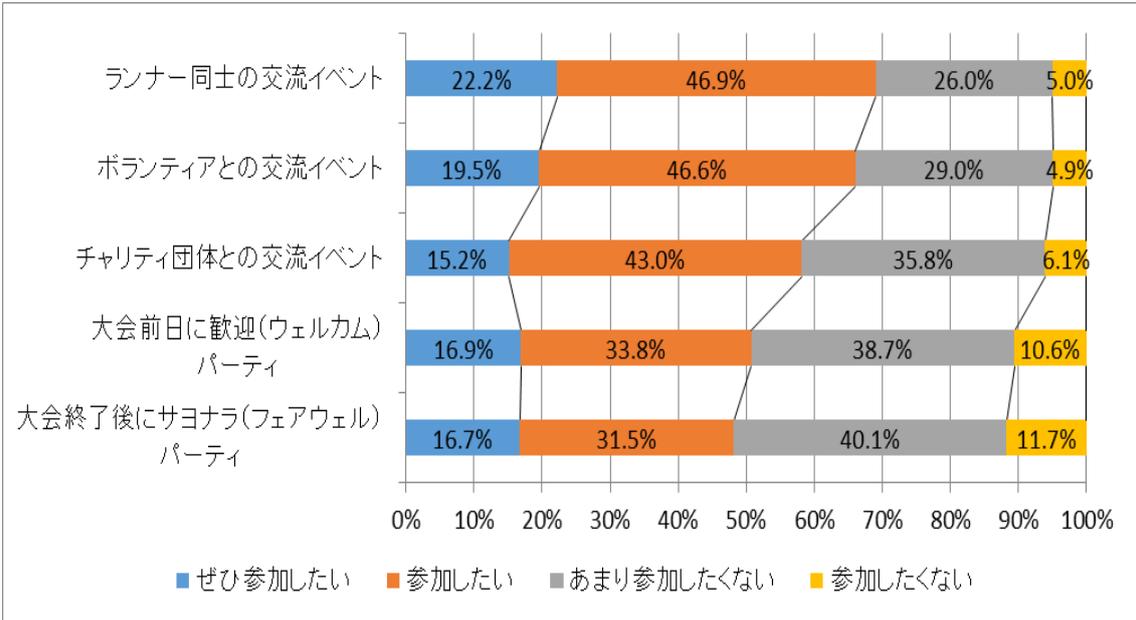
大阪スポーツ応援ランナーについて、「知らなかった」が50.4%と半数を占め、周知が不足していたといえる。また、「良いと思った」が19.6%、「まあまあ良いと思った」が20.3%と、知っていた人の中で8割が評価しているといえる。

■「大阪スポーツ応援ランナー」の仕組みをより良いものにしていくために、どのような工夫があればよいとおもいますか？



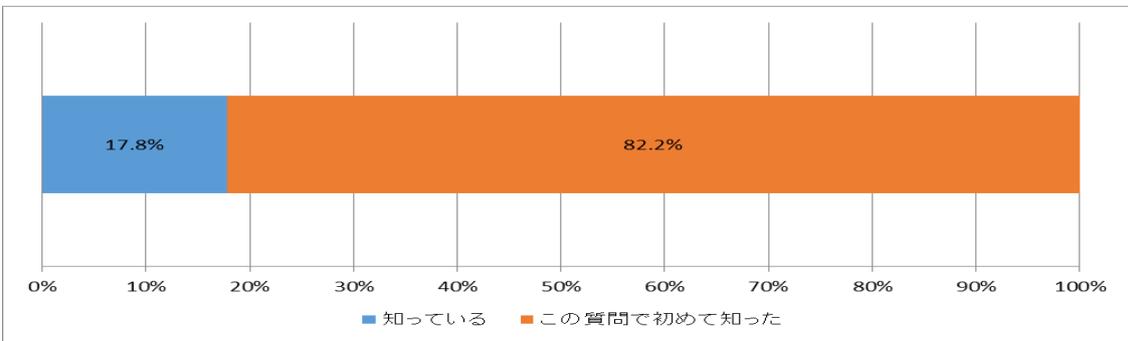
仕組みの改善について、「寄付者はマラソン当落発表後でも応募できる」が59.8%と、身内に出走権を進呈するよりも、落選者の救済措置として活用したいと考えている人が多いといえる。

■ 次のようなイベントがあれば参加したいですか？



大会のイベントについて、「ぜひ参加したい」と「参加したい」を合計した割合でみると、「ランナー同士の交流イベント」が 69.1%、「ボランティアとの交流イベント」が 66.1%、「チャリティ団体との交流」が 58.2%と、人と人との交流を求めているといえる。

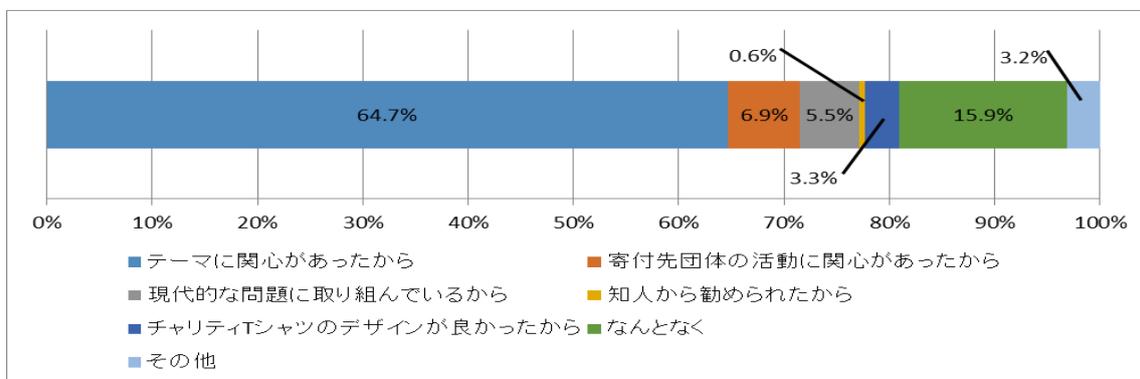
■ 現在、コース変更が検討されていることをご存知ですか？



コース変更が検討されていることについて、「知っている」が 17.8%、「この質問で初めて知った」が 82.2%であり、まだまだあまり認知されていないといえる。

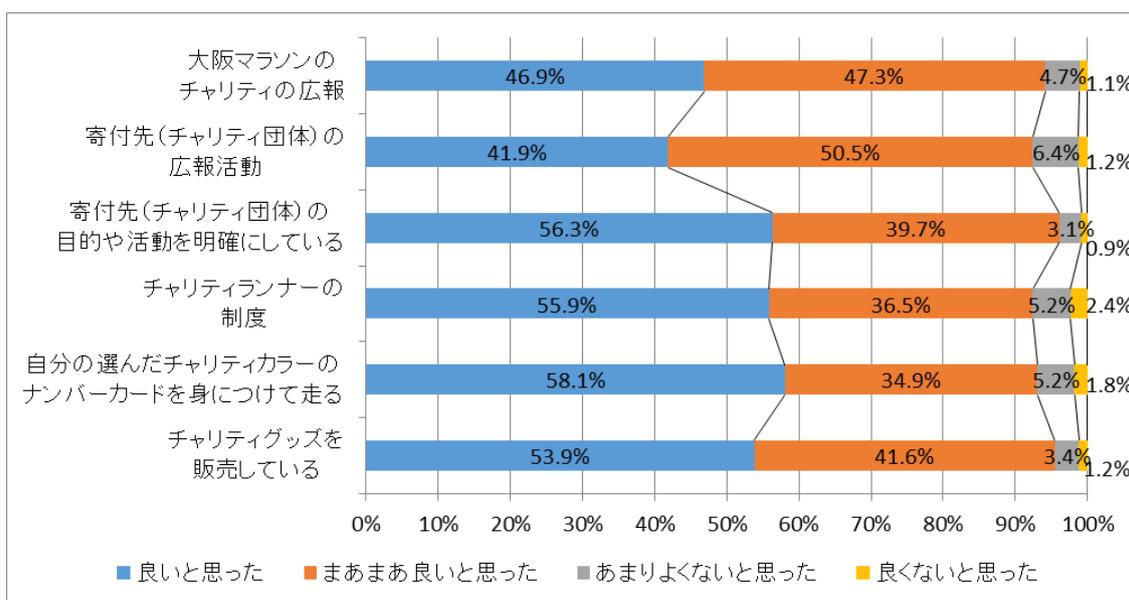
3.チャリティについて

■寄付団体を決めた一番の理由は何ですか？



寄付先団体の決定について、「テーマに関心があったから」が64.7%（昨年68.7%）と大半を占めている。ただ、「なんとなく」が15.9%（第5回10.3%、第6回13.6%）となっており、なんとなく寄付先団体を決めている人が、毎年増加していることが課題といえる。

■大阪マラソンのチャリティについてどのように思われますか？



チャリティの運営に関しては、それぞれの項目の違いを明確にするために、「良いと思った」と答えた人の割合だけで評価してみる。「自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードを身につけて走る」が58.1%（昨年62.0%）と多く、昨年同様チャリティ団体との繋がりを意識することへの評価が高い。「寄付先（チャリティ団体）の目的や活動を明確にしている」が56.3%（昨年59.7%）、「チャリティランナーの制度」が55.9%（昨年60.0%）とチャリティに関する運営側の取り組みについては評価されている。ただ、「寄付先団体の広報活動」が41.9%（第5回52.8%、第6回44.4%）と低くなっており、各寄付先団体の広報活動に工夫が必要である。

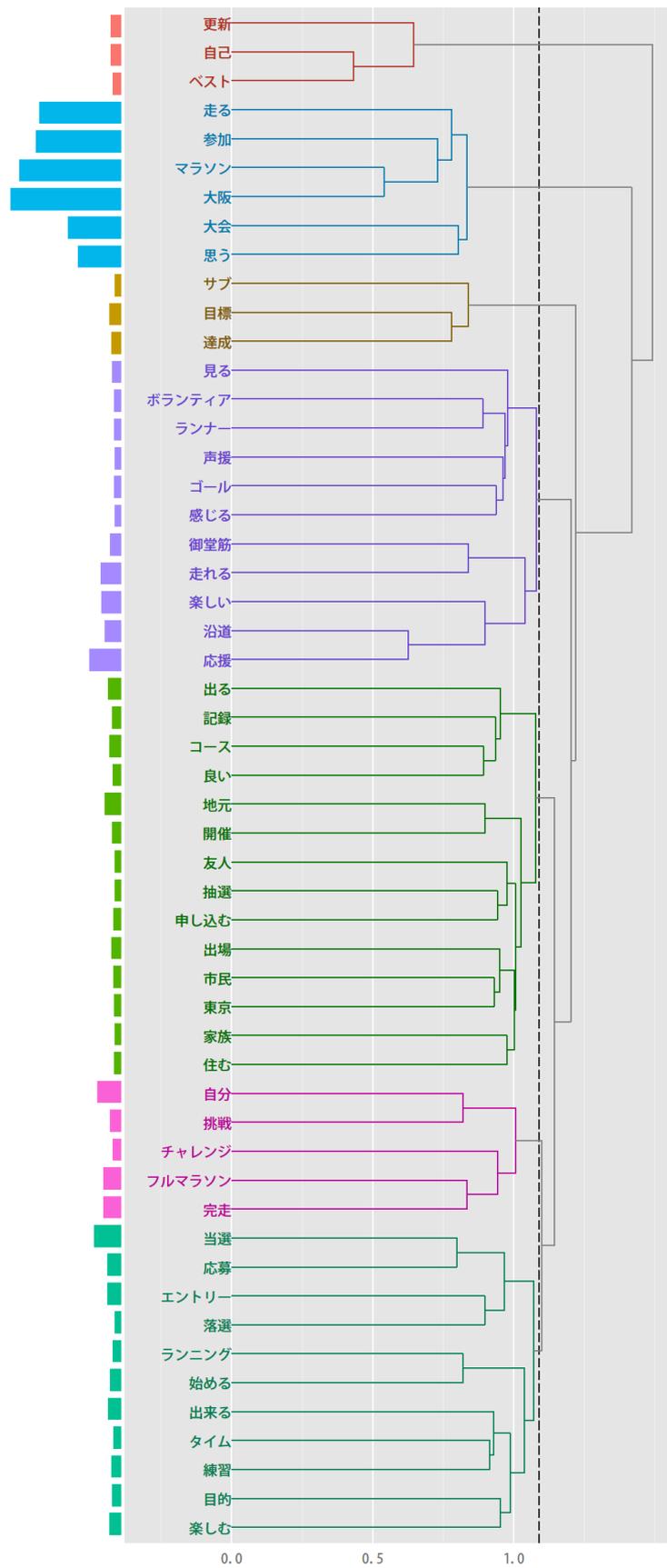
4. 一般ランナーのストーリーについて

「あなたは、何を目的として、または何がきっかけで、大阪マラソンに参加しましたか？ 差し支えの無い範囲で、個人的なエピソードをお聞かせください。あるいは、これまでに大阪マラソン参加経験のある方は、当時の印象深い思い出などがあれば、具体的にお聞かせください。」と問いかけたところ、2799名の方から回答があった。

この大阪マラソンを走るストーリーについて一般ランナーが自由記述した文章を、出現頻度の高い150語を取り出し、最小出現数を85（最大出現数は設定なし）に設定し、出現数の多い名詞・サ変名詞・地名・動詞・形容詞を対象に階層的クラスタ分析により解析した結果、7つのクラスタが抽出された。つまり、大阪マラソンの一般ランナーには、主として7つのパターンのストーリーが存在するということである。

1. 自己ベストを更新するために走る。(自己、ベスト、更新)
2. 大阪で開催されるマラソン大会なので走りたい。(大阪、マラソン、参加、走る、大会、思う)
3. 目標タイムを達成するために走る。(目標、達成、サブ)
4. 御堂筋を走れるし、沿道の応援が楽しく、ゴールできたのは見てくれている人の声援とボランティアのおかげだと感じる。(沿道、応援、楽しい：御堂筋、走れる：ゴール、感じる、声援：ボランティア、ランナー：見る)
5. 記録の出る良いコースであるし、家族の住む地元の開催であるし、友人と申し込んで当選したので走る。(コース、良い、記録、出る：地元、開催：申し込む、抽選、友人：市民、東京、出場：家族、住む)
6. 自分への挑戦のために走る。(フルマラソン、完走、チャレンジ：自分、挑戦)
7. ランニングから始め、練習してタイムが出るようになり、マラソンを楽しむことができるようになったので走る。(応募、当選、：エントリー、落選：ランニング、始める：タイム、練習、出来る：目的、楽しむ)

※右ページの樹形図（デンドログラム）は階層的クラスタ分析の過程をあらわす。自由記述の中で頻度の高い単語を抽出し、単語ごとに関連性の高い順番に階層的にまとまり（クラスタ）をつけたものである。今回は図の点線部分でクラスタ数を決定したため、7つのクラスタが抽出された。



一般ランナーストーリー（大阪マラソンを走る理由） 抜粋

年代	性別	ストーリー
40	男性	第1回大阪マラソンで友人の応援をしたことをきっかけに走り始めたので、いつか出たいと思っていたので。
40	男性	3年前にドクターストップされる程の腰痛を抱えながら参加して、不本意な成績でした。ためらいがあった3年間でしたが、大阪マラソンが苦しい思い出のままは辛いので、楽しい思い出に上書き保存すべく参加表明しました。
30	男性	子どもたちにとーちゃんの頑張っている背中を見せることで、これから子どもたちに起こるであろう困難に立ち向かう勇気の一つにするためです。
50	男性	親戚（義理の姉、姪っ子家族）が大阪在住。実兄墓参りもかねて大阪マラソンに参加。こういった機会・きっかけがないと親戚との交流ができなかった。今年の初めに、胃がんを宣告されて2月末に胃の全摘手術。応援してくれた親戚に、経過報告とフルマラソンを完走するまで元気な姿を見せたかった。
70	男性	70歳台に入り、どこまで走れるか試してみたい。また応援する家族とのコミュニケーションをさらに深めるための良い機会となるため。
30	女性	私は運動が嫌いで、今まで1キロ走るのもやっとでした。沿道応援をされていて、走りたくなり思い切って応募！8.8キロでフルよりははるかに短距離だけど、完走できたら自分が変わるような気がして応募しました。今度はフルに挑戦したいです。
30	男性	家族ができ守るものが増えてきたので、苦手なマラソンを走ることによって自分自身が強く優しくなりたかった。練習通じて努力し続けることの大切さを伝えたかった。
50	男性	48歳の時に運動不足とたばこを吸っていたことで、肺炎にて入院。その事がきっかけでたばこをやめて、ジム通いをして走った後の爽快感と体の軽さに快感を覚えました。その後色々なマラソン大会へ参加したり、会社のランナーズクラブへ入会して真剣に練習を行い、前年の記録を更新する目標を立てて頑張ろうと思い、今回も大阪マラソンは2013年以来のレースでした。今回は日々の練習のおかげで前回より1分以上の記録更新が出来ました。

50	男性	現在は出身地の京都市で暮らしていますが、大学生・社会人と 25 年以上大阪で暮らしていましたので、大阪は第二の故郷です。特にスタート地点の大阪城公園は 20 年以上、週に 2～3 回走っていました。大阪に親しみを持っているのに大阪マラソンに出ない訳にはいかないでしょう。
30	男性	今回で 3 回目の参加になりましたが、当初はただ単純に都市型マラソンに参加するという軽い気持ちでしたが、今回は 8 月に第一子が生まれたこともあり、いろんな意味で大阪に感謝感激という気持ちで走らせていただきました。そのかいもあって自己ベストでサブ 4 を達成することができました。今回は子供が小さいということもあって自分一人での参加でしたが、来年以降も参加できるなら家族全員で大阪に伺いたいと思います。
50	男性	10 代の頃からジョギングをダラダラしていて、40 歳から 49 歳まで毎週登山をしていたが、フルマラソンに挑戦していないことに気づき、49 歳の 3 月に本格的にランニングをし始めて、昨年初めてのフルマラソンが大阪マラソンだった。以来ほぼ毎月マラソン大会に参加している。
40	女性	15 年ほど前には夢中で走っていた。大阪国際女子マラソンにも出場。出産後は障害をもつ子供の育児に追われ、やっと自分の時間が持てるようになった。子供たちが陸上に取り組むようになり、私ももう一度走ってみたくなった。最初は 4 時間半からの復活。途中癌が見つかり、手術。でもやっぱり走りたかった。今回は気持ちよく 4 時間をやっと切って走れました。もう一度、御堂筋も走れて幸せだった。また、楽しく走りたい。将来は、障害のある息子も含めて家族みんなでフルマラソンを走るのが目標です。
50	女性	1 回目の大会に参加、家族が 1 回目の追っかけでとても楽しむことが出来、また来たいと哀願され応募していたが 7 回目でやっと当選。今年もファミリーで大阪を満喫し、55 歳で必死に走っている娘の姿を見て母も大満足で楽しむことが出来た。走っている途中で携帯に電話をしてきて、「今どこ？まだなの？」と 23km 地点で電話をしてきた母には笑えた。「私は今まだ 18km を必死に走ってるよ」と。 通天閣近くの民泊で格安で泊まれたこと、串揚げ、お好み焼き、帰りの新幹線では 9 種類のお弁当を買って、大阪の味を堪能したことなど良い思い出になった。

50	男性	48 歳から健康のためにランニングを始めたのですが、会社の同僚からの誘いで昨年初めて大阪マラソンを走りました。50 歳を超えて初のマラソンでしたが、とにかく大阪マラソンは沿道の方からの声援が多く、本当に勇気付けられ、無事に完走することができました。昨年は 5 月にヘソ下を 12 センチ切る開腹手術をした為、思うように練習ができませんでしたが、それでも沿道の皆さんからの声援のお陰で 4 時間 19 分というタイムを出せました。自身にとって 2 回目となる今年の大阪マラソンの目標を何が何でもサブ 4 達成と決めて今年は走りましたが、今年もたくさんのご声援のお陰で目標を達成することができました。
50	男性	4 年前に子供達が受験で、父として努力すれば目標を達成できることを示したくて、マラソンにチャレンジしました。そのときの達成感と応援に感動し、新しい目標として 50 歳までに 10 回完走を目標にしました。今回、記念の 10 回目のマラソンだったので、是非、故郷の大阪で達成したいと思っていました。今回、その願いが叶い、家族にも応援してもらって、思い出深い大会になりました。
50	女性	50 歳を過ぎて、体力の衰えにおびえ、マラソンを始めた。練習していくうちに、ありえないフルマラソン完走が目標になり、参加して、完走できた。ただの主婦、ただのお母さんただだけの自分が、フルマラソン走れる人になり、それが自分の自信と誇りになった。この歳で、新しい出会いがあるとはおもってなかったのに、ラン友が増え、世界がひろがった。介護などでしんどいときも、フルマラソンを走れるんだからという自信で、乗り越えることができた。
50	男性	5 年前、大阪マラソンの盛り上げ隊に子供のソーランチームが参加することになりました。その時初めて大阪マラソンのテレビ中継を見ました。沿道での市民の応援、完走したランナーの充実した顔、スタッフを含めたたくさんの人が関わって大会を盛り上げようとする姿に感動を覚え、自分も一度この舞台上で走って見たいと思いました。ランニングを始めるきっかけになりました。
50	男性	7 年前に病気で身体障害者となり、健康維持、リハビリを目的にウォーキングから始めました。去年には大阪ハーフマラソンを 1 時間 43 分で完走出来るまでになり、今回大阪マラソンに参加する事になりました。6 月に足を痛め整形外科、接骨院、クロストレーニングをするも完治する事は出来ず DNS（欠場）も考えていましたが、先生方が親身に相談を聞いてくれたり、ジム仲間、会社のランニング仲間に励まされ参加を決意しました。結果としては大幅に目標タ

		イムには届く事は無理でしたが、初マラソンを完走し大変有意義に過ごすが出来ました。
50	男性	イエローチームで参加しました。家族を支えるということで、母の難病のパーキンソン病が少しでも良くなって欲しい気持ちで今大会に参加しました。
30	男性	うつ病になって4年で、今までは病気で自分は何もやる気がおきない、頑張れないと思っていて、今年に入って自分がやる気がおきない、頑張れないのは気持ちの持ち方の部分だと思い、やろうと思えば、何でもできることを自分自身で感じたくて参加しました。後、自分が完走することで、今まで迷惑をかけて、ずっと自分を支えてくれた家族、両親に自分の頑張っている姿を見てもらい、感謝の気持ちを完走することで伝えたかったのです。
40	女性	がんを患っているおばが大阪市内に住んでいます。おばは私が走るのをいつも応援してくれていて、今回もおじが入院している天六の病院から自転車で天満橋まで来てくれて応援してくれました。私が走ることでおばが少しでも元気になってくれたらと思います、毎年参加しています。
50	男性	この年(59歳)にもなると誰から褒められることがなく、ましてや見ず知らずの方が応援してくださるなんてことは絶対ありません。大阪マラソンは、沿道の方がゴールまで途切れずがんばれと言ってくださいます。それがとても感動的で心地よいので参加しました。
40	女性	ずっと家事育児に専念してきて、そろそろ自分のために何かしたい、と思ったのがきっかけです。苦手なことから逃げて楽なほうへ流れる子どもに、運動が苦手な自分が挑戦するところをみて何か感じてもらえたらいいなとも思って挑戦してみることにしました。私自身は自分の能力(走る)に落ち込んだり、時には喜んだりしながら目標を持って毎日を過ごすようになり、なんとなくそれだけで明るい気持ちになっていきました。それで子どもが変わったかといえ、よくわかりませんが、少なくとも私の挑戦を応援してくれています。
20	女性	ボランティアで参加してから大阪マラソンの活気ある盛り上がりや街一丸となってランナーをもてなすホスピタリティと大阪ならではの笑いが絶えないという、大会の魅力に惹かれて以来、初フルマラソン&完走は大阪マラソンでというのが私のかねてからの夢でありました。落選の年はボランティアとして大会に参加していたの

		で、今回夢の舞台に立たせていただきました、沢山の方々に支えられ無事目標を達成することができ大変嬉しく思っています。この経験と街の方々、ランナーの方々から頂いた言葉に出来ない数々の優しさを胸にこれからも大阪マラソンと一緒に盛り上げて行きたいと思いました。幸せな 42.195 キロをありがとう。
50	男性	宮城県から元気な走りを見せたかった。東日本大震災以降、とにかく前を向いて進みたくてフルマラソンに再び挑戦しようと決めてから走り続けてきた。今回この大会を支えるすべての人に感謝し沿道の声援に感謝し今を走り切ろうと決めた。タイムは5時間超と決して速くなかったが、ゴミを拾ったり沿道の声援に答えてハイタッチしたり、おじいちゃんおばあちゃんや小さい子どものところにも行って手を握ったり、エイドに寄る度冗談を言ってみんなで笑ったり、たくさんの方と触れ合い最後まで走り切ることが出来た。しんどかったけど今年最高の走りが出来て幸せな 42.195km でした。まいどエイドの手作りのオレンジピール凄く美味しかったです。
30	男性	現在、31歳。妻、子供が1歳、3歳になる女の子が2人います。2人目の娘が生まれる事をきっかけに、心機一転、以前から夢だった不動産会社を立ち上げました。30歳で不動産会社を独立開業し、小さな会社ですが日々一生懸命に過ごしています。家族の為、自分自信を成長させる為に、新しいチャレンジしたくて、マラソンに応募しました。今回、完走出来た事にとっても感動しました。今回のマラソンで、諦めない気持ちを学びました。夢や目標は信じれば必ず達成出来ると思います。タイムはギリギリですが、来年はもっと練習して5時間台で走りたいと思っています。また、チャレンジしたいです。
50	女性	今年は、難病と闘っている幼なじみと会う為と私が、走る事で少しでも元気になって貰いたくて参加させて貰いました。大会、直前に友達の体調が悪く会う事は、出来ませんでした。ランナーズアイ等で私の情報を見ていてくれました。別の友達も応援に来てくれて、楽しかったと言ってくれて、私も嬉しく、ありがたい気持ちで一杯です。
50	男性	子供や妻に、大きな大会にチャレンジ・走っている姿を見てもらいたい。また一緒に参加して、ドキドキ・ワクワク・笑い・厳しさ・喜び・達成感等、様々な感情と一緒に共有したい大会だからです。他にはないユーモア溢れる応援は、心を和ませる。たとえば、「今日はアンタらを応援する為に来てんねんでえ～」と叫ぶおばちゃ

		ん。「オオ！」30キロも過ぎていないのに、「もうちょっとココからラストスパートやあ〜」と励ますおっちゃん。「なんでやねん」思わぬ応援や声援に、答えたりつつこんだり。運営・参加者・応援が、一体となっている素晴らしいチャリティ大会だと思います。
60	男性	市民マラソンを年1回の家族集合の会にしている。前日は少し張り込んで全員で食事をし、当日は妻と家族が応援を兼ねて大阪観光をする。終わって帰る時大きな荷物を持って歩くのに駅まで距離があったので疲れた。帰りもゆっくり食事と思っていたが、帰りの時間が案外かかり弁当になった。総じて家族団らんもでき楽しかった。
30	女性	受験勉強を頑張る息子と、故郷である大分、熊本、東北の復興を願って走りました。沿道の応援メッセージに何度も励まされました。吹田からの参加でしたが「大阪に走りに来てくれてありがとう」にほっこりあたたかい気持ちになりました。大阪がとても好きになりました。
30	女性	初マラソンがホノルルマラソンでそれ以来、毎年フルマラソンに参加しています。初めてマラソンを完走してから世界観が変わり、性格も明るくなったように思えます。人見知りでなかなか話せないことも多かったのが、いろんな人と話すようになり、いろんなことに挑戦したいと思えるようになったと思います。きっと自分に自信を持てるようになったからだと私は思っています。毎年自分のために、自分にさらに自信を持てるように挑戦し続けています。
40	女性	息子が保育園の時にママ友の誘いで走り始め年間5回はフルを走りその度に主人と息子は同行してくれました。息子は小5になり1年後の中学受験に向けて勉強を頑張っています。しんどいと弱音を吐いた私に「今迄普通にできていたのにできないって自分に甘えているだけ」と息子。その言葉に背中を押され参加。今回当日息子は塾で応援に来れませんでした。ランナーズアイに「塾の間に一生懸命練習していたね。挫折しそうになった時も一緒に乗り越えた。頑張って走れ」と。タイムは前回より遅く期待には応えられませんでした。支えてくれる家族に感謝の気持ちでいっぱいです。自分が一生懸命走ることで、頑張っている息子に諦めない姿を届けたいです。
60	男性	単身赴任中に62歳の時、大阪マラソンがスタートしたので腕試ししてみようというのがきっかけ。御堂筋を走れるなんてあり得へんし、高齢で始めたランニングがどこまで通用するかを確かめるのが

		目的。初回は抽選漏れのためフィニッシュタオル補充係を経験。皆さん充実した表情でゴールインしてくるので、スタートからどんなドラマがあるのかをますます体験したくなった。この大会ほど沿道で集団応援を受けることや、一般の若い人たちが応援してくれる大会はない。
40	男性	病気やケガで治療中の知人を勇気づけようと思いエントリーしました。主に運動不足で起こる病気は克服できると言ってきたので誰でもフルマラソンは参加できると話していました。今回は親の介護もあり満足に練習できず、5ヵ月間全く走ってなく(言い訳ですが)今までの経験で「戦略(走法や気の持ち方)だけでも完走できる」と周りの人たちに運動することが「案外簡単ですよ。」とススメてみようと思います。
40	男性	普段、車や通っている道を走ってみたい！子供にがんばっている姿を大会までの練習からゴールまでをみてもらうことで楽しさ等を感じてもらいたいと思い、申込みをしました。今回のゴール後に子供が大会前とは違い、「一緒に今度走りたい！」と言ってくれたので少し伝えることが出来たかな？と思います。マラソン大会は早朝からなので遠い大会では家族はなかなか応援にも行けないので地元の大阪マラソンなら応援に来てもらえるので私の気持ちも違ったように思います。当選は7回目ではじめてでした。来年もぜひ参加したいと思います。よろしくお願いします。
50	女性	友人ががんになって、闘病生活を送っていたので彼女のために初めてエントリーしたのが2012年の大阪マラソンでした。彼女はその後なくなりましたが、健康で私の分まで生きて、という言葉が胸に、以来短い距離でも健康のためにマラソンを続けています。

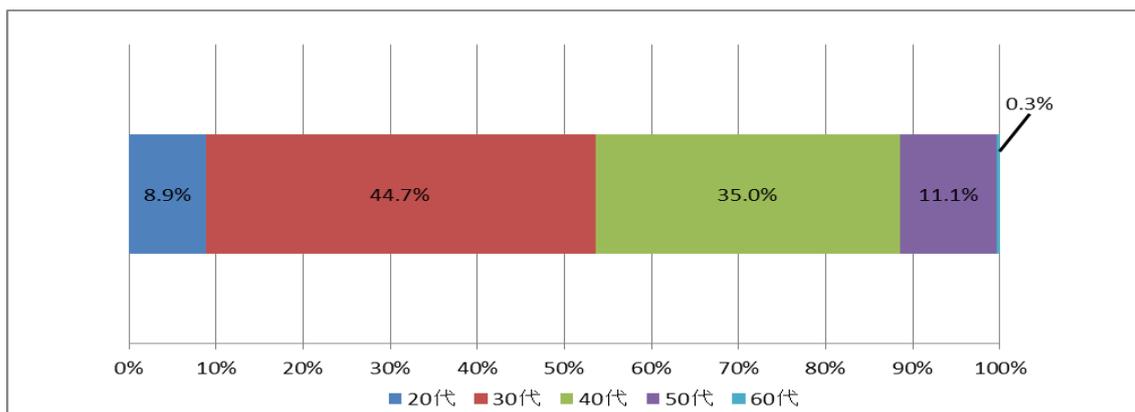
Ⅱ．海外ランナー

II. 海外ランナー意識調査

回答者数：900

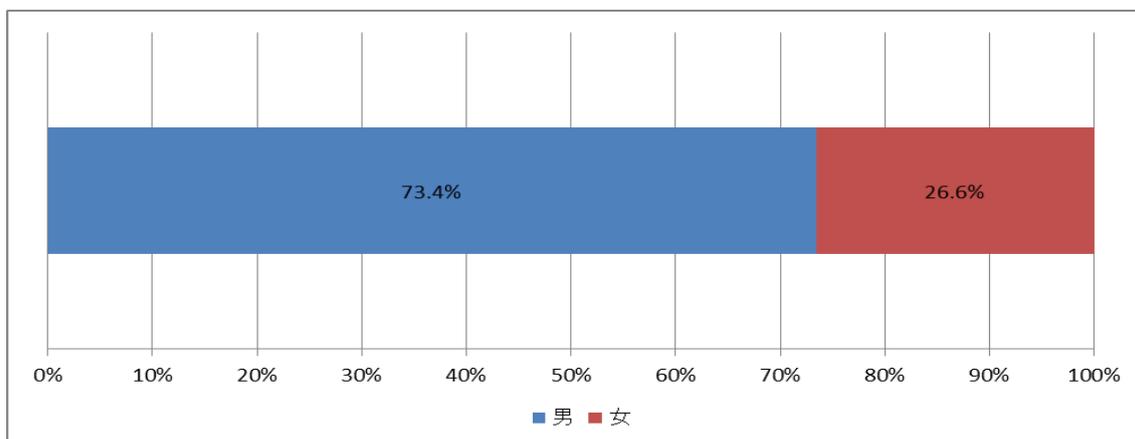
1. あなた自身について

■年齢（年代）



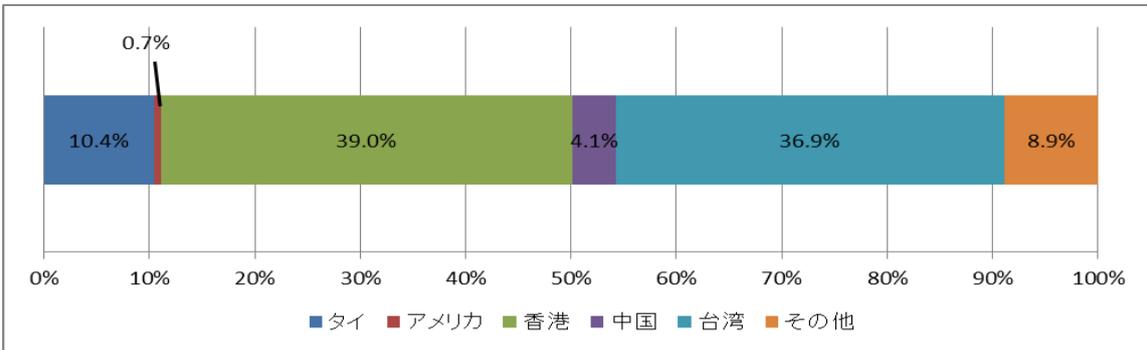
回答者の年代については、30歳代が44.7%（昨年44.4%）と最も多く、次に40歳代が35.0%（昨年35.3%）で、50歳代が11.1%（昨年8.3%）と、昨年と比較すると大きな変化は見られず、母集団と対応しており、調査は信頼性があるといえる。

■性別



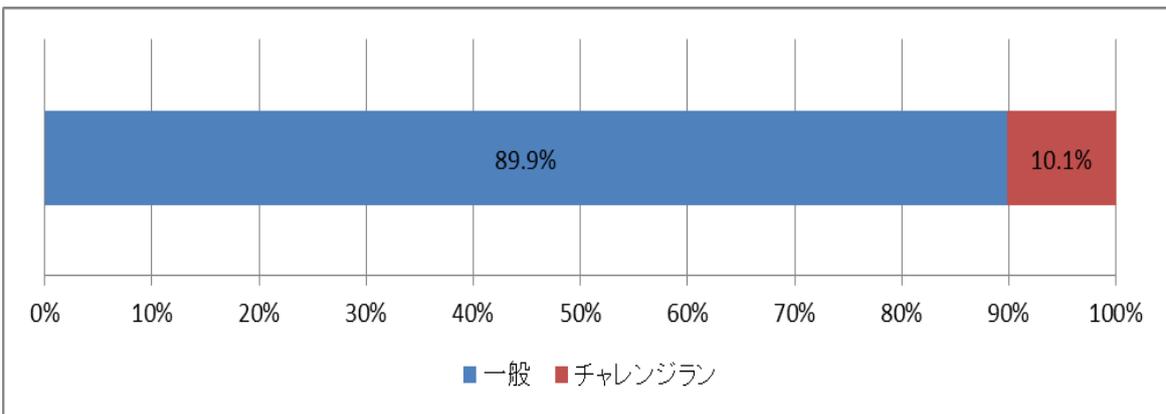
回答者の性別では、男性が73.4%（昨年72.6%）、女性は26.6%（昨年27.4%）で大きな変化はなく、母集団と対応しており、調査は信頼性があるといえる。

■ 在住国



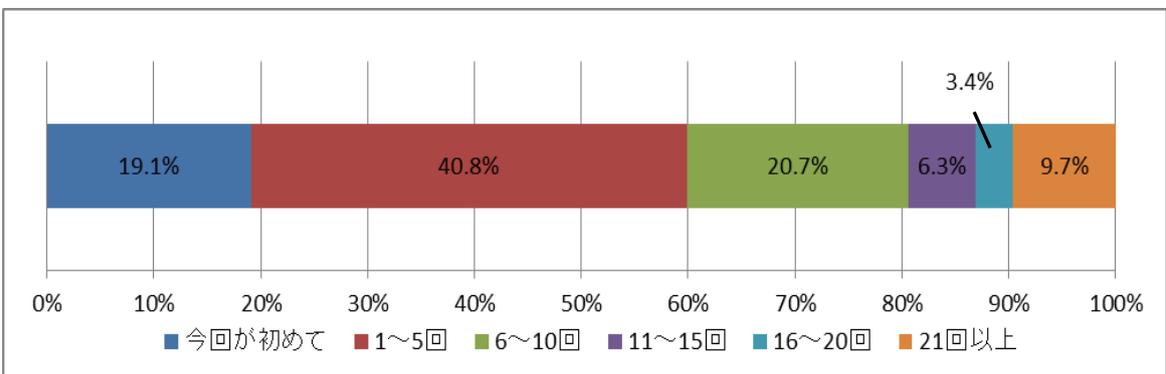
在住国については、香港が 39.0%（昨年 32.2%）と最も多く、次いで台湾が 36.9%（昨年と 28.7%）、タイが 10.4%（昨年 18.6%）と回答者はタイが減少した。

■ 参加種目



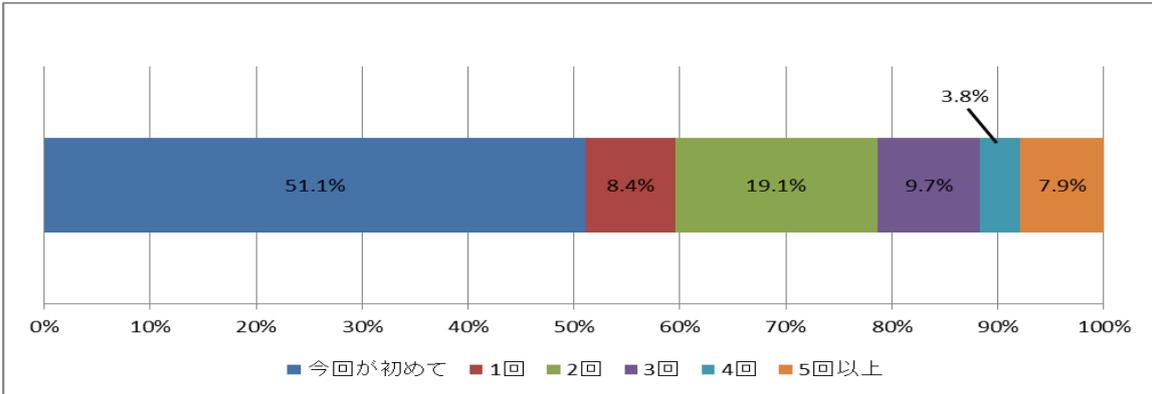
フルマラソン（42.195km）は 89.9%（昨年 86.7%）で、チャレンジランは 10.1%（昨年 11.7%）となっており、昨年と比べ大きな変化は見られなかった。

■ これまでの海外での市民マラソン参加経験



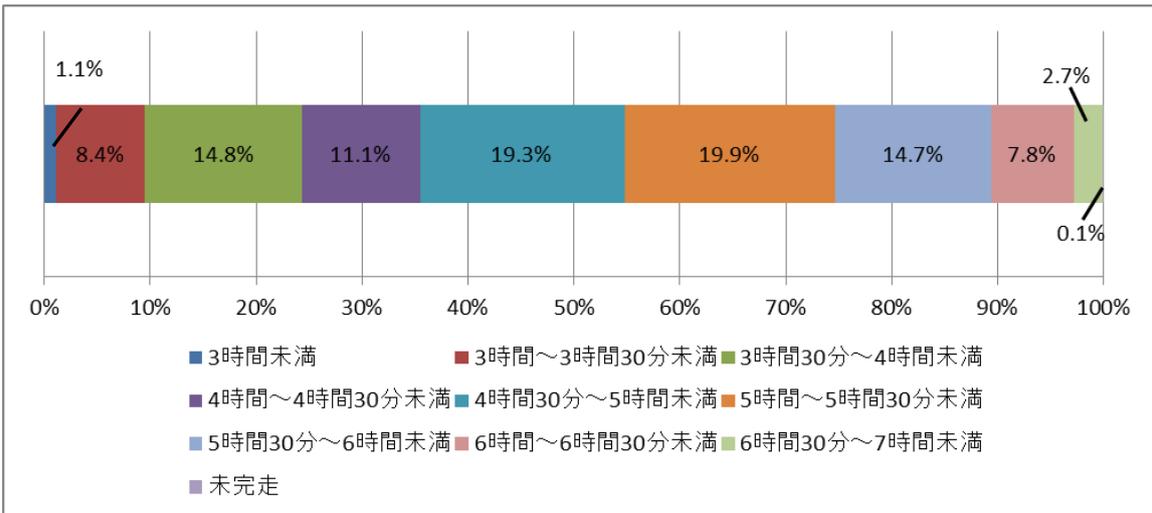
参加経験は、今回が初めてという参加者は 19.1%（昨年 25.4%）で、続いて 1~5 回経験のある参加者が 40.8%（昨年 38.0%）であり、昨年と比べ大きな変化は見られなかった。

■これまでの日本でのマラソン経験



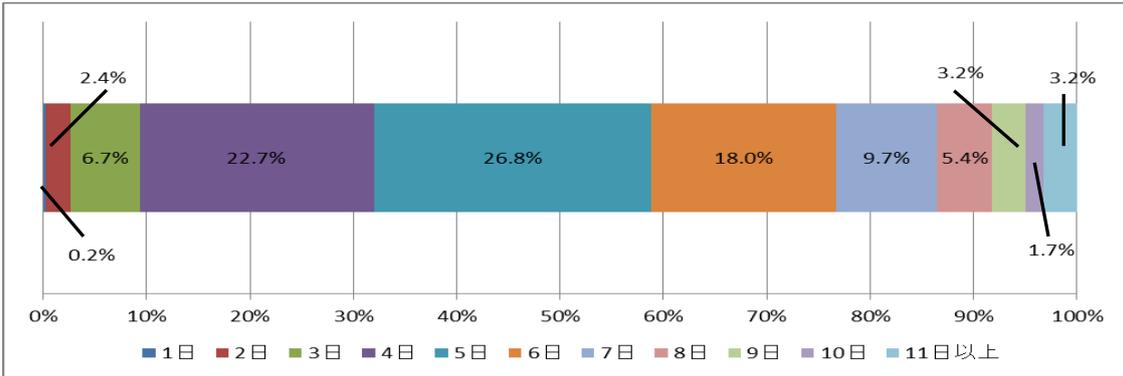
日本での市民マラソンの経験は、大阪マラソンが初めての参加と答えた人が 51.1%（昨年 61.9%）と昨年と比較すると約 10%減少しているが、半数以上を占めている。

■今回のフルマラソンのタイム



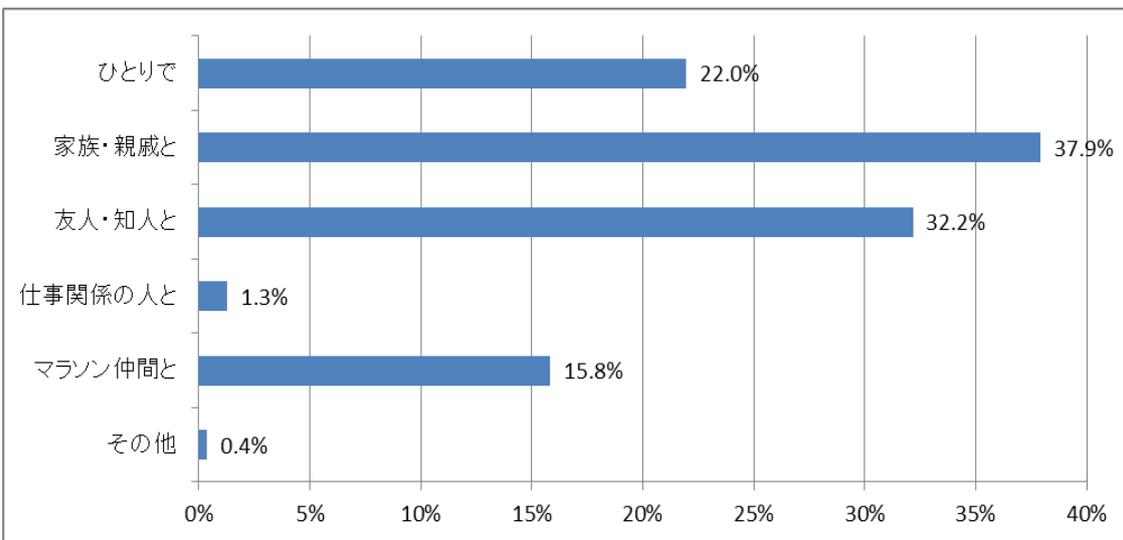
フルマラソンのタイムについては、3 時間未満が 1.1%（昨年 0.4%）、3 時間～3 時間 30 分未満が 8.4%（昨年 5.6%）、4 時間～5 時間 30 分未満は 19.9%（昨年 17.6%）と増加している。未完走者は 0.1%（昨年 2.5%）減少しているので、全体的に完走タイムが短くなっていることが分かる。

■今回大阪には何日滞在しましたか？



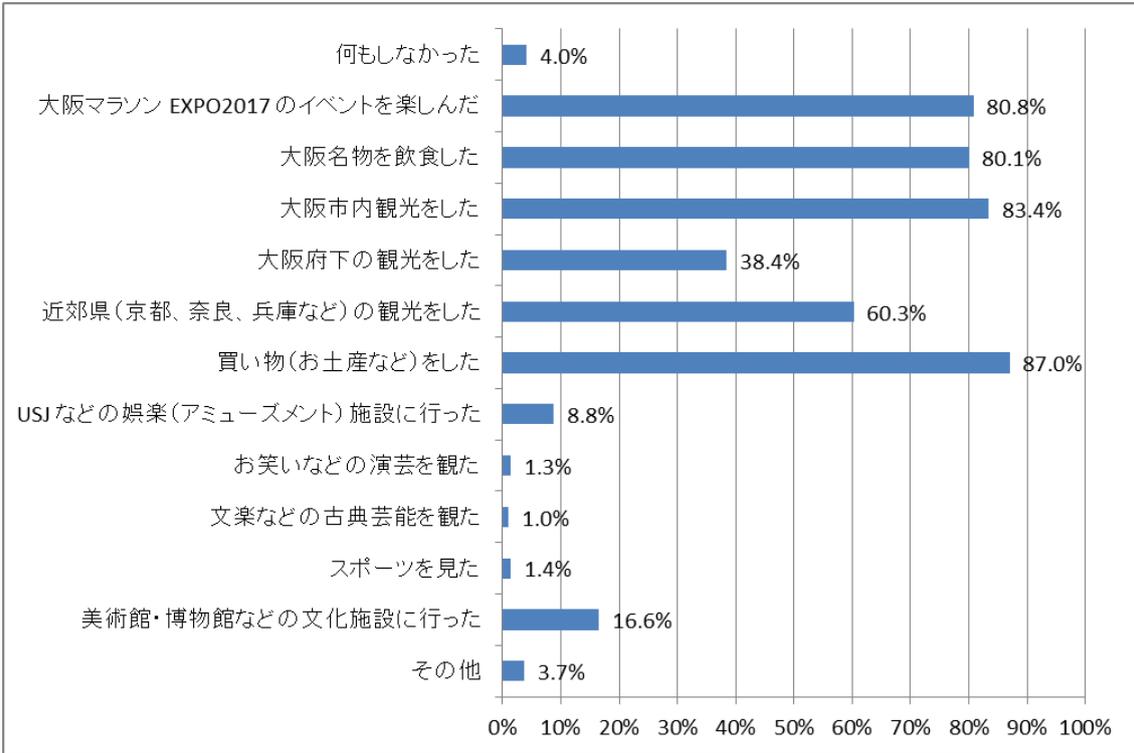
大阪滞在日数について、5日が26.8%で最も多く、次いで4日が22.7%、6日が18.0%となっており、ある一定の滞在型イベントとなっている。

■大会には誰と来られましたか？



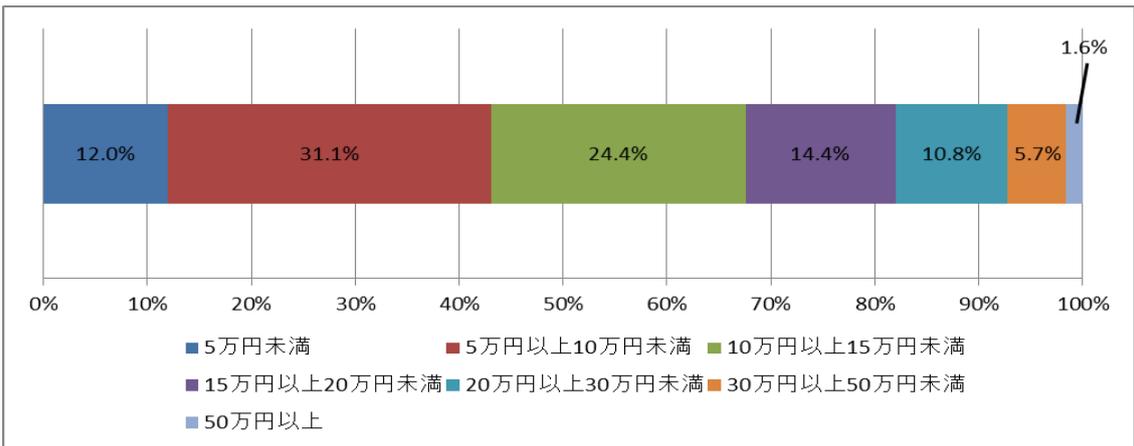
大会への同伴について、「ひとりで」が22.0%（日本59.4%）と日本に比べて著しく少ない。一方、「家族・親戚と」が37.9%（日本24.1%）、「友人・知人」が32.2%（日本12.9%）で、海外ランナーは同伴者が多いのが特徴である。

■大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？



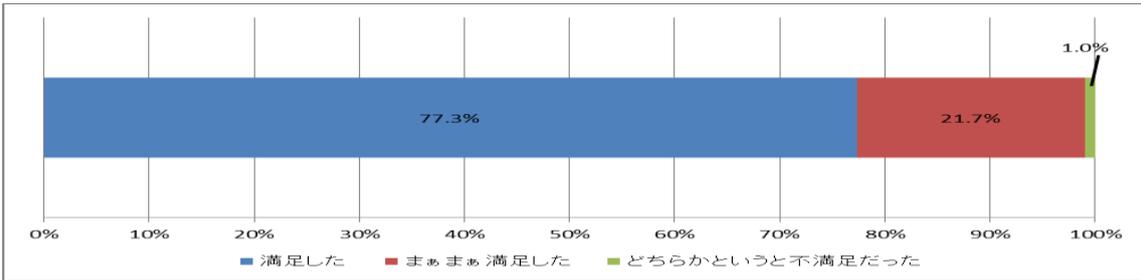
大阪マラソン以外の活動について、「何もしなかった」が4.0%（日本18.3%）と、日本人よりも少なく、「買い物」「市内観光」「飲食」が8割を超しており、海外ランナーにとって、大阪マラソンはスポーツツーリズムとして認識されているといえる。

■大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか？



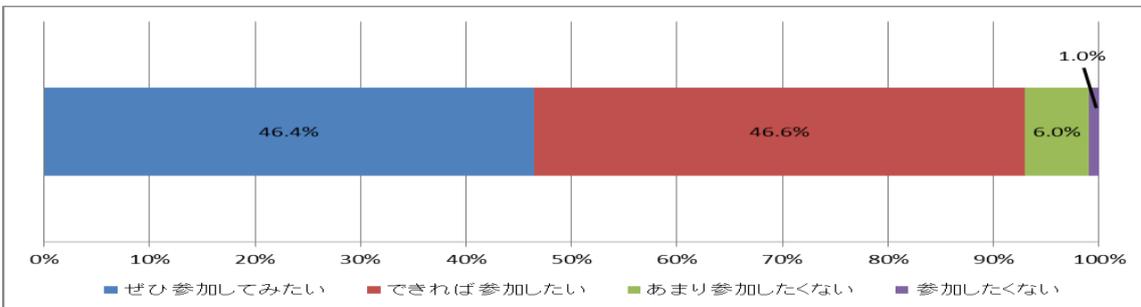
滞在中の経費について、「5万円以上10万円未満」が31.1%（昨年36.6%）、「10万円以上15万円未満」が24.4%（昨年20.4%）となっており、昨年より経済的効果は向上しているといえる。

■第7回大阪マラソンに満足しましたか？



大会の評価について、「満足した」が77.3%（日本70.0%）、「まあまあ満足した」が21.7%（日本27.1%）と、満足している人が99.0%（日本97.1%）であり、日本人に比べて大会への満足度は少し高いといえる。

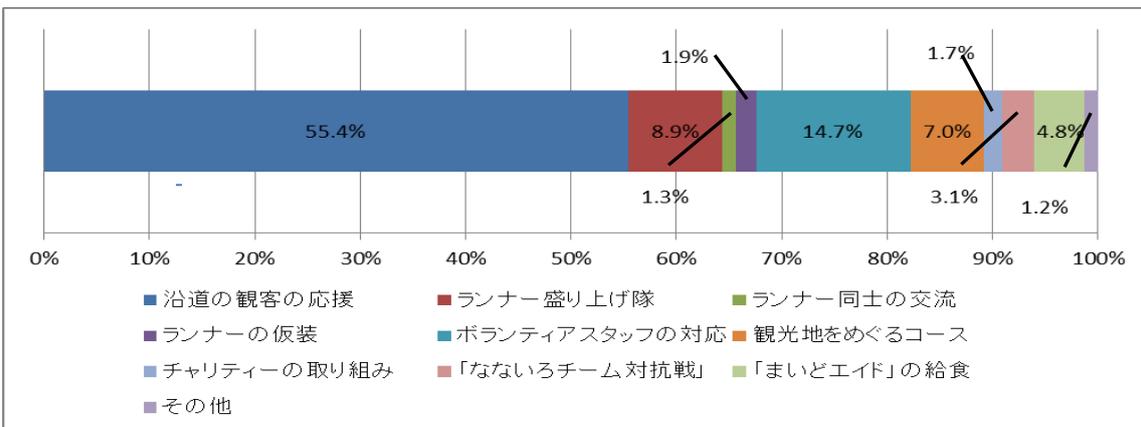
■第8回大阪マラソンに参加してみたいですか？



来年度の大会への参加について、「ぜひ参加してみたい」が46.4%（日本80.1%）、「できれば参加したい」が46.6%（日本17.2%）で、その割合は日本人とは逆転しているが、9割以上の方が参加したいと回答しており、一定のリピーターが望める。

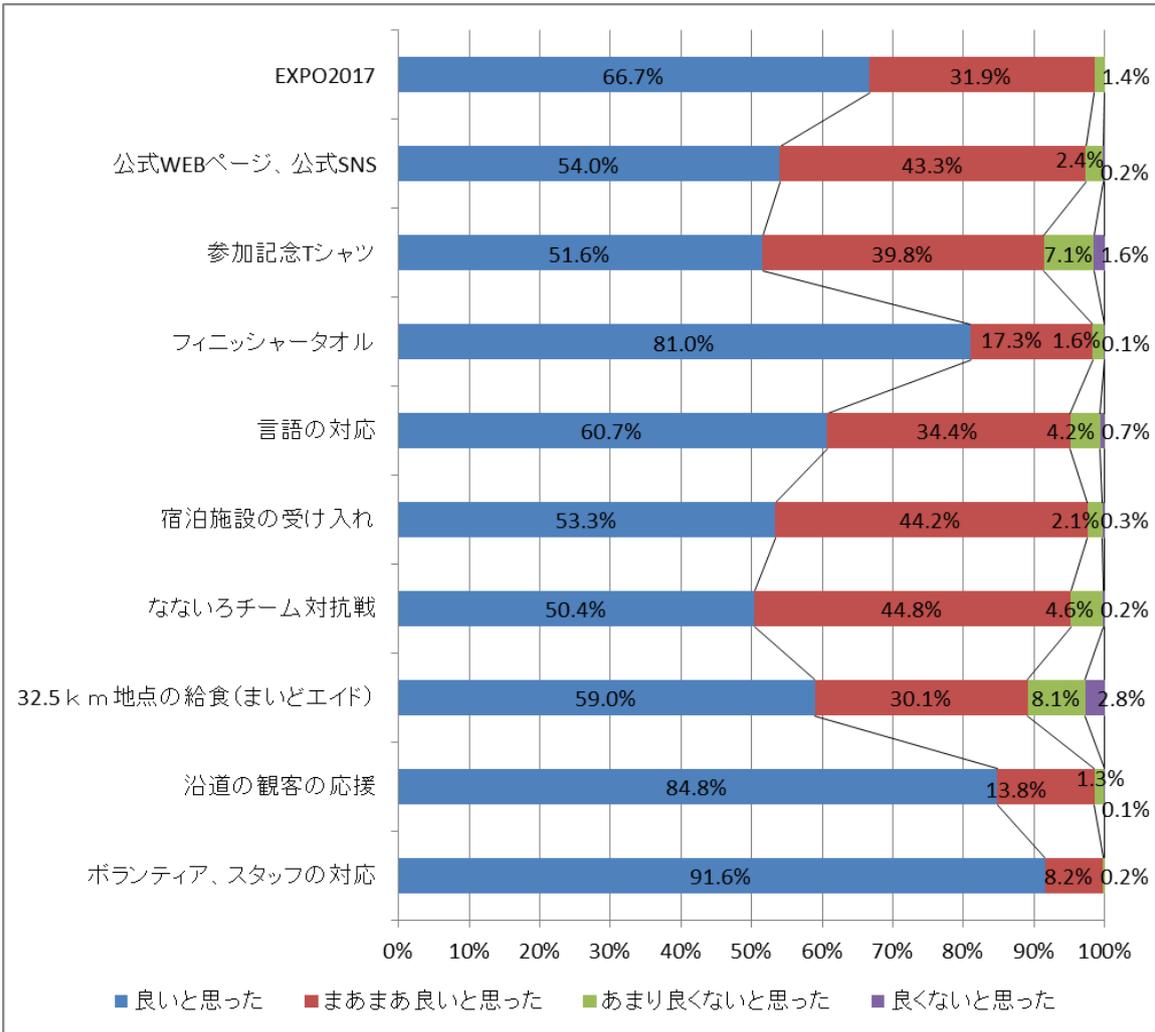
2. 大阪マラソンの運営について

■大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか？



大阪マラソンの魅力について、「沿道の観客の応援」が55.4%（昨年59.9%）と最も多く、観客の応援が大阪マラソンへの誘因になっているといえる。

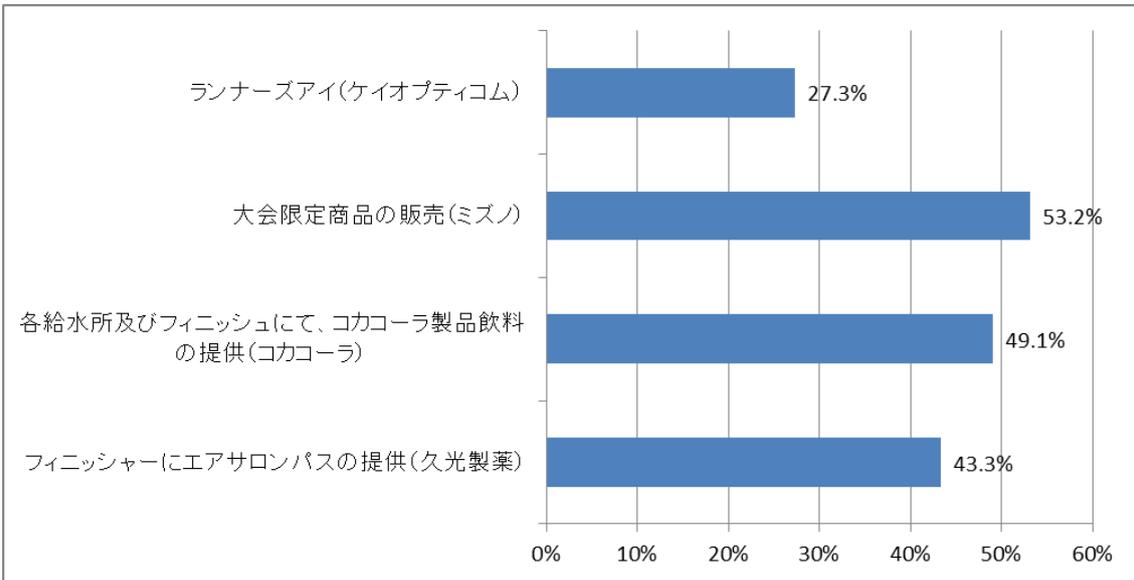
■第7回大阪マラソンの運営について、どのように思われますか？



大阪マラソンの運営について、「良いと思った」と答えた人の割合だけで評価すると、「ボランティア、スタッフの対応」が91.6%（日本91.3%）と最も高く、次いで「沿道の観客の応援」が84.8%（日本88.7%）という結果となった。日本人ランナーと同様に、ホスピタリティを高く評価している。また、特徴的には、「フィニッシャータオル」が81.0%（日本73.1%）と高い評価を受けている。

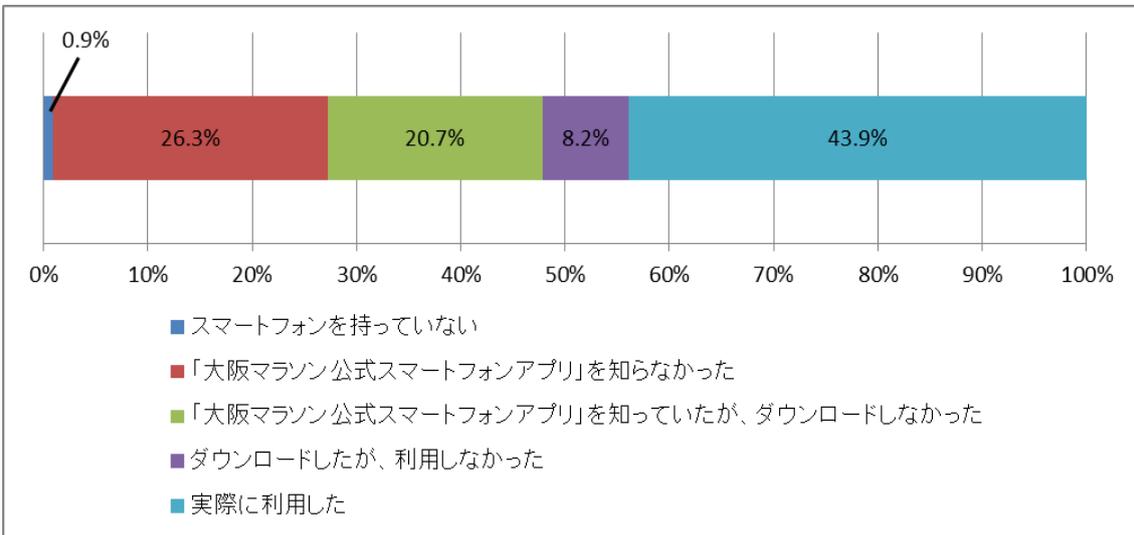
一方、「なないろチーム対抗戦」「参加記念Tシャツ」「宿泊施設の受け入れ」「公式WEBページ・SNS」については、半数程度しか良いとされておらず、大会運営面で再検討する必要がありそうである。

■大会スポンサーのサービスで良かったものを教えてください。



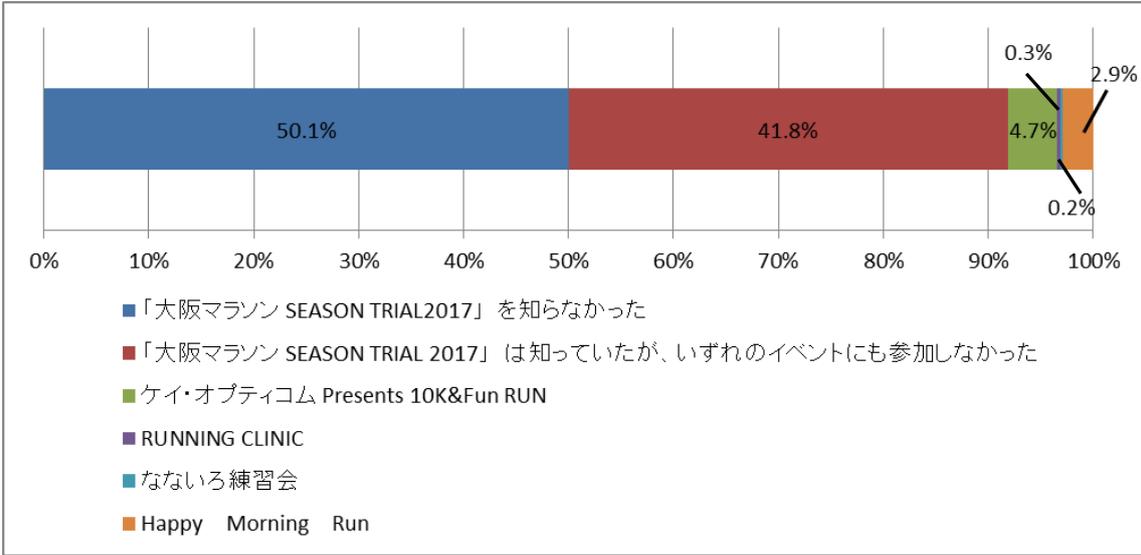
スポンサーサービスについて、「ランナーズアイ」が27.3%（日本74.4%）と、日本人に比べて評価は低いですが、「大会限定の商品の販売」が53.2%（日本19.6%）と評価が高く、記念品として商品を購入していると考えられる。

■「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を利用しましたか？



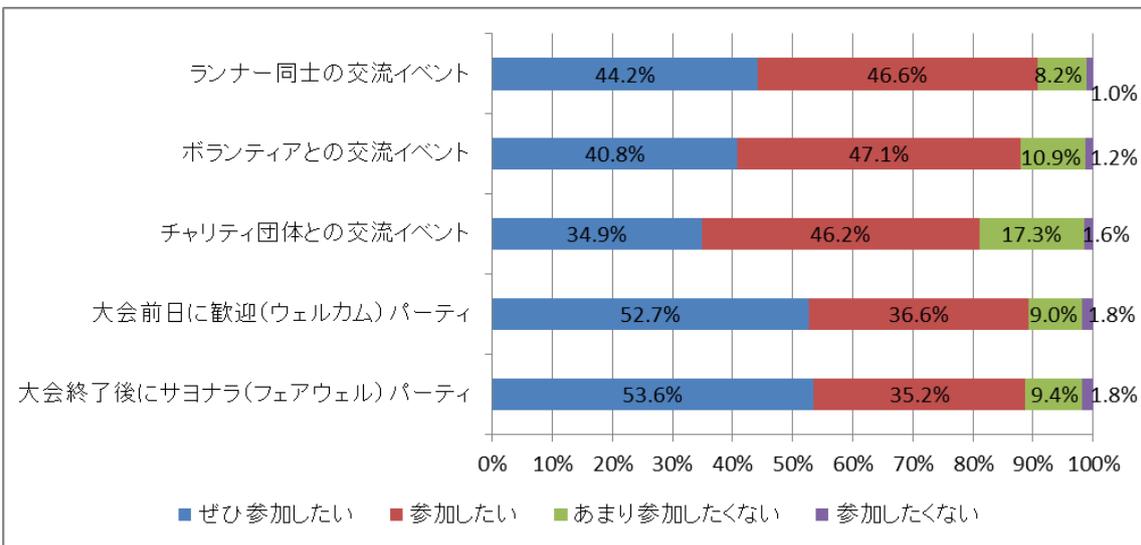
公式スマートフォンアプリの利用について、「実際に利用した」が43.9%（日本35.6%）と、日本人より利用した人が多かった。ただ、利用しなかった人は28.9%（日本26.4%）で、3割の人は必要性を感じていないといえる。また、知らなかった人が26.3%（日本31.3%）と周知の方法を工夫する必要がある。

■あなたは「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」に参加しましたか？



大阪マラソン SEASON TRIAL 2017 への参加について、「知らなかった」が 50.1%（日本 52.5%）と、日本同様、周知の方法に工夫が必要である。また、「知っていたが、いずれのイベントにも参加しなかった」が 41.8%（日本 42.6%）と、海外からの参加は難しいといえる。

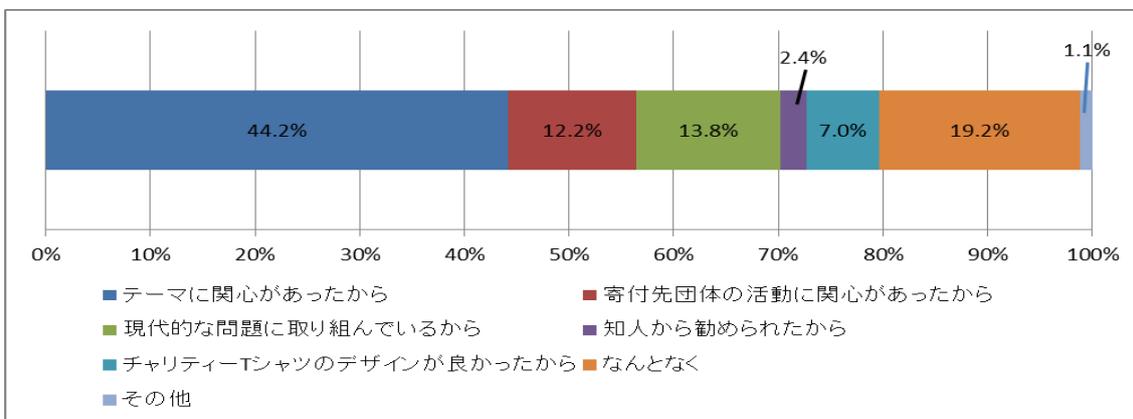
■次のようなイベントがあれば参加したいですか？



大会のイベントについては、「ぜひ参加したい」と回答した人の割合でみると、「大会前日の歓迎（ウェルカム）パーティ」が 52.7%（日本 16.9%）、「大会終了後にサヨナラ（フェアウェル）パーティ」が 53.6%（日本 16.7%）と、交流のためのパーティを希望しているところが、海外ランナーの特徴である。

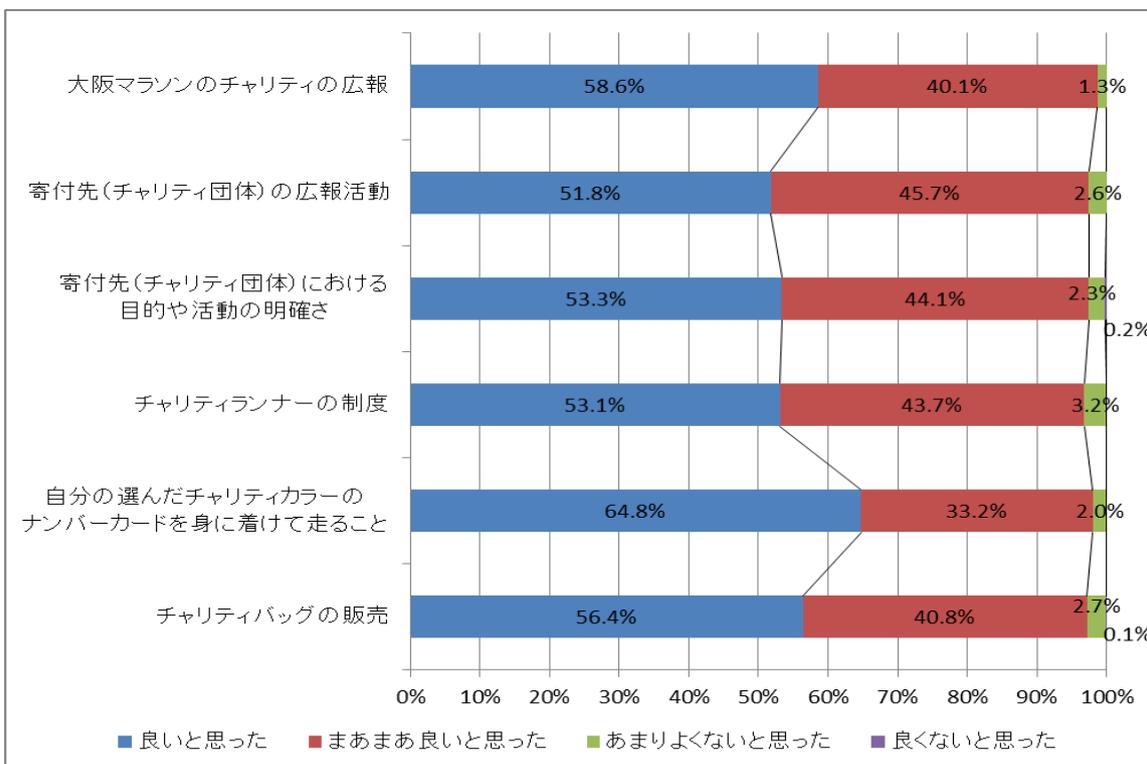
3. チャリティについて

■ 寄付先団体を決めた一番の理由は何ですか？



寄付先団体決定の理由について、「テーマに関心があったから」が44.2%（日本64.7%）だと日本人と比べて少ないが、「現代的な問題に取り組んでいるから」が13.8%（日本5.5%）、「寄付先団体の活動に関心があったから」が12.2%（日本6.9%）と、活動内容で選んでいるのが、海外ランナーの特徴だといえる。

■ 大阪マラソンのチャリティについて、どのように思われますか？



チャリティの運営に関しては、「良いと思った」だけで見ると、「チャリティカラーのナンバーカードを身につけて走ること」が64.8%（日本58.1%）と、日本人同様、チャリティ団体との繋がりを意識することへの評価が高い。

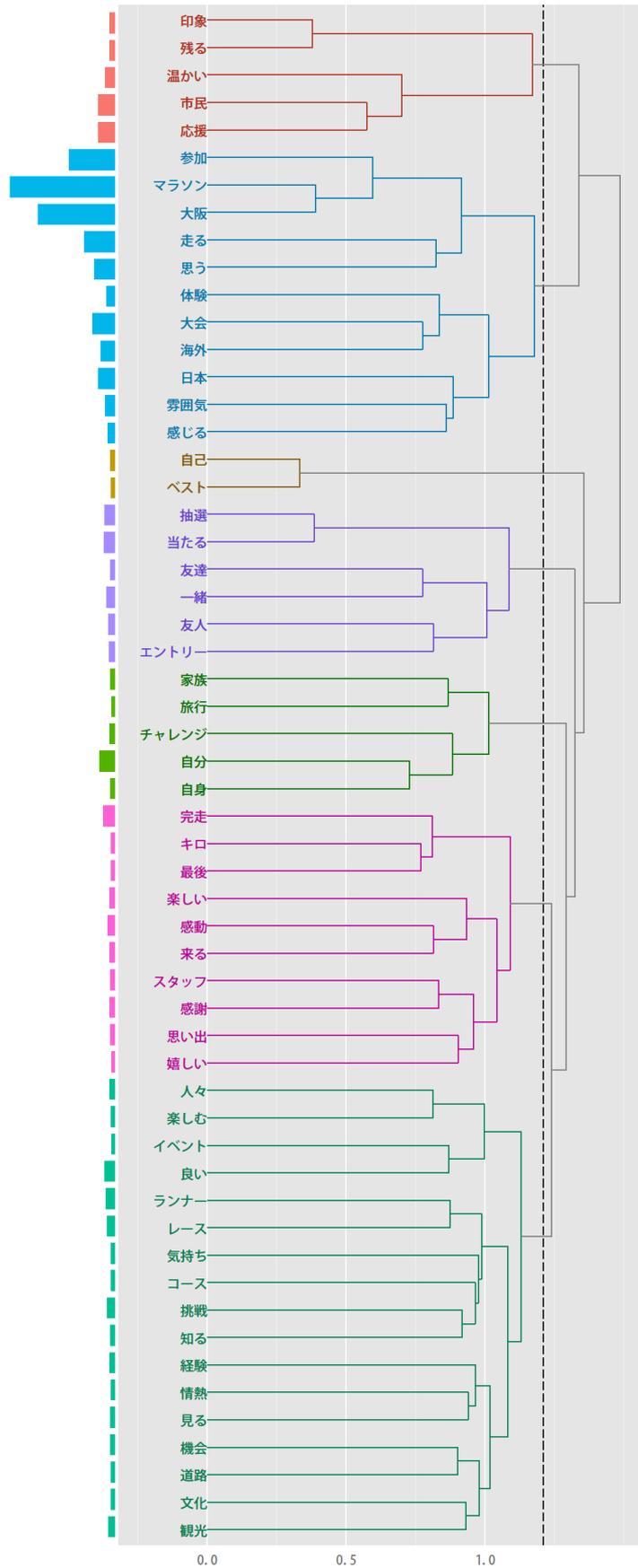
4. 海外ランナーストーリーについて

「あなたは、何を目的として、または何がきっかけで、大阪マラソンに参加しましたか？差し支えの無い範囲で、個人的なエピソードをお聞かせください。あるいは、これまでに大阪マラソン参加経験のある方は、当時の印象深い思い出などがあれば、具体的にお聞かせください。」と問いかけたところ、457名の方から回答があった。

この大阪マラソンを走るストーリーについて海外ランナーが自由記述した文章を、出現頻度の高い150語を取り出し、最小出現数を85（最大出現数は設定なし）に設定し、出現数の多い名詞・サ変名詞・地名・動詞・形容詞を対象に階層的クラスタ分析により解析した結果、7つのクラスタが抽出された。つまり、大阪マラソンの海外ランナーには、主として7つのパターンのストーリーが存在するということである。

1. 市民の暖かい応援が印象に残った。(市民、応援、温かい：印象、残る)
2. 海外のマラソン大会を体験するのなら、日本の雰囲気を感じる大阪マラソンに参加したいと思った。(マラソン、大阪、参加、走る、思う：海外、大会、体験：雰囲気、感じる、日本)
3. 自己ベストを出すために走る。(自己、ベスト)
4. 友達と一緒に走る。(友人、エントリー、友達、一緒：抽選、当たる)
5. 自分自身のチャレンジと家族旅行のために走る。(自分、自身、チャレンジ：家族、旅行)
6. 完走できて感動し、嬉しい思い出になったのは、スタッフのおかげと感謝している。(最後、キロ、完走：感動、来る、楽しい：スタッフ、感謝：嬉しい、思い出)
7. みんなが楽しめる良いイベントで、挑戦の気持ちを知ることができ、沿道での見る人々の情熱を感じ、文化に触れ観光する良い機会となった。(楽しむ、人々：良い、イベント：ランナー、レース：挑戦、知る、コース、気持ち：見る、情熱、経験：道路、機会：文化、観光)

※右ページの樹形図（デンドログラム）は階層的クラスタ分析の過程をあらわす。自由記述の中で頻度の高い単語を抽出し、単語ごとに関連性の高い順番に階層的にまとまり（クラスタ）をつけたものである。今回は図の点線部分でクラスタ数を決定したため、7つのクラスタが抽出された。



海外ランナーストーリー（大阪マラソンを走る理由）抜粋

年代	性別	国	ストーリー
30	女性	台湾	愛している彼が大阪にいる。ずっと付き添わないものの、彼と観光以外の思い出を残したい。愛のために、幸福のために走りました。
40	男性	台湾	13年前、大阪ではほぼ一年間、仕事（パナソニック電器の研修生として）をしていたので、大阪には故郷の感情を持っています。今年は三年目にして抽選でやっと当たったので大変貴重な機会でした。道路両側での応援の声は僕の走りの原動力になりました。フィニッシュラインを見た時、非常に感動しました。
30	男性	台湾	今大会に参加したのは、去年の大阪マラソンに参加した友人のオススメがあったからでした。今回は神様のために参加しました。僕のランニングの才能は神様から頂いたからです。走ることを通して、神様に恩返しをしたかったのです。今回一番印象に残っているのは、ボランティアと応援してくれた温かい大阪市民でした。特に辛い時、市民の温かい応援のお陰で、最後まで頑張りたくなりました。また、「成績は気にせず、楽しく完走することが大事だ」と励ましてくれました。その時僕はすごく感動し、涙が出ました。大阪マラソン、ありがとうございました。また来ます。
40	女性	台湾	前回大阪マラソンに参加した友人が、応援団がすごく多いと言っていました。今年の東京マラソンにも参加してすごく感動したので、この感動の気持ちをもう一度感じたいと思って、今回の大阪マラソンにエントリーしました。
30	男性	台湾	私が急診の看護師をしているので、当初、健康とダイエットのために走り始めました。だんだん走ることに興味を持つようになって、何回もハーフマラソンに参加していました。僕は日本の近畿地方が好きなので、今回の大阪マラソンに参加する同時に、家族と一緒に観光したいと思いました。

30	男性	台湾	彼女がずっと大阪マラソンに参加したいと言っていたのですが、彼女はマラソン経験がありませんでした。もし今回の大阪マラソンに抽選で二人とも当たったら一緒に行くと約束していて、今回当たりました。彼女はギリギリ完走しましたが、大阪ではショッピングも楽しんでいたようです。
40	男性	香港	2016年に、ある旅行番組を見ました。それは、あるカップルが一緒に大阪マラソンに参加したという内容でした。それを見ると自分も走りたくなり、ほぼ半年練習して、やっと人生初マラソンを実現しました。非常に楽しかったです。
30	女性	台湾	日本のマラソン大会にずっと憧れていました。今回は幸運にも参加でき、自分の選択は間違っていなかったと確信しました。一番印象に残っているのは、あたたかく応援してくれた市民の姿でした。スタートの時、「行ってらっしゃい」と言ってくれて、ゴールの前に、「お帰り」と言ってくれました。それを聞くと、心が温かくなりました。応援してくれた一人ひとりが真心で応援してくれて、私は楽しく完走できました。レース全体の企画もよくて、ランナーへの尊重が感じられます。大阪マラソン「最高」。これからも参加したいです。
30	男性	台湾	最初、健康のためにランニングをはじめました。だんだん走ることを通して、健康維持だけではなく、様々な人を知る機会があり、異文化理解につながっていると感じます。今回の大阪マラソンのチャリティテーマは「家族を支える」を選んで、非常に意義があると思いました。
30	女性	台湾	亡くなった胖胖のために、走った。胖胖を連れて、日本の風景を見てもらいたい。
30	女性	台湾	自己への挑戦と、走ることで自分の両足を通して、この都市を知ることができました。
30	男性	台湾	愛情とマラソンは似ています。粘って最後まで頑張ればフィニッシュで幸せを見られる。20キロ地点で足が痙攣しましたが、タイムリミットの30分前に完走することができました。

40	男性	台湾	走っている間に、日本人の子供とハイタッチした。子供と彼の母親はとてもうれしそうでした。
30	男性	台湾	そろそろ40歳になる僕は、自分に負けたくないと思い、人生初マラソンに挑戦しました。今回の大阪マラソン大会について評価すべきポイントは、1. 補給品が多く用意されている、大阪マラソンの限定商品も豊富にある、2. インターネットの普及のため、応援者はランナーの位置がすぐわかる。3. 完走後、すぐ記録成績がわかる。また、完走後の補給品がすぐにもらえる。
30	男性	台湾	今年の大阪マラソンの開催日である11月26日は、丁度僕の誕生日でした。それで記念に感じています。大会の主催者、日本と台湾の応援団に感謝しています。そのお陰でスムーズに完走できました。
20	男性	台湾	大学を卒業する前に特別な思い出を残したくて、大阪マラソンにエントリーしました。運良く抽選で当たりました。二ヶ月くらい練習していたため、11月26日に人生初のマラソンを順調に完走できました。
30	女性	香港	今回は家族と一緒に走りました。10キロのところで転倒したため、両足が怪我しましたが完走できました。夫も足を怪我したので、二人とも怪我のまま、助け合って、最後まで一緒に完走できた。非常に感動しました。
30	女性	台湾	今年の大阪マラソンが初マラソンでした。大阪マラソンは私の心身を成長させてくれます。実際にレース中の温かさを感じられて、すごく感動しました。その雰囲気に取り囲まれて、まるで両腕を広げて抱かれているかのようにランナー達を歓迎していました。温かい応援の声は今でも思い出したら、感動します。大阪市長も走っていましたね。温かく応援してくれた大阪市民の姿は忘れられません。活発的で綺麗な都市。次の大阪マラソンも参加したいです。
30	男性	香港	私の娘は9歳です。勉強も水泳もすぐに諦めてしまいます。私が大阪マラソンに参加することで、彼女を励ましたり、絶対に諦めない気持ちを実際に見せたいと思ったのです。

30	男性	マレーシア	平和のため、そして社会が健康の大切さに気づきより良い生活ができるように走りました。
40	男性	タイ	私は、タイのロックスターのために走ります。彼は、タイ南部から北部まで11の病院への寄付を募るキャンペーンのため走るというありえないこととしています。彼の名前はトゥーン ボディスラム。私は今回、カメラマンの前を通るときは必ず、そのキャンペーンのシンボルである「1本指を立てる」ことで、キャンペーンを支持しました。
30	男性	香港	私がいつも信じているのは、能力の有無ではなく、一生懸命がんだり、困難を切り抜ける方法を学べば、あなた自身の居場所が見つかるということです。マラソンでこのことを確かめられます。私は運動が得意ではないし、上手くありませんが、走ることを楽しんでいます。人ごみの中で、私のような普通の人々の顔を見て、みんなゴールに向かっていていると思うと、それが私を前に押してくれます。
60	男性	台湾	大阪マラソン2017は私にとって100回目のマラソンでした。この節目になぜ大阪を選んだか？わかりません。でも絶対日本でないと、と思いました。大阪マラソンに参加できる幸運をつかんだとき、私は100回目のマラソンと家族旅行の計画をはじめました。98回目は岡山マラソンで、99回目は神戸マラソンで、日曜日に3週連続してマラソンがありました。そして私たちは大阪で素敵な思い出ができました。
40	男性	韓国	私は2017年6月2日に癌のため手術を受けました。でも今は以前の状態に戻ってきたと思います。だから、家族と自分自身のために走りました。ボストンマラソンと比べて、アスリート用とファミリー向けのプログラムがあまりありませんでした。来年に期待します。ありがとう。

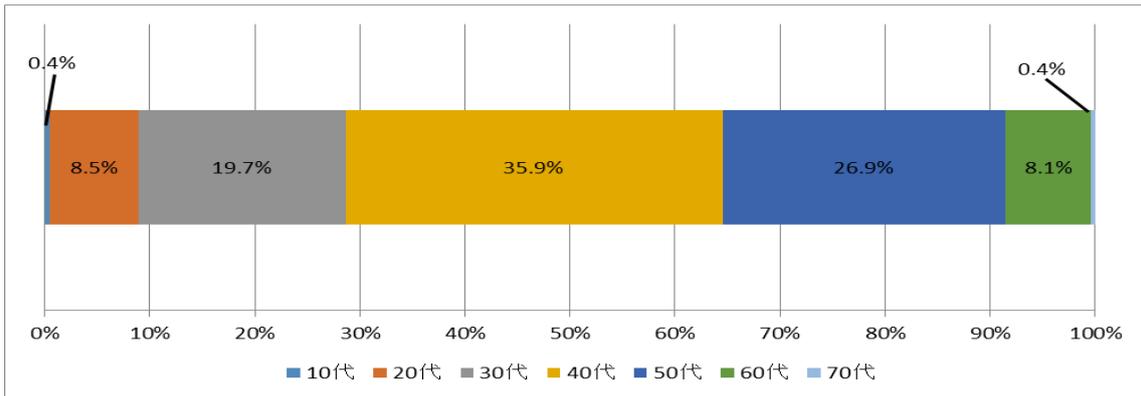
Ⅲ. チャリティランナー

Ⅲ. チャリティランナー意識調査

回答者数：234

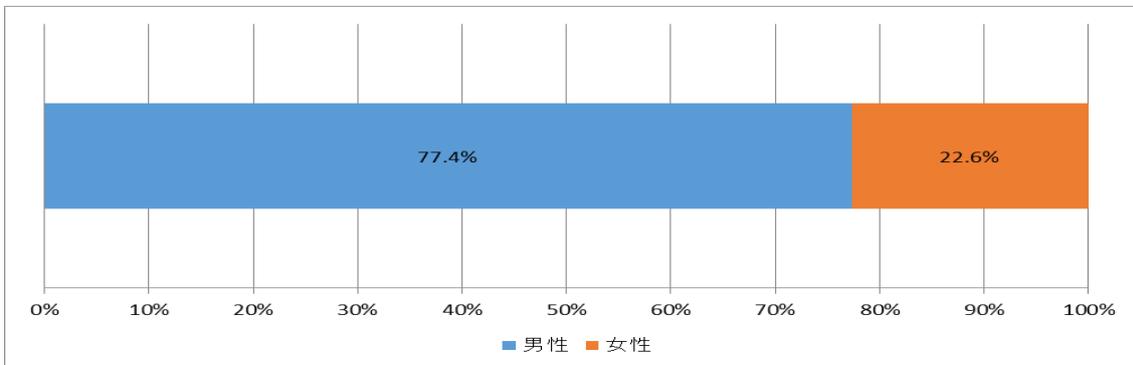
1. あなた自身について

■年齢（年代）



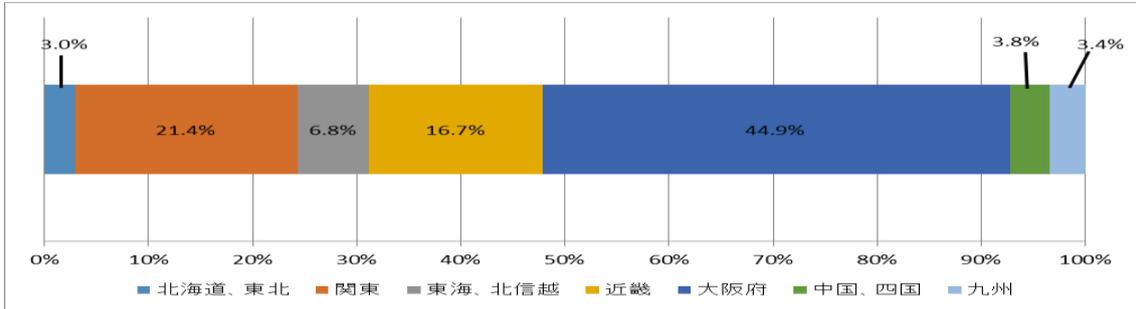
年齢は、30代の割合が19.7%(昨年14.9%)、40代が35.9%(昨年39.6%)であり、昨年より若年層が増加している。

■性別



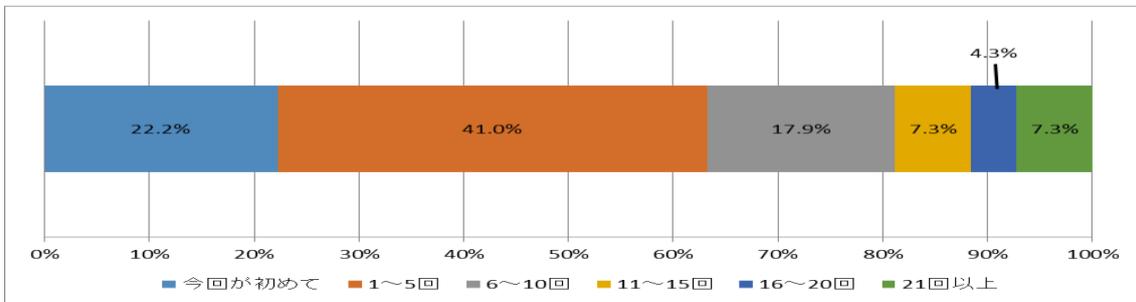
性別は、男性が77.4%(80.6%)、女性が22.6%(19.4%)であり、昨年より女性の割合は多くなっている。

■お住まいの都道府県



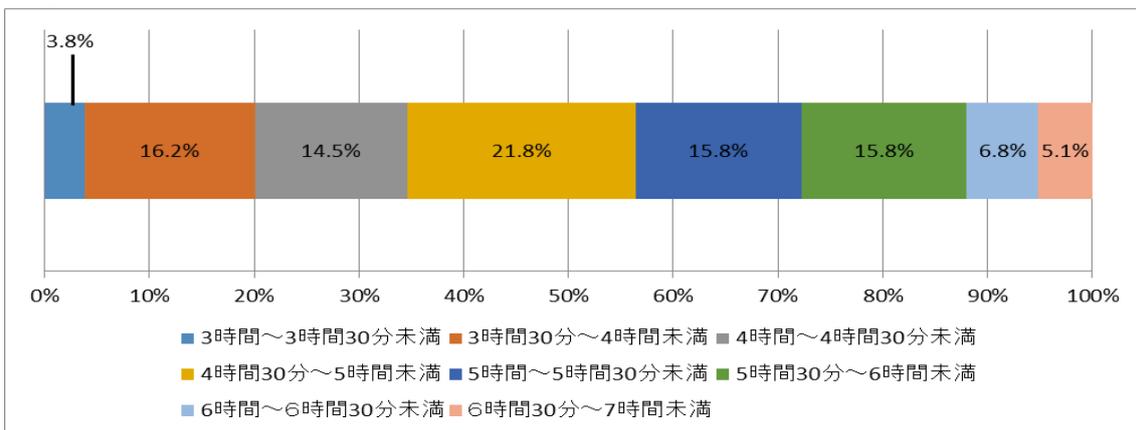
参加者の居住地は、大阪府以外の近畿圏からの参加者は16.7%(昨年18.7%)で僅かに減少しているが、関東からの参加者は21.4%(昨年21.6%)と大きな変化はなかった。

■参加経験



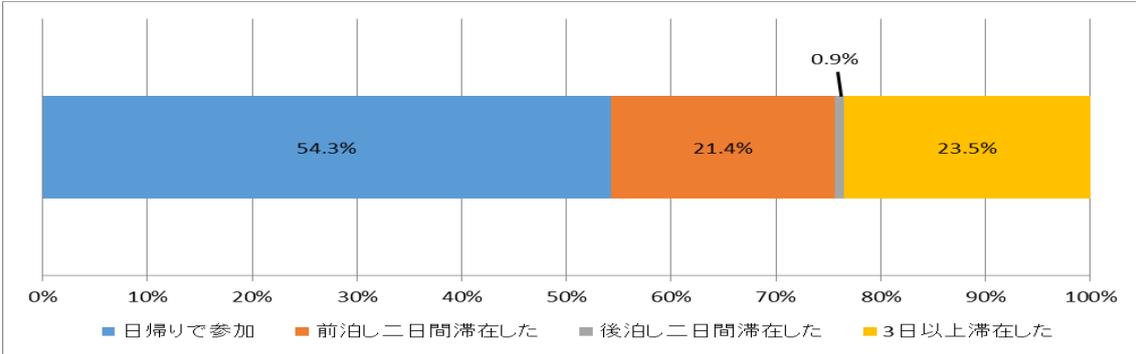
参加経験は、今回初めての参加が22.2%(昨年13.4%)、1～5回目が41.0%(昨年38.8%)と、昨年と比較して初心者、経験者ともに増加している。

■今回のフルマラソンのタイム



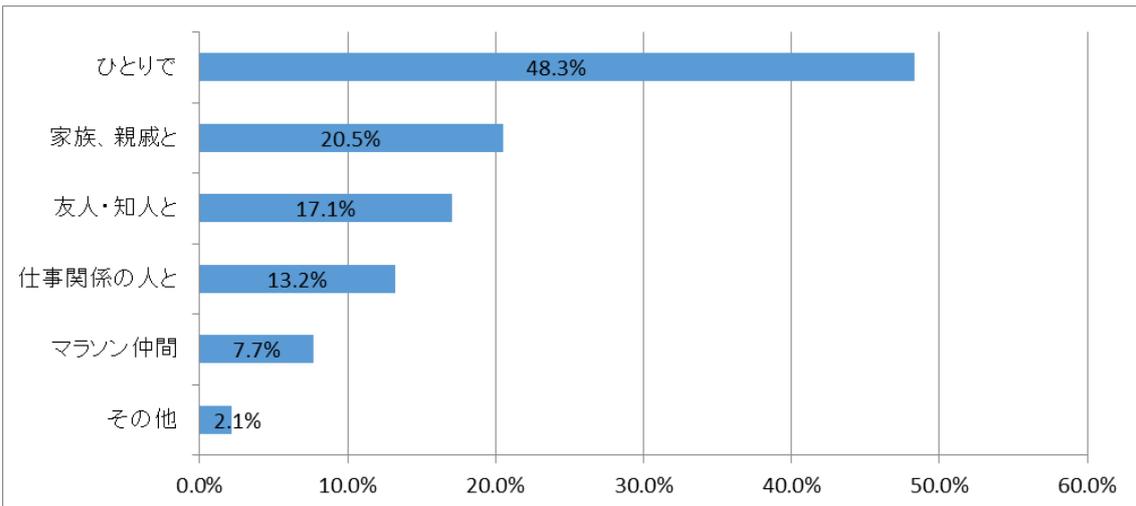
4時間～4.5時間が21.8%(昨年22.6%)と最も多い。また、4時間30分未満の完走者が56.3%(昨年43.7%)と増加傾向にある。

■大会前後の大阪滞在日数・形態



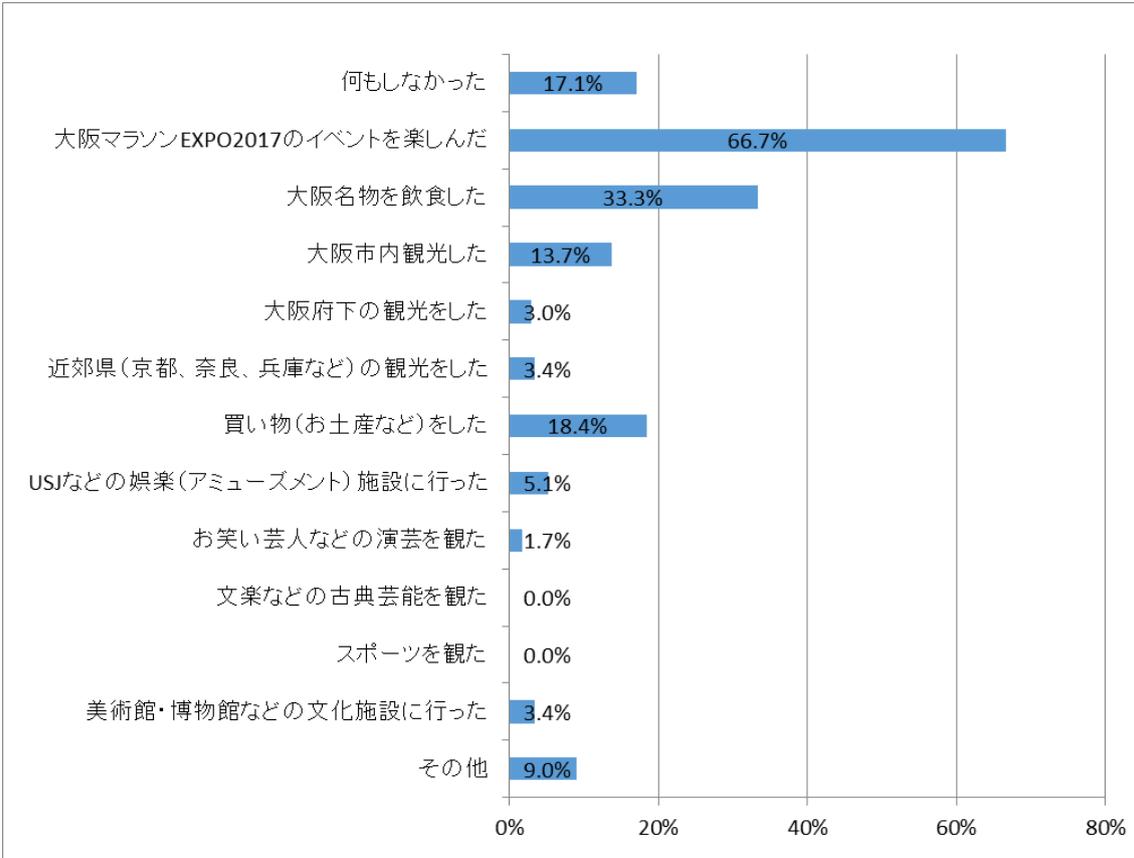
大阪滞在日数と形態について、「日帰りで参加」が 54.3%（一般 62.5%）と、一般より少なく、「3 日以上滞在した」が 23.5%（一般 11.4%）と一般より多いことから、滞在日数が多いのが特徴である。

■大会には誰と来られましたか？



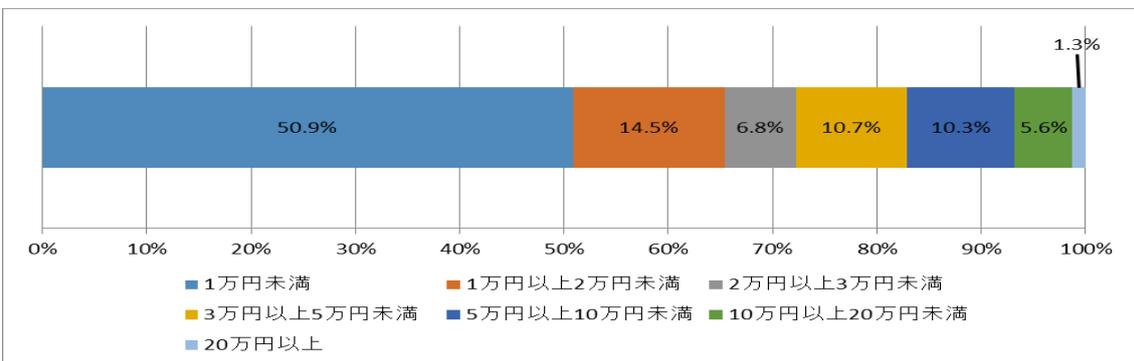
大会への同伴について、「ひとりで」が 48.3%（一般 59.4%）と、一般より少なく、「知人・友人と」が 17.1%（一般 12.9%）、「仕事関係の人と」が 13.2%（一般 3.2%）と、知人・友人あるいは仕事関係の人と来るのが特徴であるといえる。

■あなたは、大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？



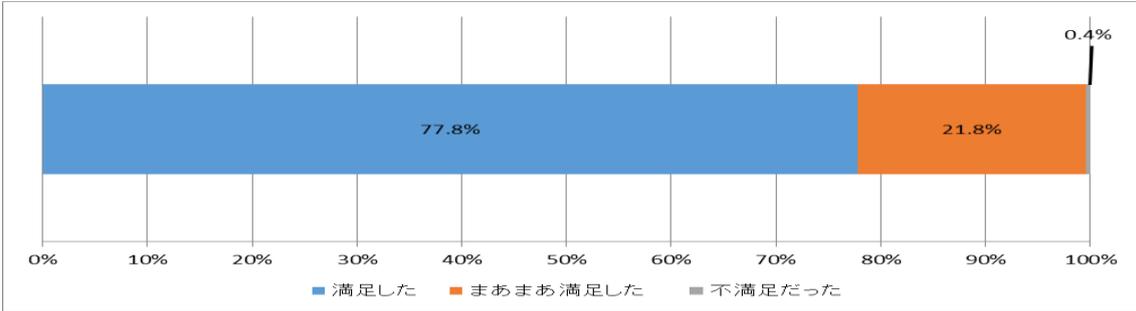
マラソン以外の活動について、「大阪マラソン EXPO のイベントを楽しんだ」が 66.7% (一般 66.3%)、「大阪名物を飲食した」が 33.3% (一般 34.5%) と、一般ランナーとその活動は変わりがなかった。

■あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか？



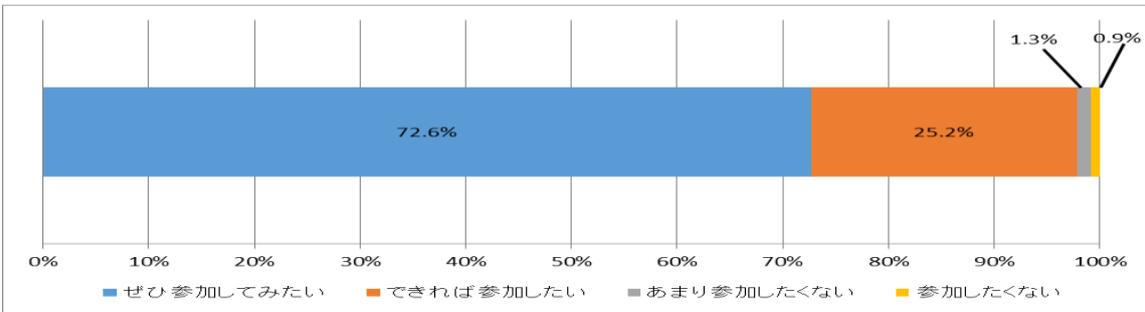
使った経費について、「1万円未満」が 50.9% (一般 55.4%)、「1万円以上2万円未満」が 14.5% (一般 18.6%) と、2万円未満が約 65%となっており、一般ランナーと同様に、ある程度の経済的効果は見込まれる。

■第7回大阪マラソンに満足しましたか？



大会の評価について、「満足した」が77.8%(昨年78.4%)、「まあまあ満足した」が21.8%(昨年20.1%)と、例年通り、ほとんどの人が満足しているといえる。

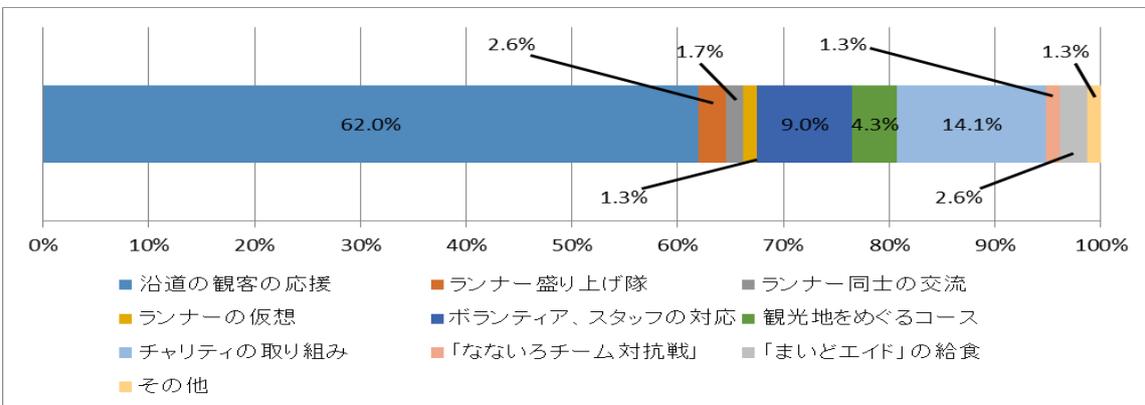
■第8回大阪マラソンに参加してみたいですか？



来年度の大会への参加について「ぜひ参加してみたい」が72.6%(昨年82.1%)、「できれば参加したい」が25.2%(昨年17.2%)と、昨年比で、ぜひ参加したい人が減少しているものの、97.8%の人が参加したいと回答しており、リピート率が高いといえる。

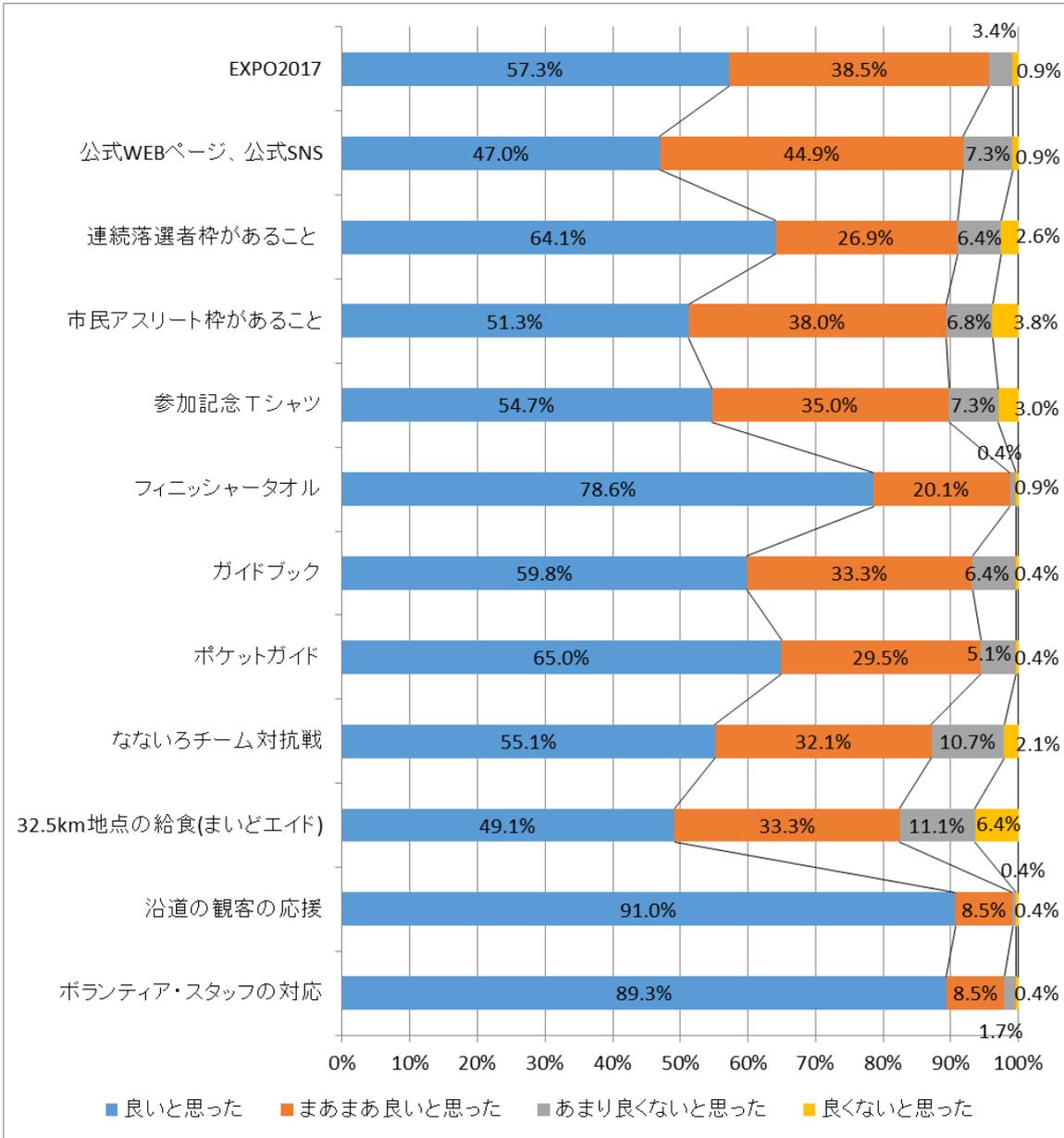
2. 大阪マラソンの運営について

■大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか？



大阪マラソンの魅力について、「沿道の観客の応援」が62.0%(一般56.4%)と一般ランナーより多く、「チャリティへの取り組み」が14.1%(一般3.5%)と特徴的である。

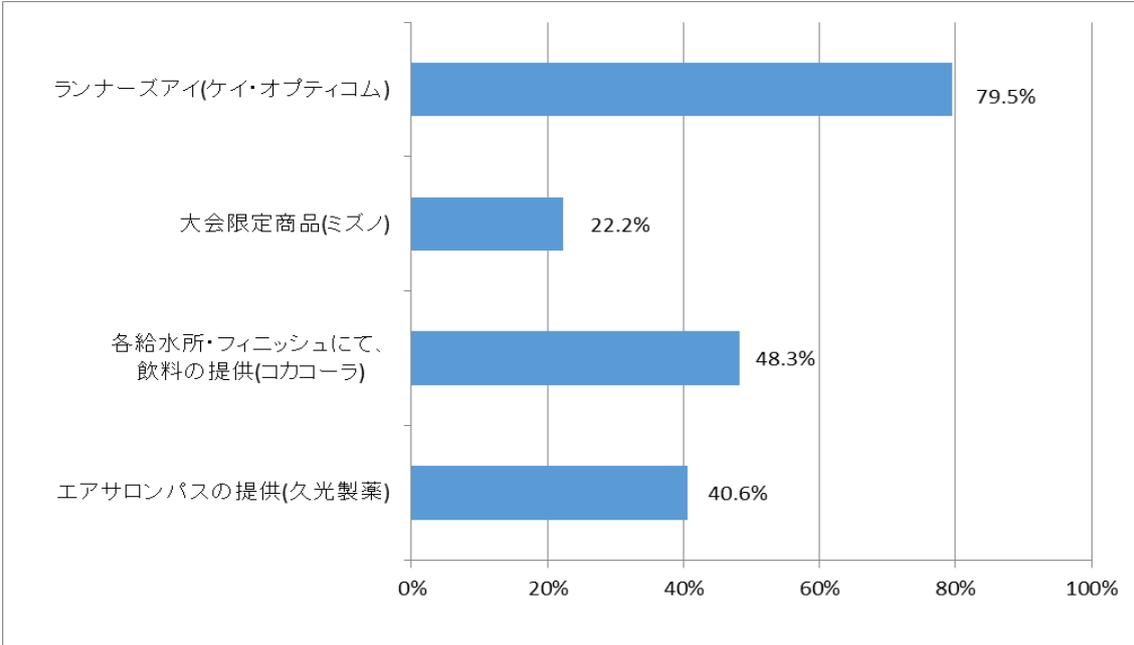
■第7回の大阪マラソンの運営について、どのように思われますか？



大阪マラソンの運営について、「良いと思った」と答えた人の割合だけで評価すると、「沿道の観客の応援」が良かったと答えた人 91.0%(一般 88.7%)と最も高く、次いで「ボランティア、スタッフの対応」が 89.3%(一般 91.3%)で、一般ランナーとはあまり差が見られず、運営のホスピタリティへの評価が高いといえる。

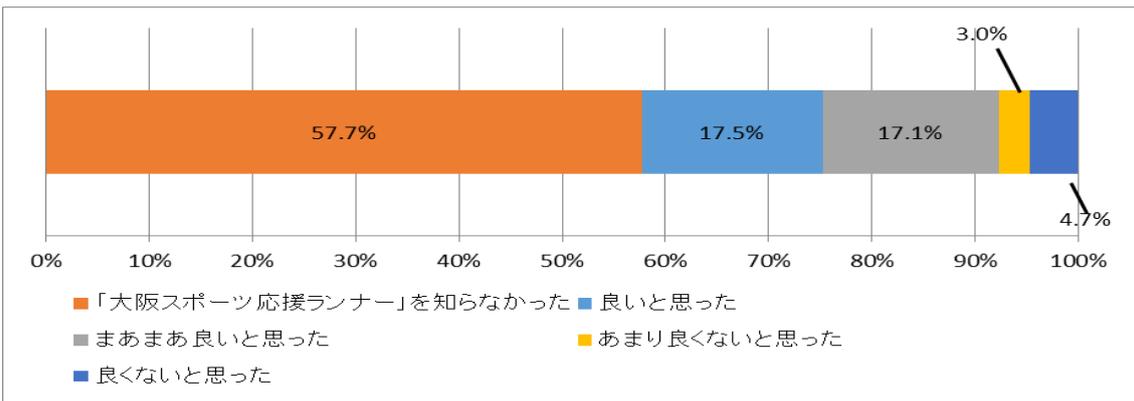
一方、一般ランナーより「まいどエイド」が 49.1% (一般 56.4%) と少なく、「なないろチーム対抗戦」が 55.1% (一般 43.5%) と多いことから、ある面、競技的指向が強いランナーであるといえよう。

■大会スポンサーのサービスで良かったものを教えてください。



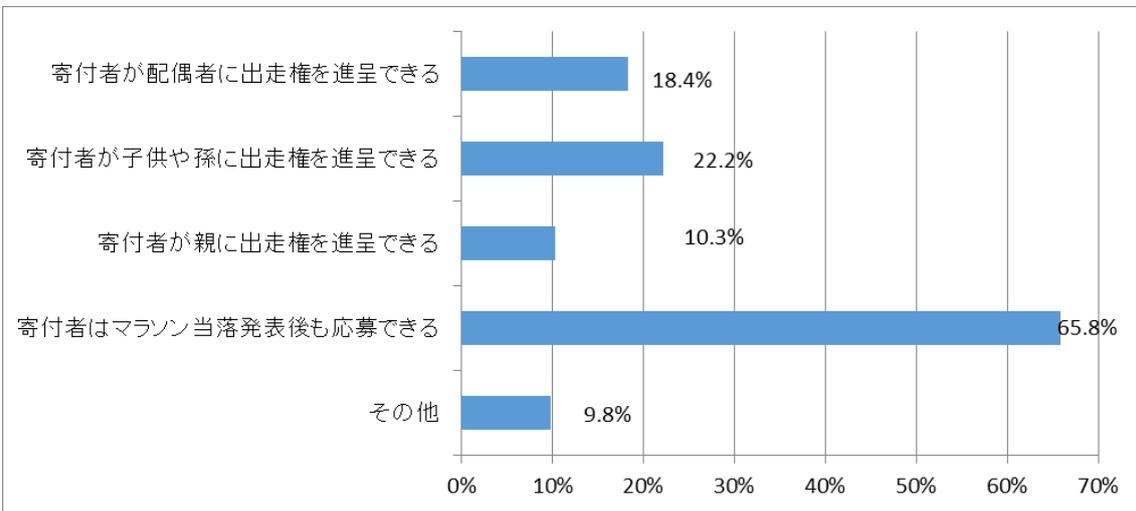
スポンサーサービスについて、「ランナーズアイ」が79.5%（一般74.4%）と最も多く、一般ランナー同様、応援する観客に自分の走っている位置を知らせるための重要なツールとなっているからである。一方、「大会限定商品の販売」は22.2%（一般19.6%）となっており、サービスの評価は低いといえる。

■「大阪スポーツ応援ランナー」が新設されたことはどうでしたか？



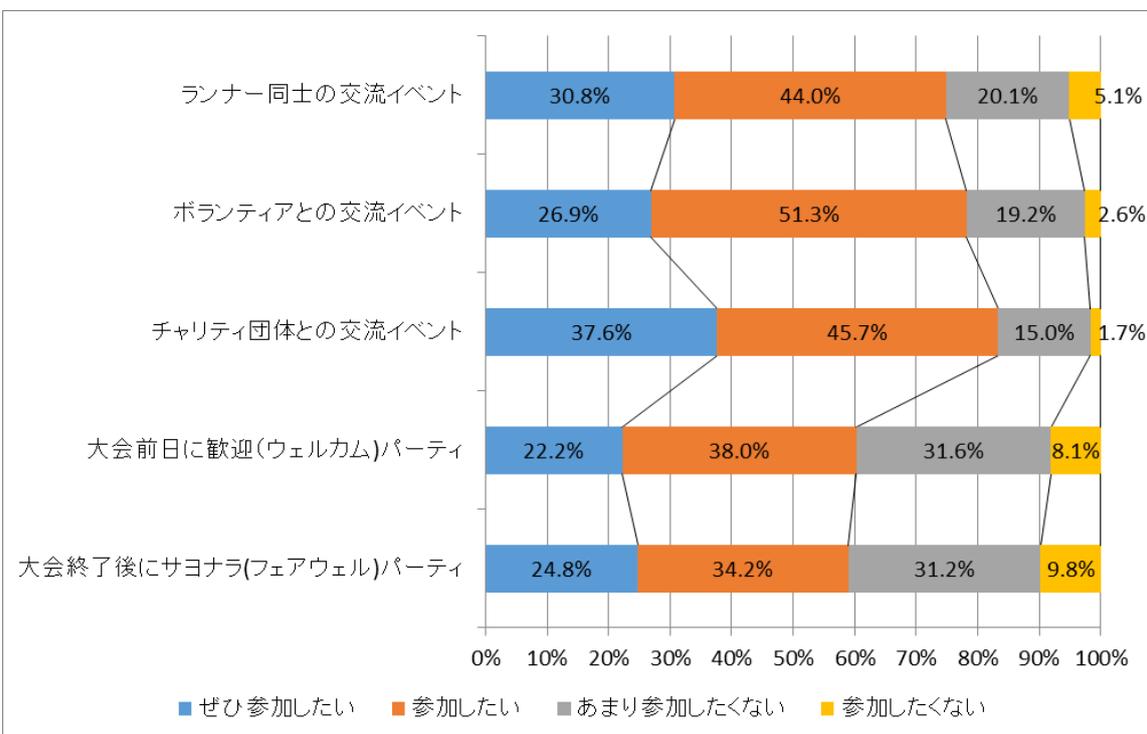
大阪スポーツ応援ランナーについて、「知らなかった」が57.7%（一般50.4%）と過半数を占めていることから、人々に認知されていないという課題が見られた。また、「良いと思った」が17.5%（一般19.6%）、「まあまあ良いと思った」が17.7%（一般20.3%）と、知っている人の約8割が良いと評価している。

■「大阪スポーツ応援ランナー」の仕組みをより良いものにしていくために、どのような工夫があればよいと思いますか？



仕組みの改善について、「寄付者はマラソン当落発表後でも応募できる」が65.8% (59.8%)と、一般ランナーより、落選者の救済措置として位置付けることが良いとする人が多い。

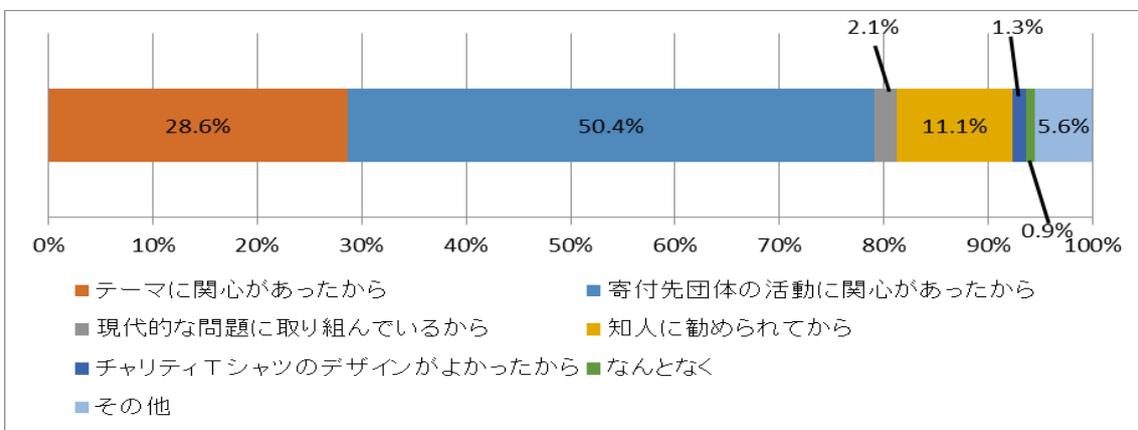
■次のようなイベントがあれば、参加したいですか？



大会イベントについては、「ぜひ参加したい」と「参加したい」を合計した値で見ると、「チャリティ団体との交流イベント」が83.3% (一般58.2%)と最も多く、チャリティランナーとしてチャリティ団体との関わりを持とうとしていることが伺える。

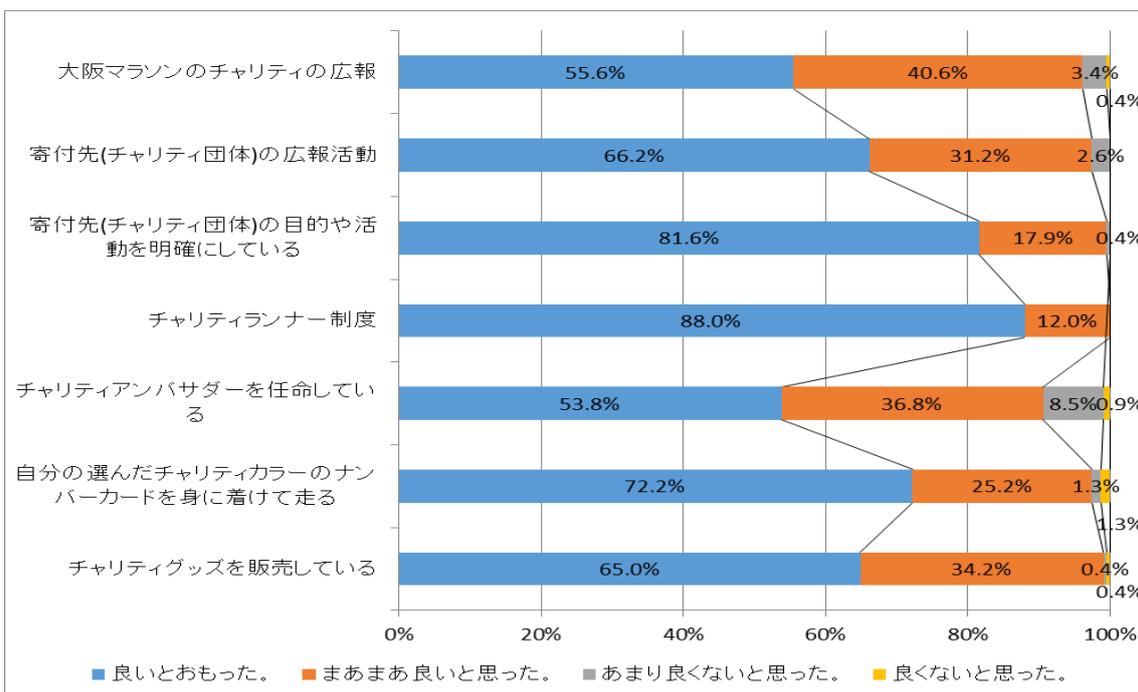
3. チャリティについて

■ 寄付先団体を決めた 1 番の理由は何ですか？



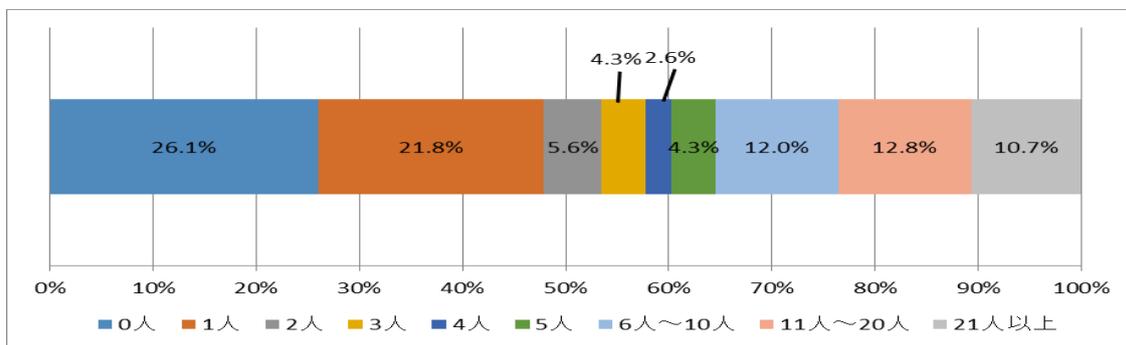
寄付先団体の決定について、「寄付先団体の活動に関心があったから」が 50.4%(一般 6.9%) と、一般ランナーと決定的に違う。また、当然のことではあるが、「なんとなく」は、0.9%(一般 15.9%) と、はっきりと寄付先団体の活動で決めているのが分かる。

■ 大阪マラソンのチャリティについてどのように思われますか？



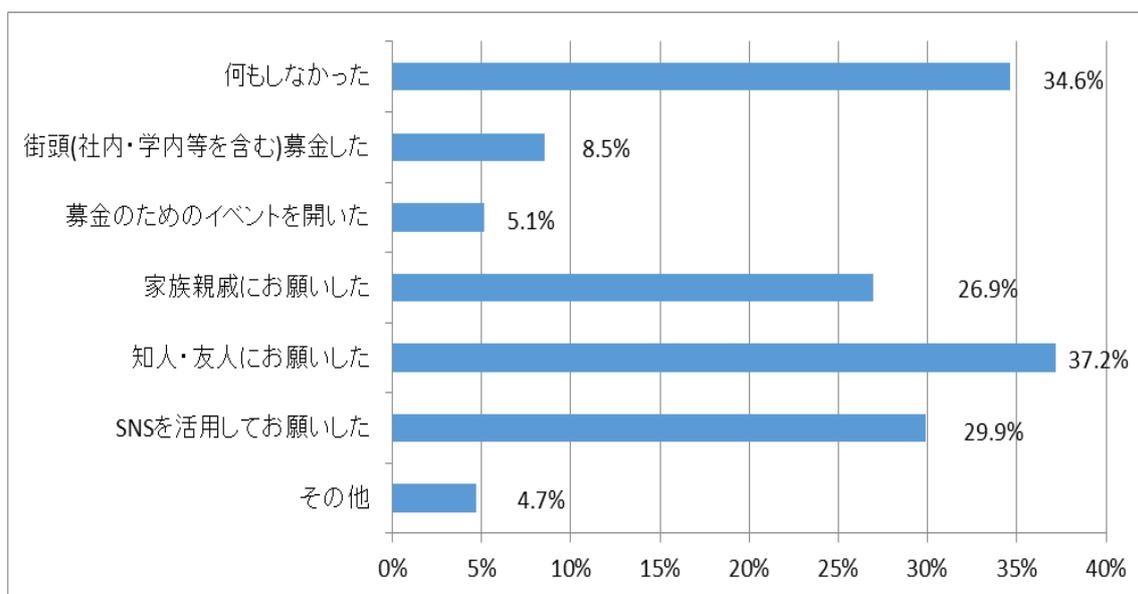
チャリティの運営に関しては、「良いと思った」と答えた人の割合でみると、当然のことではあるが、「チャリティランナー制度」が 88.0% (一般 55.9%) と、高く評価している。また、「寄付先団体の活動を明確にしていること」が 81.6% (一般 56.3%) で、活動内容に関心がある。一方、「チャリティアンバサダーの任命」については 53.8% と、それほど評価していないといえる。

■何人のサポーターから寄付を集めましたか(自分自身を除く)?



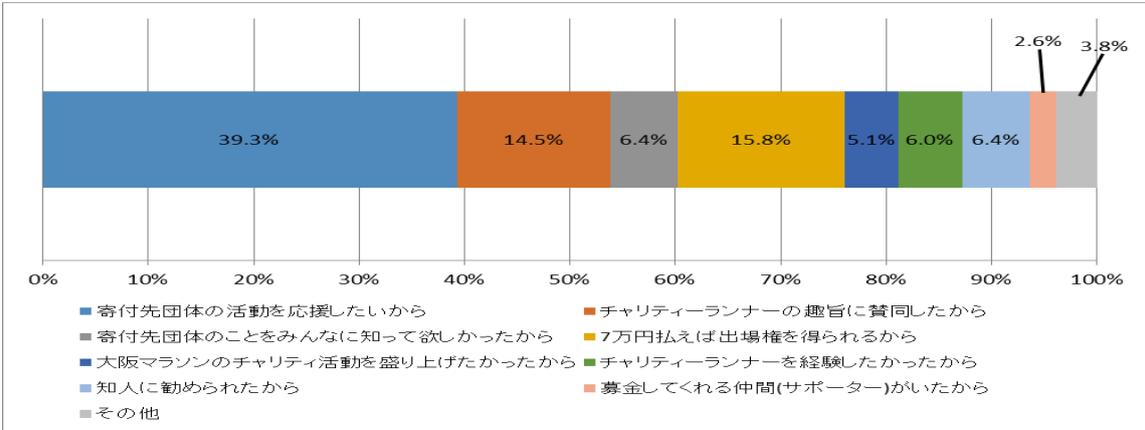
サポーターの人数について、「0人」が26.1%(昨年38.1%)で、6人以上が35.5%(昨年22.4%)となっており、昨年に比べて、募金活動を積極的に行う傾向にある。

■募金活動はどのようにしましたか?



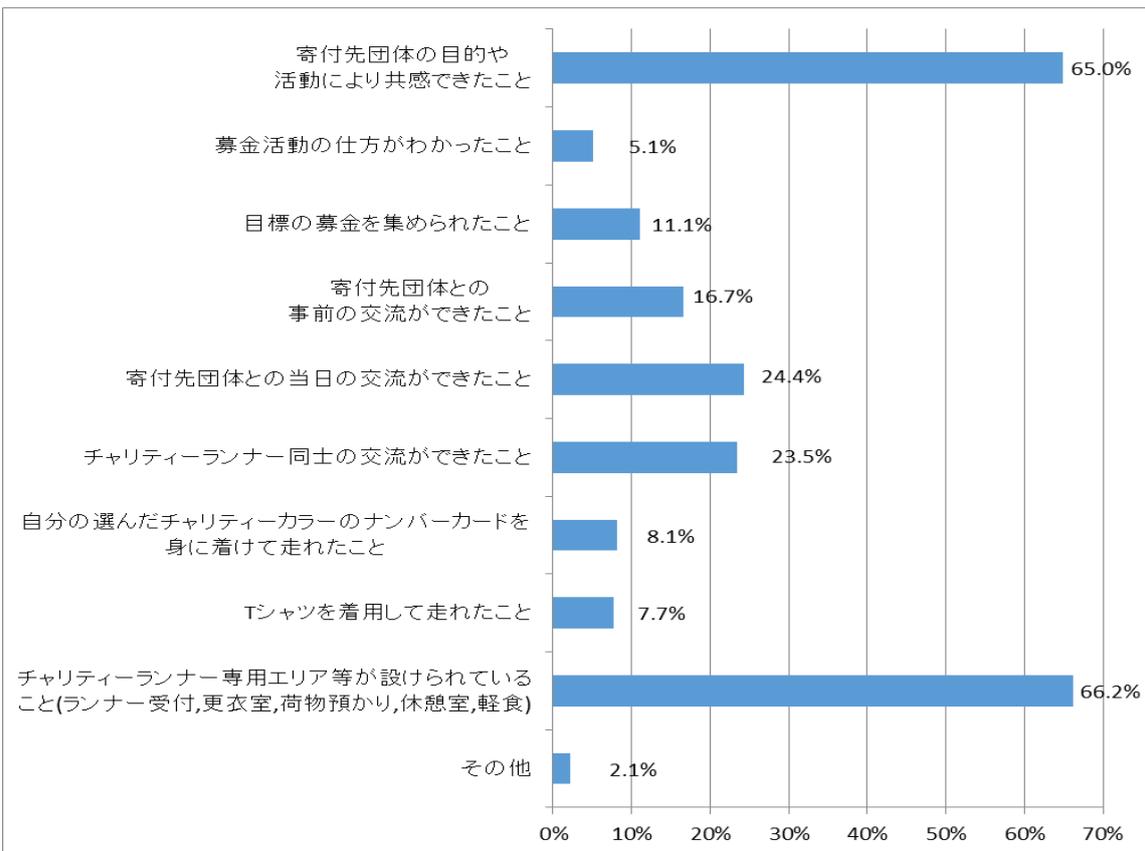
募金活動については、「何もしなかった」が34.6%(昨年44.8%)と、昨年比で減少しているが、「知人・友人にお願いした」が37.2%(昨年29.9%)、「家族親戚にお願いした」が26.9%(昨年17.9%)と増加しており、関係者からの募金が増加している。

■チャリティランナーとして参加することを決めた1番の理由は何ですか？



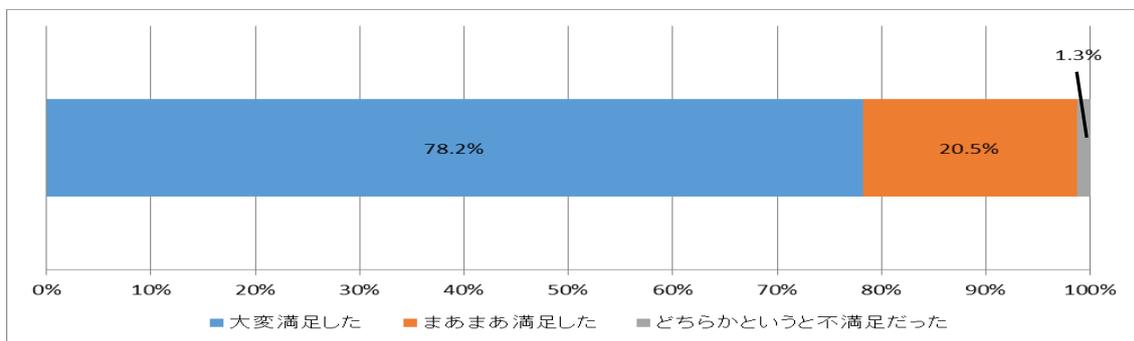
チャリティランナーで参加する理由について、「寄付先団体の活動を応援したいから」が39.3%で最も多かったが、次いで「7万円払えば出場権を得られるから」が15.8%と多く、チャリティランナーの趣旨に沿わない理由が払拭できない状況にある。

■チャリティランナーとして参加して良かったことは何ですか？



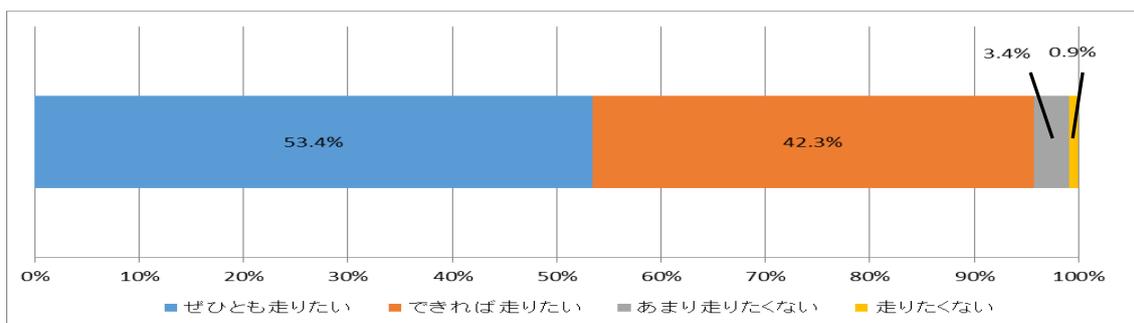
参加して良かったことについて、「専用エリア等が設けられていること」が66.2%、「寄付先団体の目的や活動により共感できたこと」が65.0%と、チャリティランナーとしての自覚が得られることに、共感しているといえる。

■チャリティランナーとして走ってみて満足しましたか？



チャリティランナーとしての満足度について、「大変満足した」が78.2%(昨年73.1%)、「まあまあ満足した」が20.5%(昨年26.9%)と、昨年より満足度は上がったといえる。

■チャリティランナーとして来年も走りたいですか？



チャリティランナーとしての来年の参加について、「ぜひとも走りたい」が53.4%(昨年41.0%)と積極的な意思が増加し、「できれば走りたい」が42.3%(昨年54.5%)と消極的な意思が減少している。

チャリティランナーストーリー（大阪マラソンを走る理由） 抜粋

年代	性別	ストーリー
30	男性	チャリティランナーで何年も走っていた会社の社長の影響で走りました！障がいのある子ども達へ希望を届けたいと願いましたが、こちらが励まされるようなそんな素晴らしい特別な体験をさせて頂きました！日程的に可能であれば何度でも走りたいと思えるマラソンでした！ありがとうございました。
40	男性	会社のチャリティランナーとしての参加がきっかけとなりました。初マラソンで、しかも寄付金も募っての参加でしたので、絶対リタイア出来ないと思い、半年以上前から、練習を積み重ねて、本番に臨みました。完走出来て、本当に良かったと思います。人生観が変わりました。また参加したいと思います。
40	女性	知り合いからチャリティランナーを探しているとの声かけがきっかけで参加。声かけがなければ参加しなかったなので、知り合いに感謝しています。あまりにも手厚い待遇で恐縮しきりでした。5日前に体調をくずして、会社を2日間お休みすることとなり、調子が悪いまま臨みましたが、たくさんの方々のご支援があり、その勇気に支えられPBマークすることができました。チャリティランナーでなければ達成できなかったことと思います。お引き受けして良かったです。
40	女性	チャリティマラソンの意味を深く知り、その趣旨に賛同したことがきっかけです。チャリティ文化が大阪から根つき、日本の文化になっていくことを願っています。
40	男性	都市型のマラソン大会に幾度か出場させて頂いていますが、その中でも総合的に大阪マラソンは群を抜いています。街全体の盛り上がりしかり、運営しかり、目的しかり、どれをとっても本当に素晴らしい大会です。4年前に初めて参加させて頂いてから大阪マラソンの大ファンとなりました。今年はチャリティ枠で団体にも協力したいと思いエントリーさせて頂きました。来年ももちろんチャリティ枠で申し込むつもりです。今年も素晴らしい大会ありがとうございました。

30	男性	<p>去年は一般で今回はチャリティランナーとして参加させて頂きました。今回も参加したキッカケとしては所属している団体がチャリティ先として選定されてその支え、そしてPRが出来るので参加しました。全国から同志が集まり大阪マラソンを通して交流ができ大変楽しくEXPOからマラソンまで楽しく過ごす事が出来ました。また来年も参加を是非したいと思います。</p>
40	女性	<p>寄付先団体のファンドレイザーだったので、資金調達の為に走りました。初マラソンで、本当に走るかどうかを決めたのが8月。5月くらいまでは「少し練習して来年までに…」と思っていたのですが、支援しているこどもたちの来年があるか分からないのに大人が逃げてはいけない！と思い、8月31日にエントリーしました。練習も満足に出来ていなかったで、自信は全くなかったのですが、様々な方の支援、応援で何とか完走することができました。人の想いを力に変えて走ることができた、素晴らしい大阪マラソンでした。</p>
50	女性	<p>家の近くに長居公園があるので、山登りの体力維持の目的で走りだしました。10年目に大阪マラソン第1回目に当選し初フル。5時間を切れすごく楽しかったので、毎年申し込んでいます。大阪はお祭りのようにわくわくする大会。まいどエイドではランナーのタイムが遅くなっても食べたいものばかり。沿道の応援は面白すぎる。疲れたランナーも思わず笑ってしまうボード。ボランティアでも参加させていただき、私は1型糖尿病ですが、生き甲斐としてマラソンを続けていこうと思っています。大阪マラソンは大阪の宝物。訪れた全てのランナーに喜んでもらえる大会として発展して欲しいです。</p>

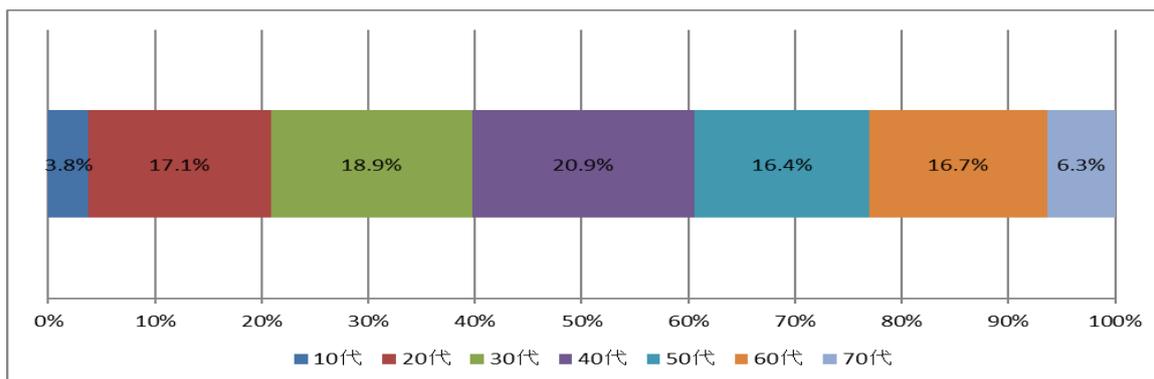
IV. 觀客

IV. 観客意識調査

回答者数：559

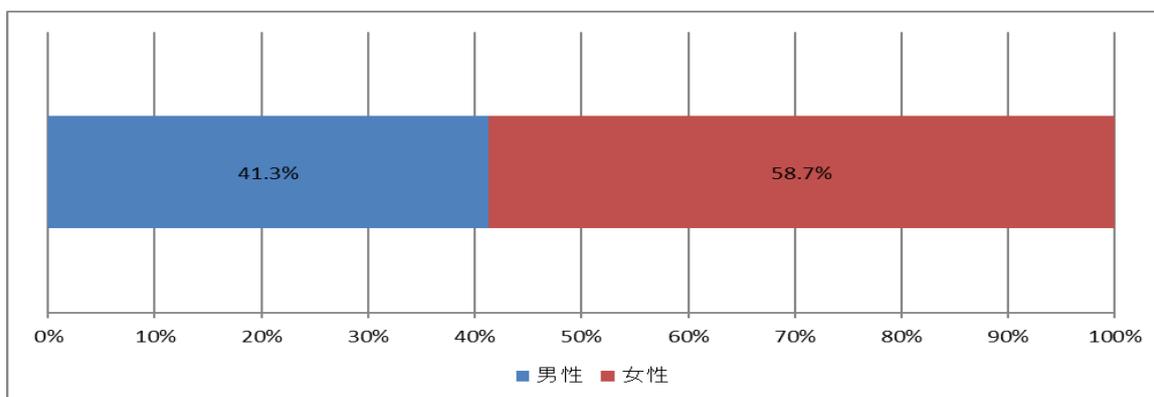
1. あなた自身について

■年齢（年代）



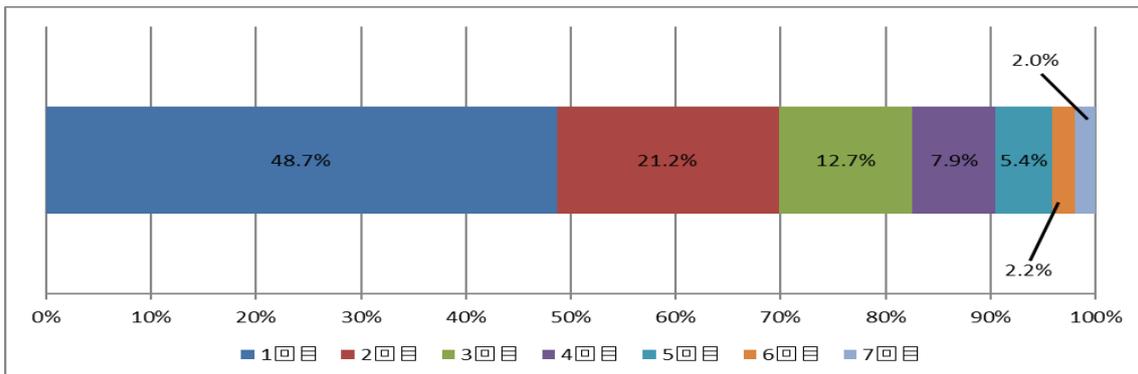
回答者の年齢では、40代が20.9%（昨年22.7%）と最も多く、次に30代が18.9%（昨年14.3%）となっているが、20代から60代まで、非常にバランスよく分布しており、調査としての信頼性はあるといえる。

■性別



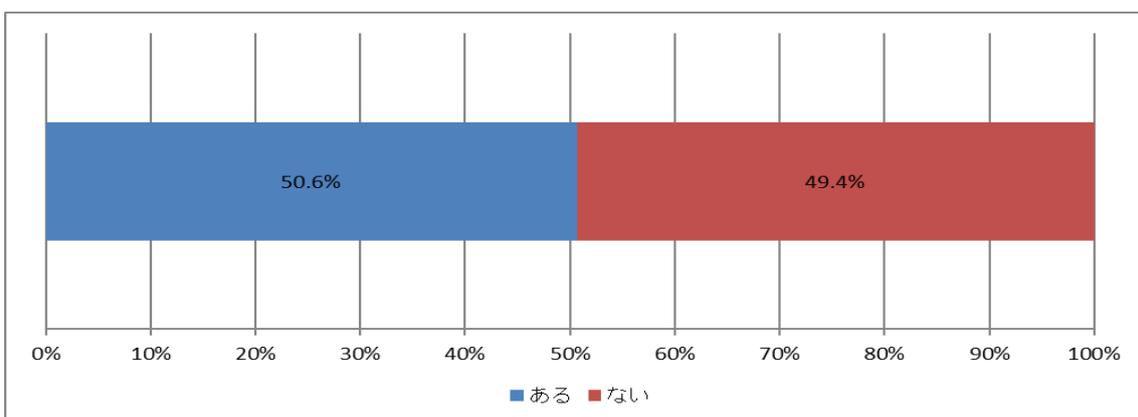
回答者の性別では、「男性」が41.3%（昨年32.9%）、「女性」58.7%（昨年67.1%）と昨年比べて、男性の回答者が増加し、女性の回答者が減少したが、昨年よりもバランスよく回答されており、調査の信頼性は担保されているといえる。

■大阪マラソン参加回数（ランナー等の参加も含めて）



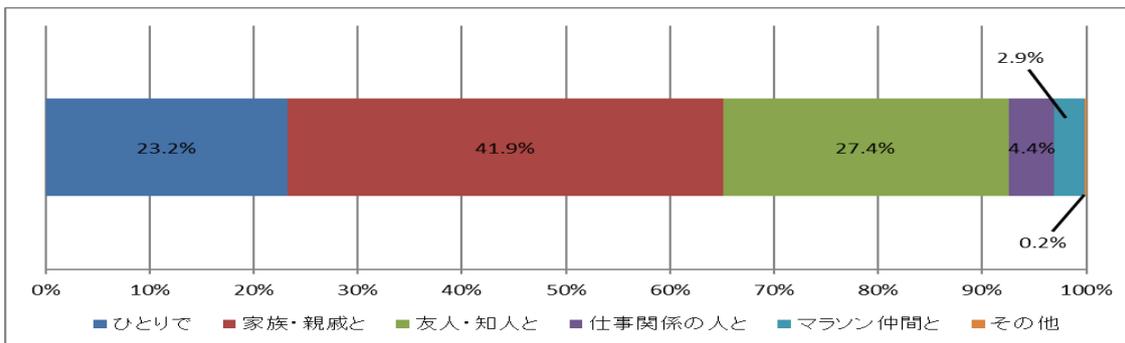
参加回数について、今回が初めての参加が、48.7%（昨年 46.9%）、2回目以上が 51.3%（昨年 53.1%）で、半分近くの人が初めての参加である。

■大阪マラソン以外の観戦経験



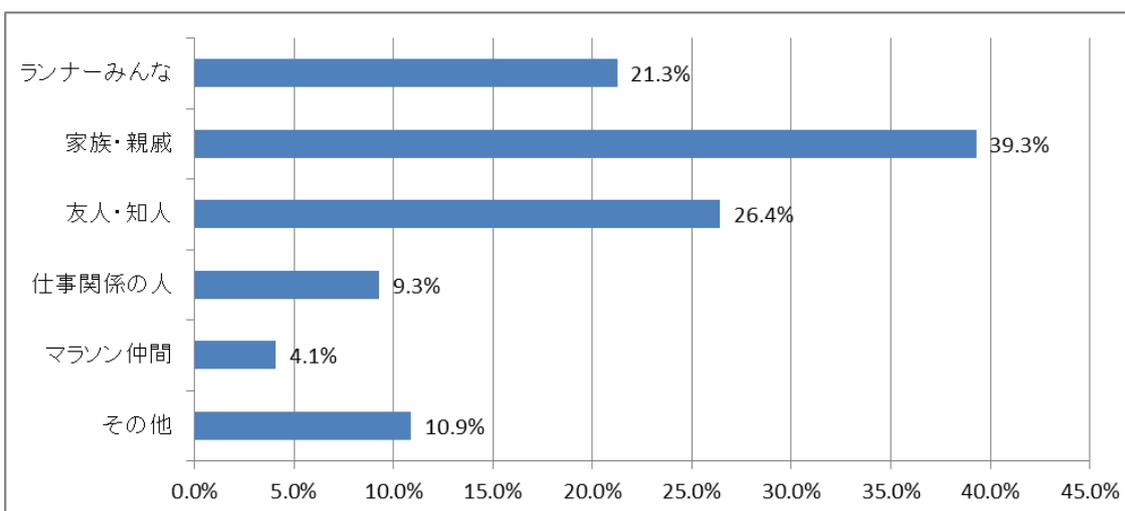
観戦経験について、大阪マラソン以外の観戦経験があるが 50.6%（昨年 42.1%）、ないが 49.4%（昨年 57.9%）で、ほぼ、同じである。

■誰と来ましたか？



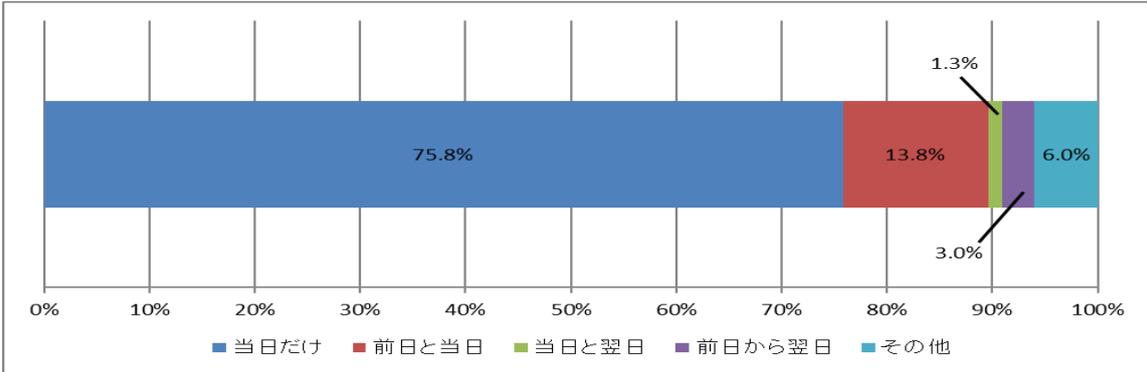
応援の同伴について、「家族・親戚」が 41.9%（昨年 40.6%）と、昨年と変わりはないが、「友人・知人」が 27.4%（昨年 36.8%）と減少している一方で、「ひとりで」が 23.2%（昨年 13.1%）と増加傾向にある。

■誰を応援しましたか？



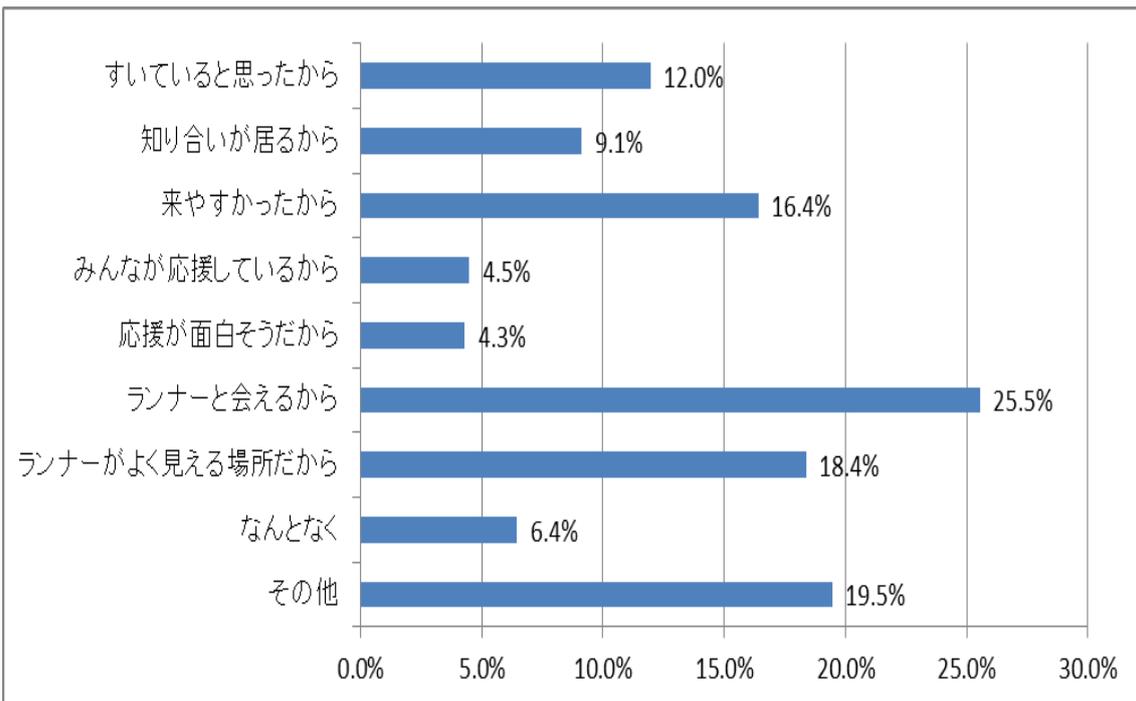
応援対象について、「家族・親戚」が 39.3%（昨年 30.5%）と、昨年に比べて増加し、「知人・友人」が 26.4%（昨年 26.7%）と変化がなかった。しかし、「ランナーみんな」と答えた人が 21.3%（昨年 38.1%）と減少しており、一般の観客が減っている傾向にあるといえる。

■大阪に何日滞在しましたか？



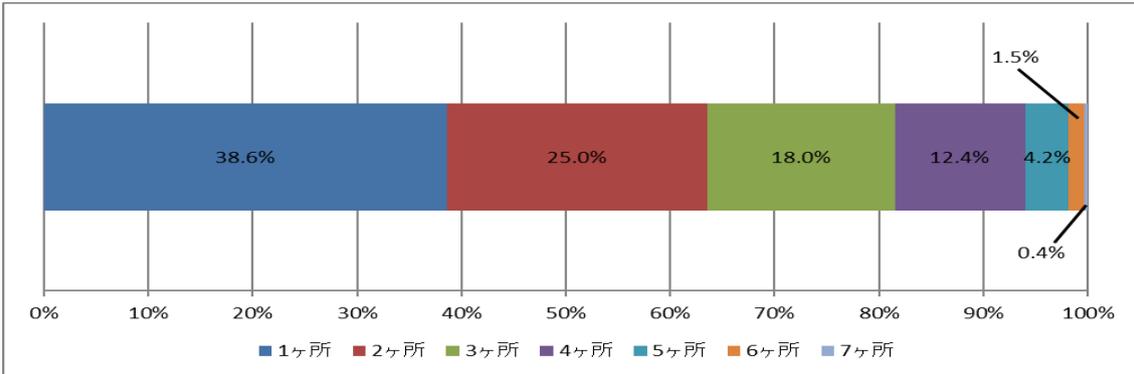
滞在日数について、「当日だけ」が75.8%（昨年76.2%）と、昨年同様、最も多くを占めている。「前日と当日」が13.8%（昨年11.9%）で、応援による滞在は、それほど多くないといえる。

■応援する場所を選んだ理由は何ですか？



応援の場所の選択理由について、「ランナーと会えるから」が25.5%（昨年19.1%）、「ランナーがよく見える場所だから」が18.4%（昨年21.5%）と、応援をする場所は、ランナーとのふれあいを中心に決めている傾向がみられる。また、「来やすかったから」が16.4%（昨年15.4%）とあり、昨年同様、利便性も決定要因となっている。

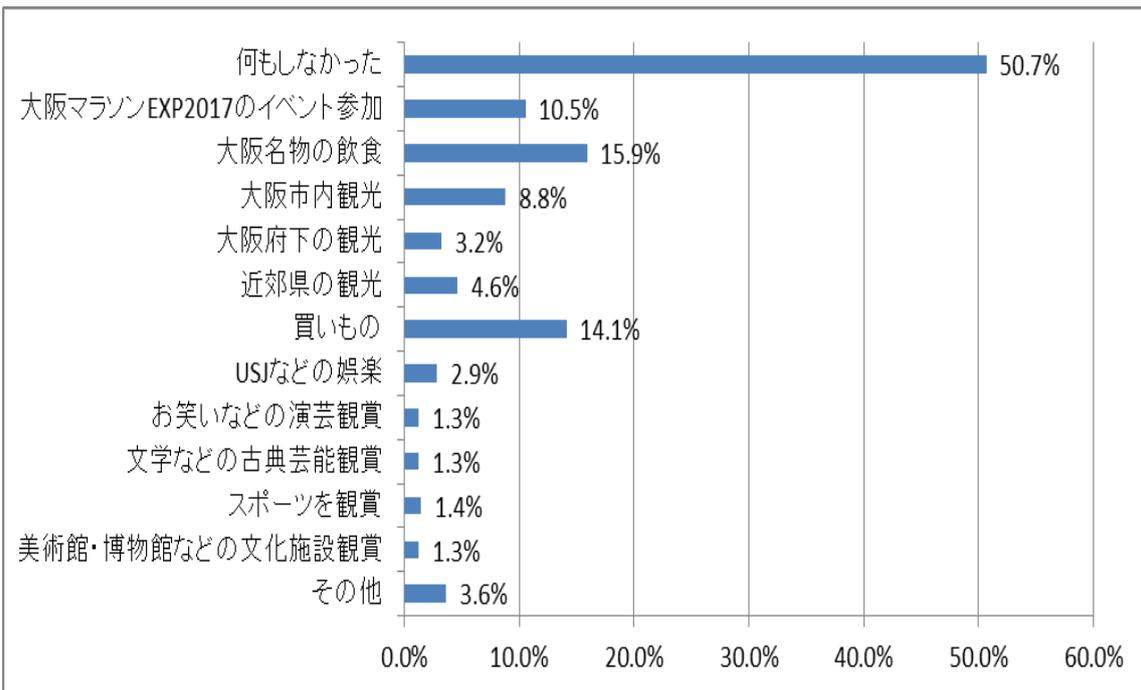
■何カ所で応援しましたか？



応援した場所について、「1カ所」が38.6%（昨年34.5%）、「2カ所」が25.0%（昨年22.4%）、「3カ所」が18.0%（昨年19.5%）、「5カ所以上」で応援した人は6.1%（昨年12.1%）となっており、昨年に比べて、移動の回数は減少傾向にあるといえる。

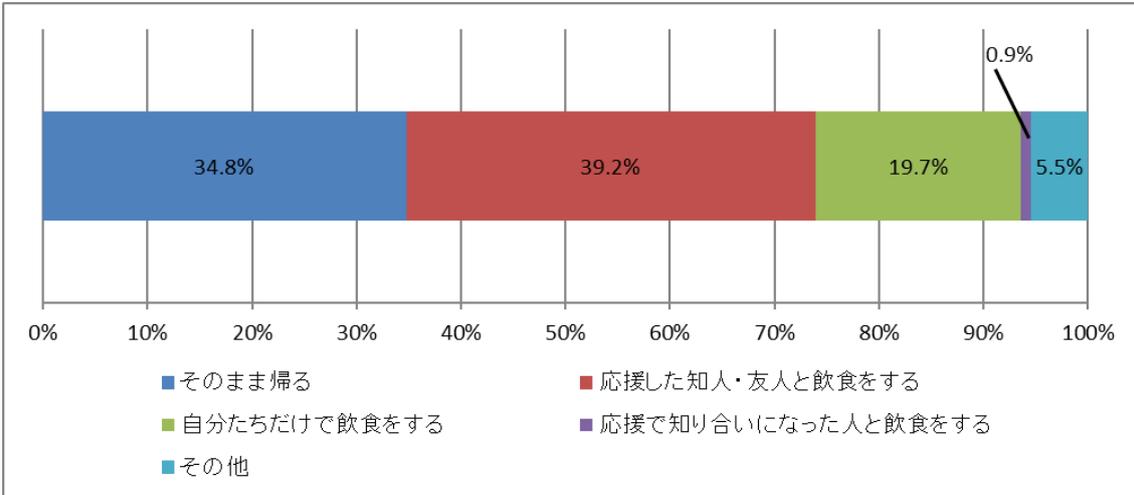
2. 観客の活動について

■大阪マラソン観戦以外の活動は何ですか？



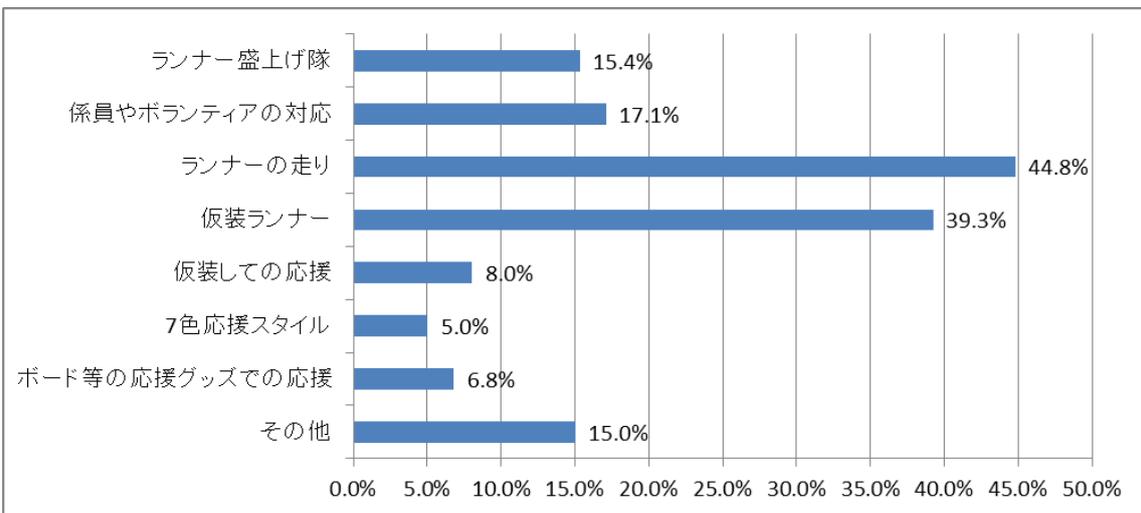
大阪マラソンの観戦以外の活動について、「何もしなかった」が50.7%（昨年43.4%）と昨年に比べて増加しており、「大阪名物の飲食」が15.9%（昨年23.5%）、「買い物」が14.1%（11.8%）と、飲食において経済的効果の低下がみられる。

■観戦後の行動は何ですか？



観戦後の行動について、「応援した知人・友人と飲食をする」が39.2%（昨年44.2%）と、昨年比で減少している一方で、「そのまま帰る」は34.8%（30.6%）と増加しており、経済的効果の低下につながる可能性がある。

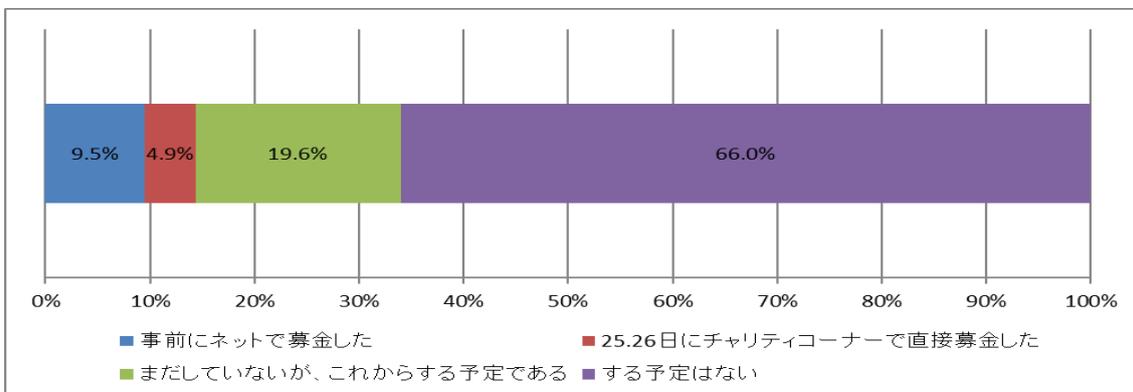
■印象に残ったものは何ですか？



印象に残ったものについて、「ランナーの走り」が44.8%（昨年53.1%）で最も多く、次に「仮装ランナー」が39.3%（昨年41.2%）となっており、昨年比で減少してはいるものの、ランナーについての印象が強いといえる。一方、「7色応援スタイル」が5.0%（昨年7.4%）、「ボード等の応援グッズでの応援」が6.8%（昨年7.2%）、「仮装しての応援」が8.0%（昨年7.0%）と、応援スタイルについての印象が薄いといえる。

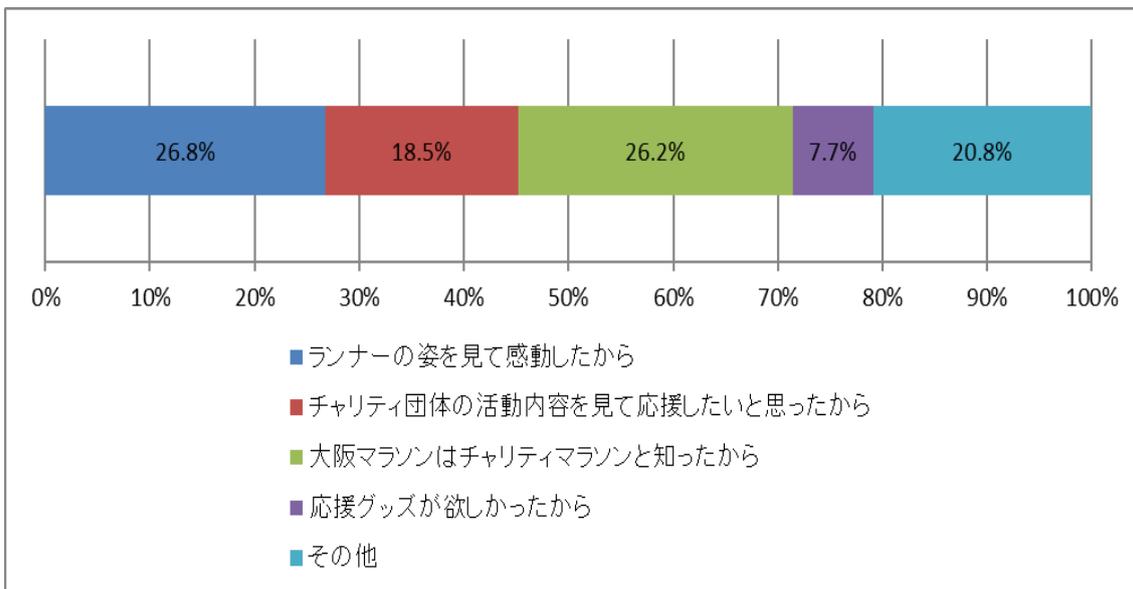
3. チャリティについて

■募金（チャリティ）をしますか？



チャリティについて、「する予定はない」が66.0%（昨年52.1%）と昨年より増加しており、「まだしていないが、これからする予定である」は19.6%（昨年31.5%）と大きく減少していることから、チャリティへの取り組みが減少しつつあるといえる。

■募金しようと思われたきっかけは何ですか？



募金しようと思ったきっかけについて、「ランナーの姿を見て感動したから」が、26.8%（昨年38.8%）と、減少傾向にあり、「大阪マラソンはチャリティマラソンと知ったから」が26.2%（昨年28.3%）で、昨年とほぼ同じ割合を占めた。

おわりに

ーロンドンマラソンを目指してー

杉本厚夫（関西大学）

2017年は、ランナーが6150万ポンド（92億2500万円）のチャリティを調達したロンドンマラソン。世界の人々が走ってみたいと強く望むロンドンマラソン。その秘密は、どこにあるのか。それを探るために、ロンドンマラソン2017を現地調査してみた。そこには、3つの物語（ストーリー）が存在し、人々を大会へと誘う。これからの大阪マラソンの在り方を考える上で参考になると思い、ここに紹介する。

<コースのストーリー>

スタートはグリニッジ（GREENWICH）だ。ここには経度0度の子午線がある。つまり、世界の中心がスタート地点なのだ。広々としたグリニッジ公園に、赤、青、緑、に分けられた3ヶ所からスタートする。こうすることで、スタートの渋滞を避けることができる。大阪マラソンは最終ランナーがスタートするまでに約30分かかるが、ロンドンマラソンは約10分である。そして、それぞれのコースは、最初の6マイル（FIRST 6 MILES : BLACKHEATH-WOOLWICH-GREENWICH）と呼ばれるゾーンで混乱なく合流するようになっている。この地域は多民族（ethnic diversity）の住むゾーンであり、それぞれの民族独特のリズムや装束で応援がなされ、盛り上がっている。

つまり、ここでのストーリーは、イギリスは世界の中心であり、多くの移民を受け入れて、イギリスという国（national identity）は造られてきたのだということをランナーに知らせるのだ。

第2のゾーン（MILES 7 TO 22 : GREENWICH-THE TOWER-THE ISLE OF DOGS）は、伝統的な跳開橋であるタワーブリッジ（THE TOWER）を渡り、ロンドンの東部地区を走る。この地域は、産業革命がおこるまでは、牧草地として使われていた農村地帯だったが、産業革命以降は、工業地帯としてイギリスの産業を支えてきた地域である。しかし、20世紀の後半になって、工業が衰退し始めるとスラム化するようになり、都市の再開発が計画されるようになる。カナリーワーフ



の高層ビルはその象徴であり、今やロンドンの金融拠点となっている。2012年に開催されたロンドンオリンピックは、その再開発の一環として行われたことはよく知られている。

つまり、ここでのストーリーは、イギリスの近代化の歴史を学ぶということである。



第3のゾーン (MILES 23 TO 26 : THE HOME STRETCH : LONDON BRIDGE-THE MALL) は、ゴールに向かうテムズ川沿いのまっすぐな道で、ロンドン橋 (LONDON BRIDGE)、ウエストミンスター寺院 (WESTMINSTER ABBEY)、国会議事堂 (BIG BEN) 等、歴史的建造物の前を走る。大英帝国の華々しい時代の雰囲気を楽しむことができるのだ。

つまり、そこには、イギリスの伝統を紹介する歴史的ストーリーがあるのだ。

第4のゾーンはゴール (FINISH) 地点である。バッキンガム宮殿 (BUCKINGHAM PALACE) を背に、王室の公園 (THE ROYAL PARKS) である聖ジェームズ公園 (St. JAMES'S PARK) にゴールする。

つまり、イギリスは連合王国 (UNITED KINGDOM) であることを教えてくれる。

このように、走ることで、イギリスという国を知ることができるのである。

大阪マラソンもこのように走ることで、大阪を知ることができるようなコースの設定ができないものだろうか。

ちなみに、セントラルフィニッシュなので、ゴールした後は近所のパブ (居酒屋) に祝杯をあげに行く。そこでは、完走メダルを見つけた市民が、おめでとう (Congratulations) という言葉とともに、ビールをご馳走してくれる。市民のホスピタリティを感じる一瞬である。大阪マラソンも早ければ2019年度からセントラルフィニッシュになる予定なので、こんな大阪市民の「おもてなし」が見られれば、大阪らしいマラソン大会になるように思う。



<チャリティのストーリー>

毎年90億円近いチャリティを集めるロンドンマラソンには、さまざまな仕掛けがある。もちろん、イギリスはチャリティ文化が根付いているという背景は否めないが、それだけでは、これだけの金額は集まらない。チャリティしたくなるような物語がそこにはあるのだ。



2017年のロンドンマラソンのチャリティアンバサダーは、ウィリアム (William) 王子、キャサリン (Catherine) 妃、ヘンリー (Henry) 王子のロイヤルファミリーである。母であるダイアナ妃がなくなって

Presented by BBC

20年、チャリティ団体（Heads Together）に関わることで、初めて心を開き、母のことを語ったのである。これが、ドキュメンタリー番組『Diana, Our Mother: Her Life and Legacy』として放送され、話題となった。このようにして、チャリティアンバサダーとして、チャリティ団体の活動に関して、具体的なストーリーで語ることによって、市民のチャリティ意識が醸成されるのである。

また、チャリティランナーも自分が走る理由（#Reason To Run）を表明する。例えば、「エミリーは2年前に息子を自殺によって亡くしました。そのことによって受けた精神的なスティグマを払拭し、意識を高めたいと思っています。そこで、彼女は人々の見方を変え、精神的健康を保つことを積極的に活動しているチャリティ団体の Heads Together のために走ります」と、走る理由が明確にストーリー性を持って語られている。このようなメッセージがホームページや SNS で流されることによって、人々は彼女に対してチャリティをするのである。



さらに、メディアもそれぞれのチャリティ団体の活動についてインタビューし、それを映像を通して視聴者にメッセージとして届ける。チャリティ団体も仮装をして、観客に自分たちの活動を分かりやすくアピールする。もちろん、前日の EXPO では、ブースで積極的に活動をアピールするのである。

このように、ロンドンマラソンはチャリティに関する情報で溢れている。このような仕掛けがあるからこそ、チャリティ意識が高揚し、多額のチャリティを集めることができるのである。大阪マラソンがチャリティマラソンとして、その特徴をアピールしようとするうえでは、大変、興味深い取り組みではないかと思われる。

<大会のストーリー>

ロンドンマラソンを報道している BBC はトップニュースで、大会での出来事を次のように伝えている（BBC NEWS 23 April 2017）。

タイトル：走れなくなったランナーのフィニッシュを手伝ったロンドンマラソンのランナーは、「困っている人」に手を貸しただけだと言った。

ウィリアム王子を含む多くの人が、ゴールの手前 300 メートルで止まってしまった David Wyeth を助ける Matthew Rees を応援した。Rees 氏は、Wyeth 氏に「われわれはゴールラインと一緒に通過するぞ」と言った。レースの関係者は「これこそ、ロンドンマラソンの真髄だ！」とツイートした。

Rees 氏は次のように語った。私は最終コーナーを回って来て、足を痛めて苦しんでいるランナーを見つけた。彼は起きようとするが、地面に倒れてしま



Presented by BBC

う。私は彼のところに行って、「がんばろう、絶対ゴールできるよ」と励ました。しかし、彼が走ろうとする様子を見てみると、もう一人で走るのは無理だと気づいた。そこで、私は自身の走りを止めて、仲間のランナーを助けてゴールまで一緒に歩いた。「がんばれ、ゴールできるよ。一緒に行こう。そして、一緒にゴールしよう」と彼は励まし続けた。そして、「3 時間をきらなくても、大会が終了するまでに一緒に確実にゴールしたいだけだ」と付け加えた。私は彼の腕を肩におき、ゴールまで歩いた。群衆は信じられないほど、私たちを応援していた。

Rees 氏と Wyeth 氏の二人がゴールラインを切ったとき、観衆は拍手を送り、その中にはケンブリッジ公爵とハリー王子もいた。二人は 2 時間 52 分 26 秒でレースを終えた。

Wyeth 氏は次のように語った。誰か知らない人のために、自分のレースを捨ててその人を助けるという素晴らしいことを彼は成し遂げたのだ。私は彼に「行ってください。あなたは私のためにレースを犠牲にしないでください」と言った。しかし、彼は私と一緒にその場に立ち止り、ボランティアも反対側で私を支えてくれたのだ。私は立ち上がった、彼らは私を助け、私は何とか歩き続けようとした。

このような行動について、Rees 氏は、「誰でも同じことをするだろう」と述べた。「ただ困っている人を助けただけだ。彼がゴールできて、大丈夫だったら、それでとても嬉しい」と彼は付け加えた。

その精神は、走ることとマラソンが何を意味するのかをわれわれに問いかけている。

このように、メディアは大会における美談 (an impressive story) をトップニュースで伝えるのだ。そのことで、われわれの日常生活の中で忘れていた、困っている人を助けるという当たり前のことを思い出させる。

このようなロンドンマラソンの 3 つのストーリーは、人々を魅了すると同時に、現代社会を生きる豊かさとは何かを問いかけてくる。そして、都市生活で市民として生きるための大切なことを教えてくれる道徳教育 (Citizenship Education) でもあるのだ。

これからの大阪マラソンの在り方を考える上では、これらのストーリーはとても示唆的である。大阪マラソンが紡ぎ出す物語を伝えることで、人々の心を揺れ動かし、多くの人が、ランナー、ボランティア、観客など、さまざまな関わり方で参画したくなるような大会になっていくことを望んでやまない。

資料

参加ランナー意識調査票
海外ランナー意識調査票
チャリティランナー意識調査票
観客意識調査票
読売新聞掲載紙面

第7回大阪マラソン 参加ランナー意識調査

11月26日、「第7回大阪マラソン」が開催されました。如何だったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、第1回大阪マラソンから、この大会がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

本調査は、ランナーのみなさんに、大会の運営等について、ご意見をお聞きするものです。

調査結果は、大阪マラソン組織委員会に報告し、今後の大会運営に活かしてもらおうと同時に、読売新聞紙上のほか、関連学会などで発表することになっています。

ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。PCもしくはスマートフォンからご回答ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

<あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性 ②女性
3. お住まいの都道府県：①北海道、・・・④沖縄県
4. 参加区分：
①登録 ②一般 ③車いす ④チャレンジラン ⑤市民アスリート ⑥連続落選者枠ランナー
⑦大阪スポーツ応援ランナー
5. 参加申し込み：①個人 ②ペア ③グループ
6. 市民マラソン参加経験：
①今回が初めて ②1～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
7. 今回のフルマラソンのタイム（チャレンジラン参加者を除く）：
①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満 ④4時間～4時間30分未満
⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満 ⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満
⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
8. 大会前後の大阪滞在日数・形態：
①日帰りで参加 ②前泊し2日間滞在した ③後泊し2日間滞在した ④3日以上滞在した
9. 大会には誰と来られましたか？
①ひとりで ②家族・親戚と ③友人・知人と ④仕事関係の人と ⑤マラソン仲間と ⑥その他（ ）
10. 大会には何人で来られましたか？
自分を含めて全員で（ ）人
11. あなたは、大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？（複数回答可）
①何もしなかった ②大阪マラソン EXPO2017 のイベントを楽しんだ ③大阪名物を飲食した

④大阪市内観光をした ⑤大阪府下の観光をした ⑥近郊県（京都、奈良、兵庫など）の観光をした ⑦買い物（お土産など）をした ⑧USJなどの娯楽（アミューズメント）施設に行った ⑨お笑いなどの演芸を観た ⑩文楽などの古典芸能を観た ⑪スポーツを見た ⑫美術館・博物館などの文化施設に行った ⑬その他（ ）

12. あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか？（宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切。大阪マラソン参加料、チャリティは除く）

①1万円未満 ②1万円以上2万円未満 ③2万円以上3万円未満 ④3万円以上5万円未満 ⑤5万円以上10万円未満 ⑥10万円以上20万円未満 ⑦20万円以上

13. あなたは、「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を利用しましたか？

①スマートフォンを持っていない ②「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を知らなかった ③「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」は知っていたが、ダウンロードしなかった ④ダウンロードしたが、利用しなかった ⑤実際に利用した

14. あなたは、「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」に参加しましたか？参加した方は、参加したイベントを全てお知らせください。

①「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」を知らなかった ②「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」は知っていたが、いずれのイベントにも参加しなかった ③ケイ・オプティコム Presents 10K&Fun RUN ④RUNNING CLINIC ⑤なないろ練習会 ⑥Happy Morning Run

15. 「大阪マラソン SEASON TRIAL」では、年間を通じて、初心者から中・上級者の方まで、さまざまな目的やレベルにあわせて参加していただけるイベントを開催します。今年開催したイベント（前問参照）に追加してほしいイベントがありましたら、具体的にお書きください。（300文字以内）

16. 第7回大阪マラソンに満足しましたか？

①満足した ②まあまあ満足した ③どちらかというとな満足だった ④不満足だった

17. 第8回大阪マラソンに参加してみたいですか？

①ぜひ参加してみたい ②できれば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない

18. あなたは、何を目的として、または何がきっかけで、大阪マラソンに参加しましたか？差し支えの無い範囲で、個人的なエピソードをお聞かせください。あるいは、これまでに大阪マラソン参加経験のある方は、当時の印象深い思い出などがあれば、具体的にお聞かせください。（300文字以内）

<第7回大阪マラソンの運営について>

19. 第7回の大阪マラソンの運営について、どのように思われますか？

次の項目について（○良いと思った ○まあまあ良いと思った ○あまり良くないと思った ○良くないと思った）の4段階で評価してください。

EXPO2017はどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
公式WEBページ、公式SNSはどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
連続落選者枠があることはどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
市民アスリート枠があることはどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
「参加記念Tシャツ」はどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
「フィニッシャータオル」はどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
ガイドブックはどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
ポケットガイドはどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
「なないろチーム対抗戦」はどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。

	○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
32.5km 地点の給食(まいどエイド)はどうでしたか?	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
沿道の観客の応援はどうでしたか?	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
ボランティア、スタッフの対応はどうでしたか?	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。

20. 大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか?

- ①沿道の観客の応援 ②ランナー盛上げ隊 ③ランナー同士の交流 ④ランナーの仮装 ⑤ボランティア、スタッフの対応 ⑥観光地をめぐるコース ⑦チャリティの取り組み ⑧「なないろチーム対抗戦」 ⑨「まいどエイド」の給食 ⑩その他()

21. 大会スポンサーのサービスで良かったものを教えてください。(複数回答可)

- ①ランナーズアイ(ケイ・オプティコム)
②大会限定商品の販売(ミズノ)
③各給水所及びフィニッシュにて、コカコーラ製品飲料の提供(コカ・コーラ)
④フィニッシャーにエアサロンパスの提供(久光製薬)

22. 「大阪スポーツ応援ランナー」は、大阪府および大阪市が府内・市内のスポーツ振興を図る目的で設置している「なみはやスポーツ振興基金」(大阪府)、「大阪市スポーツ振興基金」(大阪市)に10万円以上寄付したそれぞれ先着300人(計600人)に、出走権を進呈するものです。このふるさと納税制度を利用した「大阪スポーツ応援ランナー」が新設されたことはどうでしたか?

- ①「大阪スポーツ応援ランナー」を知らなかった ②良いと思った ③まあまあ良いと思った
④あまり良くないと思った ⑤良くないと思った

23. 「大阪スポーツ応援ランナー」の仕組みをより良いものにしていくために、どのような工夫があればよいと思いますか?次の中からお選びください。(複数回答可)

- ①寄付者が配偶者に出走権を進呈できる ②寄付者が子供や孫に出走権を進呈できる ③寄付者が親に出走権を進呈できる ④寄付者はマラソン当落発表後でも応募できる
⑤その他()

<チャリティについて>

24. 寄付先団体を決めた一番の理由は何ですか?

- ①テーマに関心があったから ②寄付先団体の活動に関心があったから ③現代的な問題に取り組んでいるから ④知人から勧められたから ⑤チャリティ T シャツのデザインが良かったから

⑥なんとなく ⑦その他（ ）

25. 大阪マラソンのチャリティについて、どのように思われますか？次の項目について（○良いと思った ○まあまあ良いと思った ○あまり良くないと思った ○良くないと思った）の4段階で評価してください。

① 大阪マラソンのチャリティの広報について	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
② 寄付先（チャリティ団体）の広報活動について	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
③ 寄付先（チャリティ団体）の目的や活動を明確にしていることについて	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
④ チャリティランナーの制度について	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
⑤ 自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードを身に付けて走ることにについて	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
⑥ チャリティグッズを販売していることについて	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。

<今後の大阪マラソンについて>

26. 次のようなイベントがあれば参加したいですか？次の項目について、（○ぜひ参加したい ○参加したい ○あまり参加したくない ○参加したくない）の4段階で評価してください。

① ランナー同士の交流イベント	○ぜひ参加したい。 ○参加したい。 ○あまり参加したくない。 ○参加したくない。
ボランティアとの交流イベント	○ぜひ参加したい。 ○参加したい。

	<input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
チャリティ団体との交流イベント	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
大会前日に歓迎（ウェルカム）パーティ	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
大会終了後にサヨナラ（フェアウェル）パーティ	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。

27. 現在、コース変更が検討されていることをご存じですか？

- ①知っている ②この質問で初めて知った

<大阪マラソンへの要望>

大会に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。（300文字以内）

ご協力ありがとうございました。

第7回大阪マラソン 海外ランナー意識調査

11月26日、「第7回大阪マラソン」が開催されました。如何だったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、第1回大阪マラソンから、この大会がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

本調査は、海外ランナーのみなさんに、大会の運営等について、ご意見をお聞きするものです。

調査結果は、大阪マラソン組織委員会に報告し、今後の大会運営に活かしてもらおうと同時に、読売新聞紙上のほか、関連学会などで発表することになっています。

ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。PCもしくはスマートフォンからご回答ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

<あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性、②女性
3. お住まいの国：（ ）
4. 参加種目：①一般、②チャレンジラン
5. これまでのマラソン参加経験：
①今回が初めて ②1～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
6. これまでの日本でのマラソン参加経験：
①今回が初めて ②1回 ③2回 ④3回 ⑤4回 ⑥5回以上
7. 今回のフルマラソンのタイム（チャレンジラン参加者を除く）：
①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満 ④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満 ⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
8. 今回、大阪には何日滞在しましたか？
（ 月 日～ 月 日）
9. 大会には誰と来られましたか？
①ひとりで ②家族・親戚と ③友人・知人と ④仕事関係の人と ⑤マラソン仲間と ⑥その他（ ）
10. 大会には何人で来られましたか？
自分を含めて全員で（ ）人で
11. あなたは、大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？（複数回答可）
①何もなかった、②大阪マラソン EXPO2017 のイベントを楽しんだ、③大阪名物を飲食した、④大阪市内観光をした、⑤大阪府下の観光をした、⑥近郊県（京都、奈良、兵庫など）の観光を

した、⑦買い物（お土産など）をした、⑧USJなどの娯楽（アミューズメント）施設に行った、⑨お笑いなどの演芸を観た、⑩文楽などの古典芸能を観た、⑪スポーツを見た、⑫美術館・博物館などの文化施設に行った、⑬その他（ ）

12. あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか？（宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切。大阪への渡航費、大阪マラソン参加料、チャリティは除く）

①5万円未満 ②5万円以上10万円未満 ③10万円以上15万円未満 ④15万円以上20万円未満 ⑤20万円以上30万円未満 ⑥30万円以上50万円未満 ⑦50万円以上

13. あなたは、「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を利用しましたか？

①スマートフォンを持っていない ②「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を知らなかった ③「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」は知っていたが、ダウンロードしなかった ④ダウンロードしたが、利用しなかった ⑤実際に利用した

14. あなたは、「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」に参加しましたか？参加した方は、参加したイベントを全てお知らせください。

①「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」を知らなかった ②「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」は知っていたが、いずれのイベントにも参加しなかった ③ケイ・オプティコム Presents 10K&Fun RUN ④RUNNING CLINIC ⑤なないろ練習会 ⑥Happy Morning Run

15. 大阪マラソン以外（海外の大会を含む）で、参加して良かった大会があれば教えてください。

（ ）

16. 第7回大阪マラソンに満足しましたか？

①満足した ②まあまあ満足した ③どちらかという不満だった ④不満だった

17. 第8回大阪マラソンに参加してみたいですか？

①ぜひ参加してみたい ②できれば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない

18. あなたは、何を目的として、または何がきっかけで、大阪マラソンに参加しましたか？差し支えの無い範囲で、個人的なエピソードをお聞かせください。あるいは、これまでに大阪マラソン参加経験のある方は、当時の印象深い思い出などがあれば、具体的にお聞かせください。（英字：900文字以内／繁体字：200文字以内）

--

<第7回大阪マラソンの運営について>

19. 第7回大阪マラソンの運営について、どのように思われますか？

次の項目について（○良いと思った ○まあまあ良いと思った ○あまり良くないと思った ○良くないと思った）の4段階で評価してください。

⑥ EXPO2017はどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。
--------------------	--------------------------

	<input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
② 公式 WEB ページ、公式 SNS はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
③ 「参加記念 T シャツ」はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
④ 「フィニッシャータオル」はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑤ 言語の対応はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑥ 宿泊施設の受け入れはどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑦ 「なないろチーム対抗戦」はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑧ 32.5km 地点の給食（まいどエイド）はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑨ 沿道の観客の応援はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑩ ボランティア、スタッフの対応はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。

20. 大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか？

- ①沿道の観客の応援 ②ランナー盛上げ隊 ③ランナー同士の交流 ④ランナーの仮装 ⑤ボランティア、スタッフの対応 ⑥観光地をめぐるコース ⑦チャリティの取り組み ⑧「なないろチーム対抗戦」 ⑨「まいどエイド」の給食 ⑩その他（ ）

21. 大会スポンサーのサービスで良かったものを教えてください。(複数回答可)

- ① ランナーズアイ (ケイ・2 オプティコム)
 ② 大会限定商品の販売 (ミズノ)
 ③ 各給水所及びフィニッシュにて、コカコーラ製品飲料の提供 (コカ・コーラ)
 ④ フィニッシャーにエアサロンパスの提供 (久光製薬)

<チャリティについて>

22. 寄付先団体を決めた一番の理由は何ですか？

- ①テーマに関心があったから ②寄付先団体の活動に関心があったから ③現代的な問題に取り組んでいるから ④知人から勧められたから ⑤チャリティ T シャツのデザインがよかったから ⑥なんとなく ⑦その他（ ）

23. 大阪マラソンのチャリティについて、どのように思われますか？次の項目について (○良いと思った ○まあまあ良いと思った ○あまり良くないと思った ○良くないと思った) の4段階で評価してください。

① 大阪マラソンのチャリティの広報について	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
② 寄付先 (チャリティ団体) の広報活動について	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
③ 寄付先 (チャリティ団体) の目的や活動を明確にしていることについて	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
④ チャリティランナーの制度について	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
⑤ 自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードを身に付けて走ることにについて	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。

⑥ チャリティグッズを販売していることについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
-------------------------	---

<今後の大阪マラソンについて>

24. 次のようなイベントがあれば参加したいですか？次の項目について、(○ぜひ参加したい ○参加したい ○あまり参加したくない ○参加したくない) の4段階で評価してください。

ランナー同士の交流イベント	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
ボランティアとの交流イベント	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
チャリティ団体との交流イベント	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
大会前日に歓迎（ウェルカム）パーティ	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
大会終了後にサヨナラ（フェアウェル）パーティ	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。

<大阪マラソンへの要望>

大会に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。(英字：900文字以内／繁体字：200文字以内)

ご協力ありがとうございました。

第7回大阪マラソン チャリティランナー意識調査

11月26日、「第7回大阪マラソン」が開催されました。如何だったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、第1回大阪マラソンから、この大会がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

本調査は、チャリティランナーのみなさんに、大会の運営等について、ご意見をお聞きするものです。

調査結果は、大阪マラソン組織委員会に報告し、今後の大会運営に活かしてもらうと同時に、読売新聞紙上のほか、関連学会などで発表することになっています。

ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。PCもしくはスマートフォンからご回答ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

<あなた自身について>

25. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
26. 性別：①男性 ②女性
27. お住まいの都道府県：①北海道、・・・⑦沖縄県
28. 市民マラソン参加経験：
①今回が初めて ②1～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
29. 今回のフルマラソンのタイム（チャレンジラン参加者を除く）：
①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満 ④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満 ⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
30. 大会前後の大阪滞在日数・形態：
①日帰り参加 ②前泊し2日間滞在した ③後泊し2日間滞在した ④3日以上滞在した
31. 大会には誰と来られましたか？
①ひとりで ②家族・親戚と ③友人・知人と ④仕事関係の人と ⑤マラソン仲間と ⑥その他（ ）
32. 大会には何人で来られましたか？
自分を含めて全員で（ ）人
33. あなたは、大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？（複数回答可）
①何もしなかった ②大阪マラソン EXPO2017 のイベントを楽しんだ ③大阪名物を飲食した
④大阪市内観光をした ⑤大阪府下の観光をした ⑥近郊県（京都、奈良、兵庫など）の観光をした
⑦買い物（お土産など）をした ⑧USJなどの娯楽（アミューズメント）施設に行った ⑨お笑いなどの演芸を観た ⑩文楽などの古典芸能を観た、⑪スポーツを観た ⑫美術館・博物館などの文化施設に行った ⑬その他（ ）

34. あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか？（宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切。大阪マラソン参加料、チャリティは除く）
 ①1万円未満 ②1万円以上2万円未満 ③2万円以上3万円未満 ④3万円以上5万円未満 ⑤5万円以上10万円未満 ⑥10万円以上20万円未満 ⑦20万円以上
35. あなたは、「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を利用しましたか？
 ①スマートフォンを持っていない ②「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を知らなかった ③「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」は知っていたが、ダウンロードしなかった ④ダウンロードしたが、利用しなかった ⑤実際に利用した
36. あなたは、「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」に参加しましたか？参加した方は、参加したイベントを全てお知らせください。
 ①「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」を知らなかった ②「大阪マラソン SEASON TRIAL 2017」は知っていたが、いずれのイベントにも参加しなかった ③ケイ・オプティコム Presents 10K&Fun RUN ④RUNNING CLINIC ⑤なないろ練習会 ⑥Happy Morning Run
37. 「大阪マラソン SEASON TRIAL」では、年間を通じて、初心者から中・上級者の方まで、さまざまな目的やレベルにあわせて参加していただけるイベントを開催します。今年開催したイベント（前問参照）に追加してほしいイベントがありましたら、具体的にお書きください。（300文字以内）

38. 第7回大阪マラソンに満足しましたか？
 ①満足した ②まあまあ満足した ③どちらかという不満だった ④不満だった
39. 第8回大阪マラソンに参加してみたいですか？
 ①ぜひ参加してみたい ②できれば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない
40. あなたは、何を目的として、または何がきっかけで、大阪マラソンに参加しましたか？差し支えの無い範囲で、個人的なエピソードをお聞かせください。あるいは、これまでに大阪マラソン参加経験のある方は、当時の印象深い思い出などがあれば、具体的にお聞かせください。（300文字以内）

<第7回大阪マラソンの運営について>

41. 第7回大阪マラソンの運営について、どのように思われますか？次の項目について（○良いと思った ○まあまあ良いと思った ○あまり良くないと思った ○良くないと思った）の4段階で評価してください。

① EXPO2017はどうでしたか？	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。
--------------------	--------------------------

	<input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
② 公式 WEB ページ、公式 SNS はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
③ 連続落選者枠があることはどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
④ 市民アスリート枠があることはどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑤ 「参加記念 T シャツ」はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑥ 「フィニッシャータオル」はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑦ ガイドブックはどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑧ ポケットガイドはどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑨ 「なないろチーム対抗戦」はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑩ 32.5km 地点の給食（まいどエイド）はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。

⑪ 沿道の観客の応援はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑫ ボランティア、スタッフの対応はどうでしたか？	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。

42. 大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか？

- ①沿道の観客の応援 ②ランナー盛上げ隊 ③ランナー同士の交流 ④ランナーの仮装 ⑤ボランティア、スタッフの対応 ⑥観光地をめぐるコース ⑦チャリティの取り組み ⑧「なないろチーム対抗戦」 ⑨「まいどエイド」の給食 ⑩その他（ ）

43. 大会スポンサーのサービスで良かったものを教えてください。（複数回答可）

- ① ランナーズアイ（ケイ・オブティコム）
 ② 大会限定商品の販売（ミズノ）
 ③ 各給水所及びフィニッシュにて、コカコーラ製品飲料の提供（コカ・コーラ）
 ④ フィニッシャーにエアサロンパスの提供（久光製薬）

44. 「大阪スポーツ応援ランナー」は、大阪府および大阪市が府内・市内のスポーツ振興を図る目的で設置している「なみはやスポーツ振興基金」（大阪府）、「大阪市スポーツ振興基金」（大阪市）に10万円以上寄付したそれぞれ先着300人（計600人）に、出走権を進呈するものです。このふるさと納税制度を利用した「大阪スポーツ応援ランナー」が新設されたことはどうでしたか？

- ①「大阪スポーツ応援ランナー」を知らなかった ②良いと思った ③まあまあ良いと思った
 ④あまり良くないと思った ⑤良くないと思った

45. 「大阪スポーツ応援ランナー」の仕組みをより良いものにしていくために、どのような工夫があればよいと思いますか？次の中からお選びください。（複数回答可）

- ①寄付者が配偶者に出走権を進呈できる ②寄付者が子供や孫に出走権を進呈できる ③寄付者が親に出走権を進呈できる ④寄付者はマラソン当落発表後でも応募できる
 ⑤その他（ ）

<チャリティランナーについて>

46. 寄付先団体を決めた一番の理由は何ですか？

- ①テーマに関心があったから ②寄付先団体の活動に関心があったから ③現代的な問題に取り組んでいるから ④知人から勧められたから ⑤チャリティTシャツのデザインがよかったから ⑥なんとなく ⑦その他（ ）

47. 何人のサポーターから寄付を集めましたか（自分自身を除く）？

（ ）人

48. 募金活動はどのようにしましたか？（複数回答可）

- ①なにもしなかった ②街頭（社内・学内等を含む）募金した ③募金のためのイベントを開いた ④家族・親戚にお願いした ⑤知人・友人にお願いした ⑥SNSを活用してお願いした ⑦

その他（ ）

49. チャリティランナーとして参加することを決めた一番の理由は何ですか？

- ① 寄付先団体の活動を応援したいから
- ② チャリティランナーの趣旨に賛同したから
- ③ 寄付先団体のことをみんなに知ってほしかったから
- ④ 7万円払えば出場権を得られるから
- ⑤ 大阪マラソンのチャリティ活動を盛り上げたいと思ったから
- ⑥ チャリティランナーを体験してみたかったから
- ⑦ 知人に勧められたから
- ⑧ 寄付を集めるのがおもしろそうだったから
- ⑨ 募金をしてくれる仲間（サポーター）がいたから
- ⑩ その他（ ）

50. チャリティランナーとして参加して良かったことは何ですか？次の中から 3 つ以内で教えてください。

- ① 寄付先団体の目的や活動により共感できたこと
- ② 募金活動の仕方が分かったこと
- ③ 目標の募金を集められたこと
- ④ 寄付先団体との事前の交流ができたこと
- ⑤ 寄付先団体との当日の交流ができたこと
- ⑥ チャリティランナー同士の交流ができたこと
- ⑦ 自分の選んだチャリティーカラーのナンバーカードを身に付けて走れたこと
- ⑧ チャリティ T シャツを着用して走れたこと
- ⑨ チャリティランナー専用エリア等が設けられていること（ランナー受付、更衣室、荷物預かり、休憩室、軽食）
- ⑩ その他（ ）

51. チャリティランナーとして走ってみて満足しましたか？

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③どちらかという不満だった ④不満だった

52. チャリティランナーとして来年も走りたいですか？

- ①ぜひとも走りたい ②できれば走りたい ③あまり走りたくない ④走りたくない

<チャリティについて>

53. 大阪マラソンのチャリティについて、どのように思われますか？次の項目について（○良いと思った ○まあまあ良いと思った ○あまり良くないと思った ○良くないと思った）の4段階で評価してください。

⑦ 大阪マラソンのチャリティの広報について	○良いと思った。 ○まあまあ良いと思った。 ○あまり良くないと思った。 ○良くないと思った。
-----------------------	---

⑧ 寄付先（チャリティ団体）の広報活動について	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑨ 寄付先（チャリティ団体）の目的や活動を明確にしていることについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑩ チャリティランナーの制度について	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑪ チャリティアンバサダーを任命していることについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑫ 自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードを身に付けて走ることにについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。
⑬ チャリティグッズを販売していることについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。

<今後の大阪マラソンについて>

54. 次のようなイベントがあれば参加したいですか？次の項目について、（ぜひ参加したい 参加したい あまり参加したくない 参加したくない）の4段階で評価してください。

① ランナー同士の交流イベント	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
② ボランティアとの交流イベント	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
③ チャリティ団体との交流イベント	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。

	<input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
④ 大会前日に歓迎（ウェルカム）パーティ	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。
⑤ 大会終了後にサヨナラ（フェアウェル）パーティ	<input type="radio"/> ぜひ参加したい。 <input type="radio"/> 参加したい。 <input type="radio"/> あまり参加したくない。 <input type="radio"/> 参加したくない。

55. 現在、コース変更が検討されていることをご存じですか？

- ①知っている ②この質問で初めて知った

<大阪マラソンへの要望>

大会に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。(300文字以内)

ご協力ありがとうございました。

第7回大阪マラソン 観客意識調査

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同意識調査を行うことになりました。

今回は、コースの沿道で応援される観客の方々に、応援の仕方や応援についての意識に関する調査を行いたいと思います。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に活かしてもらおう予定にしています。ご協力をお願いします。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありません。

<質問項目>

1、年齢(年代): ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

2、性別: ①男性 ②女性

3、大阪マラソンに来られたのは何回目ですか(ランナー等の参加も含めて)? ()回目

4、大阪マラソン以外のマラソンの観戦経験はありますか?

①ある()マラソン ②ない

5、今日は、どなたと、自分も含めて何人でお越しになりましたか?

①ひとりで ②家族・親戚と()人 ③友人・知人と()人 ④仕事関係の人と()人

⑤マラソン仲間と()人 ⑥その他()と()人

6、だれを応援しましたか?あるいは誰を応援しますか?(複数回答可)

①ランナーみんな ②家族・親戚 ③友人・知人 ④仕事関係の人 ⑤マラソン仲間
⑥その他()

7、お住まいはどちらですか?

①日帰りできる府県 ②宿泊が必要な都道府県() ③海外()

8、大阪には何日いらっしゃいましたか?あるいは何日いらっしゃる予定ですか?

①当日(26日)だけ ②前日(25日)と当日(26日) ③当日(26日)と翌日(27日)
④前日から翌日(25日~27日) ⑤その他()日~()日

9、大阪マラソン観戦以外に何か活動をしましたか、あるいは活動する予定ですか？(複数回答可)

- ①何も(しない)しなかった ②大阪マラソン EXP2017 のイベント参加 ③大阪名物の飲食 ④大阪市内観光
- ⑤大阪府下の観光 ⑥近郊区(京都、奈良、兵庫など)の観光 ⑦買い物(お土産など)
- ⑧USJ(アミューズメント施設)などの娯楽 ⑨お笑いなどの演芸観賞 ⑩文楽などの古典芸能観賞
- ⑪スポーツを観賞 ⑫美術館・博物館などの文化施設での鑑賞
- ⑬その他()

10、観戦を終えた後、どうしますか？

- ①そのまま帰る ②応援した友人・知人と飲食をする ③自分たちだけで飲食をする
- ④応援で知り合いになった人と飲食に行く ⑤その他()

11、募金(チャリティ)はされましたか？

- ①事前にネットで募金した ②24、25日にインテックス大阪内のチャリティコーナーで直接募金した
- ③まだしていないが、これからする予定である ④する予定はない

11-1、(①、②、③と答えた人のみ)募金をしようと思われたきっかけはなんですか？

- ①ランナーの姿を見て感動したから ②チャリティ団体の活動内容を見て応援したいと思ったから
- ③大阪マラソンはチャリティマラソンと知ったから ④応援グッズがほしかったから
- ⑤その他()

12、なぜ、この場所を選んだのですか？(複数回答可)

- ①すいていると思ったから ②知り合いがいるから ③来やすかったから
- ④みんなが応援しているから ⑤応援が面白そうだから ⑥ランナーと会えるから
- ⑦ランナーがよく見える場所だから ⑧なんとなく ⑨その他()

13、応援した場所は何ヶ所ですか？ あるいは何ヶ所で応援する予定ですか？

()

14、大阪マラソンの応援をして印象に残ったのは何ですか？(複数回答可)

- ①ランナー盛上げ隊 ②係員やボランティアの対応 ③ランナーの走り ④仮装ランナー
- ⑤仮装しての応援 ⑥7色応援スタイル(チャリティカラーのアイテムを持って応援する)
- ⑦ボード等の応援グッズでの応援
- ⑧その他()

15、大阪マラソンの応援に来られた理由や、今までに大阪マラソンを応援した際のエピソードがあれば、差支えない範囲でお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

調査地点：_____

調査時間：_____ 時 _____ 分

走って感じた「おもてなし」

第7回大会 本社・関西大共同調査

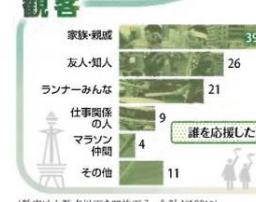
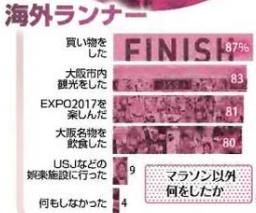
昨年11月26日開催の「第7回大会」に関する調査結果を、大阪マラソンの共同調査では、大会ボランティアの対応や給水の応答といった「おもてなし」(ホスピタリティ)への評価が、「大会運営」に比べて高い評価が得られた。また、大会運営については、十分に感じられていないという声もある。このほか、大会組織委員会は調査結果を第8回大会(11月25日)の運営に役立てる。



次回も参加したい97%

「一般ランナー」に今回の調査を尋ねると、「満足」(70%)、「まあまあ満足」(27%)が計97%となり、第7回大会(11月26日)を満足した。第8回大会への参加を希望する人も前年を上回り、高いレベルで期待されている。大会運営(70%)、大会組織委員会は調査結果を第8回大会(11月25日)の運営に役立てる。

周知不足とみられる取り組みもある。コース上の給水ポイントが不足しているという声も多かった。また、大会運営(70%)、大会組織委員会は調査結果を第8回大会(11月25日)の運営に役立てる。



今回の調査では、大阪マラソンの参加回数や開催地、大会ボランティアの対応や給水の応答といった「おもてなし」(ホスピタリティ)への評価が、「大会運営」に比べて高い評価が得られた。また、大会運営については、十分に感じられていないという声もある。このほか、大会組織委員会は調査結果を第8回大会(11月25日)の運営に役立てる。

頑張る姿を見せるため、自分を変えたかった

「頑張る姿を見せるため、自分を変えたかった」という声が多く聞かれた。大会運営(70%)、大会組織委員会は調査結果を第8回大会(11月25日)の運営に役立てる。

知人友人が寄付首位に

14名の寄付先団体から、7万円以上の寄付金を集めた「チャリティーランナー」の参加者は、前年より19人少ない64人だった。具体的な活動について、寄付先団体の層に異なり、7万円以上払えば出場権を得られるという声も多かった。

半数観戦以外は行わず

沿道に駆けつけ観客は、0万人(前回1.3万人)を下回った。観客の減少傾向は、昨年の調査でも見られた。観客の減少傾向は、昨年の調査でも見られた。

参加者と観客距離縮めよう

調査の責任者 杉本 厚夫教授(関西大人間健康学部)は、「観客の減少傾向は、昨年の調査でも見られた。観客の減少傾向は、昨年の調査でも見られた。」と指摘した。

「チャリティーランナー」の参加者は、前年より19人少ない64人だった。具体的な活動について、寄付先団体の層に異なり、7万円以上払えば出場権を得られるという声も多かった。

◆調査の概要 ランナーは大会終了後にウェブで質問に答えてもらった。回答者数は一般5050人、海外900人(英語369人、中国語531人)、チャリティー234人。観客は大会当日、沿道など3か所で聞き取り調査し、559人から回答を得た。

「大阪滞在4日以上」9割

本社・関大調査 参加海外ランナー

昨年大会



昨年11月26日に開催された第7回大阪マラソン（読売新聞社共催）で、読売新聞社と関西大がランナーや

観客を対象に実施した共同調査の中間報告がまとまった。過去最多の4160人が参加した海外ランナーは9割が大阪に4日以上滞在しており、買い物や観光を楽しんだ人も8割を超えるなど、滞在型イベントとし

て定着していることがうかがえる。

調査はランナーと観客を対象にウェブや対面で実施。一般5050人、海外900人、チャリティー234人の各ランナーと、観客559人が回答した。

このうち海外ランナーの大阪滞在日数は「5日」（27%）、「4日」（23%）が多く、91%は4日以上だった。日本人は一人で会場に

来た人が59%だったのに対し、海外ランナーは22%で、「家族・親戚と」（38%）、「友人・知人と」（32%）訪れた人が高い割合を示した。

海外ランナーがマラソン以外に行った活動で多かったのは「買い物」（87%）、「大阪市内観光」（83%）など。滞在中に使った経費は10万円以上が6割近くとなり、経済効果の高さも裏付けられた。△詳報22面▽

調査研究スタッフ

<関西大学スタッフ>

調査・報告書作成：人間健康学部 杉本 厚夫 教授 及び ゼミ生

調査協力：人間健康学部 谷所 慶 准教授

大学院人間健康研究科博士課程後期課程 久保 賢志

大学院人間健康研究科博士課程前期課程 牛 霖

<読売新聞社スタッフ>

編集特集制作：読売新聞大阪本社 編集局

調査実施・調整：読売新聞大阪本社 広告局